平成 30 年度

農業集落排水施設整備事業　山田南地区

汚水処理施設上部工事

添付図面一覧表

番号	図面の名称	枚数
A-1～2	特記仕様書 (1)～(2)	2
A-3	配置計画平面図	1
A-4	敷地求積図	1
A-5	建築概要･内外部仕上表 求積図･求積表	1
A-6	上部平面図・屋根伏図	1
A-7	立面図	1
A-8～9	断面図 (1)～(2)	2
A-10～11	矩計図 (1)～(2)	2
A-12	平面図詳細図	1
A-13	天井伏図	1
A-14～16	部分詳細図 (1)～(3)	3
A-17	展開図	1
A-18	建具表・建具案内図	1
A-19	構造設計標準仕様	1
A-20～21	建築鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)～(2)	2
A-22～23	伏図 (1)～(2)	2
A-24～25	軸組図 (1)～(2)	2
A-26	基礎・基礎梁リスト	1
A-27	柱リスト	1
A-28	スラブ・壁リスト	1
A-29	大梁・小梁リスト	1
A-30～31	架構配筋図 (1)～(2)	2
A-32～33	建築スリーブ図 (1)～(2)	2
A-34	給排水設備場内配管図	1
A-35	給排水設備図	1
A-36	手摺配置図	1
A-37～39	手摺展開図 (1)～(2)	2
合　計		38

工事仕様書

1. 工事概要

（1）工事名称　農業集落排水施設整備事業 山田南地区
（2）工事場所　三重県伊賀市真泥字止今寺川原5502
（3）敷地面積　2,449.62 ㎡
（4）工事種目　1）建築工事　1式
　　2）電気設備　1式
　　3）給排水設備　1式

2. 建築工事仕様

（1）共通仕様
図面および特記仕様書に記載されていない事項は、全て公共建築工事標準仕様書 建築工事編、電気設備工事編及び機械設備工事編（平成２８年版）による。（以下「標準仕様書」と言う）
（2）特記仕様
1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。⊙印のない場合は、＊印の付いたものを適用する。
　⊙印と＊印の付いた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の（　）内表示番号は、建築工事共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	
①一般共通事項	① 適用基準等	⊙ 建築工事標準詳細図　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成２５年度版） ・ 建築設備設計基準及び同解説　建設大臣官房官庁営繕部監修（平成１０年度版） ⊙ 鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説日本建築学会（平成１５年度版） ・ ・
	② 発生材の処理	・ 引渡しを要するもの（　　）（1．3．8） ・ 特別管理産業廃棄物　＊ 無　・ 有り（　　）　処理方法（　） ・ 現場において再利用を図るもの（　　） 　再生資材の利用を図るもの（　　） ・ アスファルトコンクリート塊　⊙ セメントコンクリート塊　⊙ 建設発生資材 　指定副産物の搬出　搬出調書等の提出　＊ 必要　・ 不要 ⊙ 搬出調書などの提出　＊ 必要　・ 不要 ⊙ マニフェスト　ＡＤ票の写し　・その他（　　）
	③ 概成工期	総合試験運転調整を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね１０日前までに支障のない状態まで完了していること。（1．2．1）
	4 電気保安技術者	・ 適用する　　・ 適用しない（1．3．3）
	⑤ 技能士	＊ 適用する　　・ 適用しない 職種別に可能なものについては積極的に活用のこと。（1．5．2） 適用する技能士 ⊙ 鉄筋施工　⊙ 左官（コンクリート工事）　⊙ 型枠施工 ・ とび（鉄骨工事）　⊙ ブロック建築　・ ＡＬＣパネル施工 ⊙ 防水施工　・ 石材施工　⊙ タイル張り ⊙ 建築大工（木工事）　⊙ 建築板金（屋根・とい工事） ・ スレート葺工（屋根・とい工事） ⊙ 内装仕上げ施工　⊙ 左官（左官工事）　⊙ サッシ施工（建具工事） ⊙ ガラス施工　⊙ 塗装　⊙ 内装仕上げ施工　・ 表装（内装工事） ・ 造園（植栽工事）　・ カーテンウォール施工
	⑥ 完成図	＊ 提出する　　・ 提出しない 当該建築物における完成図の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。
	⑦ 建築材料等	本工事に使用する建築材料は、別記記載規格によるほか建設大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」及び別記記載の資材及び見積メーカー（参考）又はこれらと同等とする。 品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用につとめること。
	⑧ 特別な材料の工法	共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。
	⑨ 騒音振動の防止	低騒音型・低振動型建設機械指定要領に基づき指定された建設機械をできる限り使用する。
	⑩ 標準操作方式建設機械の使用	標準操作方式建設機械指定要項に基づき指定された標準操作方式建設機械をできる限り使用する。
	⑪ 排出ガス対策建設機械の使用	排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械をできる限り使用する。
	⑫ 完成写真	下記のものを監督員に提出する。 分類｜規格｜箇所数｜部数｜備考 カラー｜・サービス版｜｜1部｜アルバム（335mm×290mm程度）一部提出 ｜⊙キャビネ版｜2｜2部｜ 注）アルバムには工事名称を記載する。 注）撮影位置及び提出物は監督員の承諾を受ける。 撮影業者　・監督員の承諾する撮影業者
	⑬ 設備工事との取合い	施工範囲　＊図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ＊図示した壁、天井の仕上げ材、下地材の切り込み及び補強 ＊電動装置が電動による建具等の２次側の配管配線及び受作スイッチ 施工図　設備機器の位置、取り合い等の検討出来る施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。
	⑭ 設計ＧＬ	ＫＢＭ(3‰12)　Ｈ＝184．978 計画ＧＬ　　ＦＨ＝186．500
	⑮ 養生その他	工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共在来にならい補修する。
	⑯ 事故報告	工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を監督員に速やかに提出すること。
②仮設工事	① 監督員事務所	＊ 設ける　　・ 設けない（2．3．1） 監督員事務所の規模　＊ １０㎡以上
	2 監督員事務所の備品等	備品等の設置 備品の種類｜机・いす｜書棚｜黒板｜製図板｜掛時計 数量｜｜｜｜｜｜ 備品の種類｜電度計｜ゴム長ぐつ｜雨がっぱ｜保護帽｜懐中時計 数量｜｜｜｜｜｜ 備品の種類｜加入電話の付属電話機｜冷暖房機器｜衣類ロッカー｜湯沸器 数量｜｜｜｜｜ 備品の種類｜消火器｜掃除具｜｜｜ 数量｜｜｜｜｜
	③ 工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できる（＊ 有償　・ 無償） ＊ 利用できない
	④ 工事用電力	構内既存の施設 ・ 利用できる（＊ 有償　・ 無償） ＊ 利用できない
③土工事	1 埋戻し及び盛土	種別　・ Ａ種　⊙ Ｂ種　・ Ｃ種　・ Ｄ種（表3．2．1）
	2 残土処分	＊ 構外に搬出し適切に設置する。 ・ 構内指示の場所に敷きならす。（3．2．5） ・ 構内指示の場所にたい積する。
④地業工事	1 報告書等	Ａ４版にて２部提出する。（4．2．5）
	2 既成コンクリート杭及び鋼杭地業	杭の種類（4．3．2）（4．4．2） ・ ＰＨＣ杭　・ Ａ種　・ Ｂ種 ・ ＰＲＣ杭 試験杭（4．1．4）（4．2．2）（4．3．2） 杭径｜長さ｜継ぎ手箇所｜長期支持力｜セット数 ｜｜｜｜ｔ／本｜ ｜｜｜｜ｔ／本｜ 本杭 杭径｜長さ｜継ぎ手箇所｜長期支持力｜セット数 ｜｜｜｜ｔ／本｜ ｜｜｜｜ｔ／本｜ ｜｜｜｜ｔ／本｜ ｜｜｜｜ｔ／本｜ 先端形状　・ 開放型　・ 閉そく型 杭の施工方法（4．3．3）（4．3．4）（4．3．5）（4．4．2） ・ 打込み方法 　プレボーリング　＊ 行う　・ 行わない 　プレボーリングの掘削深さ　設計ＧＬ－　　ｍ 打撃方法 ・ 油圧ハンマー（建設技術評価を受けたもの又は、監督員の承諾するもの） ・ 支持力算定式は、ＪＩＳＡ７２０１解説６．４．１の｛a｝、｛b｝による。 　ただし、本杭は｛a｝のみとする。 ・ 設定埋込み杭工法（建築基準法に基づき認定された工法） 杭固定法　・ 使用する　・ 使用しない ・ セメントミルク工法 杭頭の処理（4．3．7）（4．4．5） ・ 杭頭カットを行う　＊ ダイヤモンドカッター　・ 外圧方式　軸筋を残す ・ 杭頭カットを行わない
	3 場所打ちコンクリート杭地業	鉄筋の種類の記号　５章鉄筋工事の鉄筋の種類による コンクリートの種別　・ Ａ種　・ Ｂ種 設計基準強度（　　）Ｎ／mm2（4．5．3）（表4．5．1） ・ 掘削工法（4．5．4）（4．5．5） ・ アースドリル工法（安定液　＊ 使用する　・ 使用しない） ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法（孔内の水張り　＊行う　・行わない） ・ 建築基準法３８条により認定された工法 （　　） 支持地盤 試験杭 杭の本数　＊ 最初の１本 杭の種類　＊ 本杭と同じ 杭の寸法　長さ（m） 断面寸法　＊ 本杭と同じ
	4 再生クラッシャラン	最大粒径　４０mm　（４０－０） 配合比｜使用箇所 コンクリート100%｜土間下
	⑤ 砂及び砂利地業	厚さ（mm）　◉ ６０（基礎梁）　⊙ １２０（土間スラブ）　・ １５０（4．6．3）
	⑥ 均しコンクリート地業	厚さ（mm）　＊ ６０　⊙ ５０（4．6．4）
	⑦ 床下防湿層	ポリエチレンフィルム厚さ０．１５mm以上とする。（4．6．6）
	⑧ 地盤の載荷試験	載荷試験 ・ 平板載荷試験 　試験深さ（m）設計ＧＬより 　試験対象土質 　最大荷重（t） 　試験の方法は、「敷地調査共通仕様書」による。
⑤鉄筋工事	① 鉄筋の種類	（5．2．1） 鉄筋｜種類｜適用径（mm） ＊異形鉄筋｜⊙ ＳＤ２９５Ａ｜＊ Ｄ１６以下 ｜⊙ ＳＤ３４５｜＊ Ｄ１９以上 ｜・｜
	2 溶接金網	網目の形状、寸法（5．2．2） 鉄線の径（mm）
	3 耐久性上不利な箇所等の鉄筋のかぶり厚	（5．3．5） 施工箇所等｜最小かぶり厚さ（mm） ｜｜
	4 帯筋	形の種別 ＊ Ｈ形　・ Ｗ－Ⅰ形　・ Ｗ－Ⅱ形　・ ＳＰ形　・ 丸形
	⑤ 梁貫通孔補強	補強形式 ⊙ Ｈ形　・ ＨＭ形　・ Ｍ形
	⑥ 圧接完了後の試験	試験方法　⊙ 超音波探傷試験　・ 引張試験（5．4．9）
	⑦ 差し筋アンカー	⊙ 後施工アンカー　⊙ 金属拡張アンカー　Ｄ１０－Ｌ４５０ Ｄ１２－Ｌ６００ Ｄ１６－Ｌ７５０
⑥コンクリート工事	① 設計基準強度	普通コンクリート（6．1．4） 設計基準強度Ｆｏ｜適用箇所 ＊ ２１（Ｎ／mm2）｜構造躯体、犬走り ⊙ ２１（Ｎ／mm2）｜機械・設備基礎 ⊙ １８（Ｎ／mm2）｜シンダーコンクリート、足洗場 ＊ コンクリート強度の気温による補正を行う。（表6．3．2） ＊構造体としての耐水部位は、建屋構造躯体（基礎・基礎梁・柱・梁・壁・床）とする。 機械・設備基礎は、対象外とする。（6．3．2） ＊ 合板せき板を用いる場合（6．2．3） 種別｜塗装の有無｜施工箇所 ・ Ａ種｜⊙ 有　・ 無｜ ⊙ Ｂ種｜⊙ 有　・ 無｜壁 ⊙ Ｃ種｜⊙ 有　・ 無｜床版 ・ 合板せき板を用いない場合 　せき板の種別 ＊ コンクリート面の仕上がり程度（表6．2．4）
	② 調合管理強度	（6．1．4）
	③ コンクリートの仕上り	
	④ 無筋コンクリート	・適用箇所は６．１４．１による。ただし、上記の普通コンクリートの適用箇所を除く。 また、６．１４．１以外は下記による。（6．14．1） 適用箇所｜シンダーコンクリート
	⑤ 普通ポルトランドセメントの品質	ＪＩＳＲ５２１０（ポルトランドセメント）に示された規定の他、次の規定に適合しなければならない。 （1）水和熱　７日　３５２Ｊ／ｇ以下　２８日　４０２Ｊ／ｇ以下 （2）全アルカリ　０．７５%以下 　（注：全アルカリの算出はＪＩＳＲ５２１　ポルトランドセメント（低アルカリ形）による。） （3）塩素　０．０２%以下 　注）６章コンクリート工事以外にも使用されるコンクリート（無筋コンクリートを除く）には、全て適用する。（6．8．4）
	6 床型枠用鋼製デッキプレート	床型枠用鋼製デッキプレートは、建設技術評価制度「鉄筋コンクリート建築物等における床型枠用鋼製デッキプレートの開発」において評価を取得したもの又は建設大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　建築材料等評価名簿」による。
	⑦ 合板せき板の種類	材質　⊙ 複合合板　・ 南洋材 塗装　＊ 無　・ 有 塗装　＊ 無　⊙ 有（倉庫の壁・天井及びバルコニー・スロープの床下・見付け面）
	8 メッシュ型枠	材質及び使用部位については、構造図による。
	9 特殊樹脂化粧型枠	＊ 発砲スチレン製（石乱積み模様　ｔ=20～35）
	10 耐震スリット	＊ 垂直・水平壁用（目地固定式）耐火・防水仕様　ＤＸＷ＝25×180
⑦鉄骨工事	① 適用範囲	構造上主要な部材に準じてガイドレールに適用する。（7．1．1）
	② 施工管理技術者	＊ 適用する　・ 適用しない（7．1．4）
	③ 鋼材の種類	材質　・ ＳＮ４００　・ ＳＴＫ４００　・ ＳＳＣ４００（7．2．1）
	④ 高力ボルト	＊ トルシア形高力ボルト　⊙ ＪＩＳ形高力ボルト（7．2．2） ・ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト（建築基準法に基づき認定された高力ボルト）
	⑤ アンカーボルト	建方用アンカーボルトの材質（7．2．4） 材質　＊ ＳＮＲ４００Ｂ 建方用ボルトの保持及び埋込み　・ Ａ種　＊ Ｂ種　・Ｃ 種（表7．10．1） 均しモルタルの工法　・ Ａ種　＊ Ｂ（表7．10．2）
	6 ターンバックル	⊙ 建築用ターンバックル胴は割枠式（7．2．6）
	7 デッキプレート	⊙ Ｖ型　Ｈ50×ｔ1.6 メッキ製（7．2．7）
	8 溶接部の試験	試験の種別（7．6．11） ＊超音波探傷試験
	9 耐火被覆	種別（7．9．2） ・ ラス張りモルタル塗り　・ 耐火材吹付け 耐火板張り 所要性能
	10 鉄骨の製作	・ 「溶接作業判定基準」（昭和５６年９月１日付け建設省住指第２２０号）に適合する製作を行う製作工場又は建設省告示１１０３号に基づき建設大臣が認定した製作工場施工能力、規模（株）全国鉄鋼工場連合会　Ｒグレード以上 ・ 監督員の承認する工場
	⑪ その他	⊙ ガイドレール施工に際し施工図を作成し監督員との協議後決定する
⑧ブロック工事	1 補強コンクリートブロック造	ブロックの種別　＊ 空洞ブロック１６（8．2．2）
	② コンクリートブロック帳壁及び塀	ブロックの種別　＊ 表8．3．1による（8．3．2） Ｃ種　ｔ＝１００
⑨防水工事	1 アスファルト防水	（表9．2．5）（表9．3．11） 施工箇所｜種別 ｜｜ ｜｜ ｜｜ アスファルトの種類　＊ ３種　・ ４種（9．2．2） 脱気装置　＊ 無 ・ 有　種類（　　）　設置数量（　　）箇所 ・ 立上り部の工程及び工法 ＊ 溶式　（＊ レンガ　・ モルタル　・ コンクリート） ・ 乾式　（・ 乾式保護材） 断熱工法の断熱材（9．2．2） 種類　＊ ＪＩＳＡ９５１１ 　・（ポリスチレンフォーム保温材）　３種Ｂ類（スキン層付） 厚さ（mm）　＊ ２５ 施工標識　＊ 設ける　・ 設けない 施工箇所｜種別｜厚さ（mm） ｜Ｓ－１｜＊１．２ ｜Ｓ－２｜＊２．０ ｜Ｓ－３｜＊２．０ 屋上防水（改修部分共）｜Ｓ－Ｍ２｜＊１．５ 絶縁用シート　＊ 発砲ポリエチレンシート 露出の場合の保護塗装　＊ カラー　・ シルバー
	3 塗膜防水	代用樹種を適用しない箇所（表9．5．1）（表9．5．2） 施工箇所｜種別 改修部分の庇・脱気帽量根｜ウレタン系（Ｘ－２）下地 非歩行仕様（下地高圧洗浄、下地調整） ｜ポリマーセメンペースト塗り 露出の場合の保護塗装　＊ カラー　・ シルバー 脱気設置　＊ 無 ・ 有　種類（　　）　設置数量（　　）箇所 ・種別（Ｙ－２）における保護層 ＊ 適用しない　・ 適用する
	④ シーリング	（表9．7．1） 施工箇所｜記号｜種別 金物廻り、建具廻り｜ＭＳ－２｜変形シリコン２成分系 打継ぎ目地、腰ボーダー、目隠スリット｜ＰＵ－２｜ポリウレタン系 ｜｜ ｜｜ 接着性試験（9．7．5） ＊ 簡易接着性試験　・ 引張接着性試験無
⑩タイル工事	1 タイル	既成調合モルタル（11．2．1）（11．2．3） ＊ タイル製造所の指定する製品とする
	② 陶磁器質タイル張り	タイルの種類（11．2．1） 施工箇所｜形状寸法（mm）｜きじ 総せっ器｜きじ 陶器｜きじ 磁器｜うわ薬 施ゆう｜うわ薬 無ゆう｜役物 あなし｜役物 隅角｜色 標準｜色 特注｜備考 便所床｜５０角｜⊙｜・｜・｜・｜・｜⊙｜⊙｜・｜ 便所壁｜１００角｜・｜・｜⊙｜⊙｜・｜・｜⊙｜・｜ 盗外路段｜１５０×６０｜⊙｜・｜・｜⊙｜・｜⊙｜⊙｜・｜盲孔無し ｜｜｜・｜・｜・｜・｜・｜・｜・｜ ｜｜｜・｜・｜・｜・｜・｜・｜・｜ ｜｜｜・｜・｜・｜・｜・｜・｜・｜ 見本焼き　＊ 行わない　・ 行う（11．2．1） タイルの試験張り　＊ 行わない　・ 行う（11．2．1） 壁タイル張りの工法　＊ 表11．3．2による（11．3．3）
	3 陶磁器質タイル壁枠先付け	種別（11．4．2） ＊ タイルシート工法　・ 目地棧法　・ 桟木法
⑪木工事	① 木材	代用樹種を適用しない箇所（表12．2．1） 屋根下地材等種１等防腐剤塗り
	2 集成材	構造用集成材（12．2．1） 適用箇所｜品名｜強度等級｜材面品質｜樹種名｜接着性能 ｜｜｜｜｜｜ ｜｜｜｜｜｜
	③ 接合具	棟瓦支持金物　ステンレス製（12．2．2）
	4 防ぎ処理	防蟻処理を行う箇所（12．3．1）

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称	図面番号
特記仕様書（1）	A－1
測量　平成　年　月　日終了	
設計	
製図　原図	
図　複写	

伊賀市

⑫屋根及びとい工事

1 長尺金属板葺き

（13．2．3）（表13．2．1）

屋根葺形状	材種及び形状	厚さ（mm）	下葺	備考
＊ 瓦棒葺（心木なし）	＊ 塗装溶融亜鉛メッキ鋼板	＊ 0．4	＊ アスファルトルーフィング 940	

専門工事業者　長尺金属板製造所又はその指定業者

② 竪樋　材種　・配管用鋼管（白管）　（表13．5．1）
・配管用鋼管（黒管）
⊙ 耐候性特殊樹脂製 φ75　ステンレス製縦み金物 @900
防露　＊ 行う　⊙ 行わない　（表13．5．5）
竪樋受け　⊙ カラー平板敷き　未研磨平板 t 60×400×400

③ 軒樋　高耐候性特殊樹脂製 上幅124　亜鉛処理スチール芯入り　ステンレス吊り金物 ※600

④ 日本瓦葺　日本瓦（陶器質 防災瓦、耐震・耐風仕様）桟瓦葺き　瓦は全数釘とめとする。
瓦桟 18×30（檜）防腐剤塗り　アスファルトルーフィング 940 敷き
パーライトモルタル塗り下地 t ＝40、プラスチック面戸
寒冷地用の瓦を使用し、寒冷地に見合った施工

⑬金属工事

① 軽量鉄骨天井下地　野縁などの種類　（14．4．2）（14．4．3）（表14．4．1）
屋内　＊19型　※225　補強を行う、
屋外　＊25型
屋外の場合の補強　・有り　・無し

② 軽量鉄骨壁下地　スタッド、ランナの種類　（14．5．2）（14．5．3）
＊表14．5．1による。
W＝65　@300

③ 手すり　（14．8．2）

材種	加工仕様・表面処理の種別	施工箇所
ステンレス管 SUS 304 手摺り支柱・腕木受 t ＝3.0×内径 34.0 手摺り子 t ＝2.0×内径 27.2	H＝1.100　HL仕上げ、支柱@1.100 後施工SUSアンカー壁止め　3本／カ所 ベースプレート　SUS鋼板 t ＝6.0 手摺り子 @150以内	ﾊﾞﾙｺﾆｰ･ﾛｰﾌﾞ手摺り 電気室・倉庫階段 汚泥貯留槽外階段
ステンレス管 SUS 304 原柱 H ＝100×100×4.0 扉は手摺りに倣う。	扉：W×H＝2.000×1.000 ベースプレート　SUS鋼板　t ＝8.0 ガセットプレート　t ＝6.0 後施工SUSアンカー床止め　4本／カ所	バルコニー手摺り扉
ステンレス管 SUS 304 手摺り t ＝3.0×内径 34.0 手摺り支持部 t ＝2.0×内径 27.2	HL仕上げ、手摺り支持部 ≒※650 後施工SUSアンカー壁止め　3本／カ所 ベースプレート　SUS鋼板 t ＝6.0	階段室壁付け
ステンレス管 SUS 304 手摺り支柱・腕木受 t ＝3.0×内径 34.0 手摺り子 t ＝2.0×内径 27.2	H＝1.100　HL仕上げ、支柱@1.100 後後工SUSアンカー壁止め　3本／カ所 ベースプレート　SUS鋼板 t ＝6.0 手摺り子 ※150以内	汚水処理水槽上断面

④ タラップ　（14．8．3）

材種	加工仕様・表面処理の種別	施工箇所
ステンレス丸鋼 SUS 304 φ19	W=400 隠き、コンクリート壁埋込み	機械塔昇降用

⑥ ガルバニューム塗装鋼板張り　外壁取合い水切り、ケラバ木部隠し　t ＝0.4

⑦ ガイドレール　H形鋼製（SS400）　設計図により製作を行いSOP塗装とする。

⑧ シャッターBOX取付け金物　C軽量形鋼製（SS400）　設計図により製作を行いSOP塗装とする。

⑭左官工事

① 見本　建築外壁仕上塗材の色見本全てを（1m×1m以上の大きさ）に表したものを作成するものとする。

② 防火材料　屋内の壁及び天井の仕上げ材は、防火材料又は建築基準法に基づく基材貝等の認定表示のある物とする。

③ モルタル塗り　既製目地材　・使用する　⊙ 使用しない　（15．2．2）
防水剤使用力所　（表15．2．2）

④ 床コンクリート直均し仕上げ　床面の仕上り　V目地入り　（15．2．2）
スロープ床面は刷毛引き仕上げ

⑤ 仕上塗材仕上げ　（15．5．2）（表15．5．1）

種類	呼び名	仕上げ形状	工法	上塗材
・薄付仕上塗材	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状	＊ 吹付け	
	・内装薄塗材E	・砂壁状 ジュラク		
⊙複層仕上塗材	・外装厚塗材C	・模様置き ・凸部処理	・ローラー	＊ 水系上塗材 アクリル樹脂 ・ウレタン樹脂 エナメル 色＊ 艶有り （＊ 1色 ⊙ 2色） ・艶なし ・メタリック 増塗り材 ・行う ・行わない
	・外装厚塗材E	・模様吉き ・凸部処理		
	・複層塗材CE	・ゆず肌 ・凸部処理 ・凹凸模様	＊ 吹付け	
	・複層塗材E ・複層塗材RS ⊙ 複層塗材RE ・複層塗材S1	⊙ ゆず肌 ⊙ 凸部処理 ・凹凸模様		
⊙ 仕上塗材（厚塗型）	⊙ 吹付用軽量骨材仕上塗材	⊙ 砂壁状	＊ 吹付け	＊主材塗り厚5mm

・外部廻り複層塗材アクリルシリコンとする。
⊙ 室内はF☆☆☆☆剤使用とする。

⑥ 御影石類仕上塗材　＊ メーカー仕様による。　外壁腰壁部　一段目地・単色吹き

7 釘打ち用量標下地モルタル　＊（メーカー）　東邦パーライト（株）　スカイモル又は同等品以上

8 無収縮モルタル詰め　＊ メーカー仕様による。

⑮建具工事

① アルミニウム製建具　外部に面する建具
性能等級　・A種　⊙ B種　・C種　（表16．2．1）
表面処理　＊ C－1種　・B－2種　（表14．2．1）
内部に面する建具
表面処理　＊ C－1種　・B－2種　（表14．2．1）
・型材仕様

② 網戸（ガラリ部）　型式　＊ 可動取外式　・固定式
網の材質　＊ 合成樹脂
・ガラス格縦入り合成樹脂
⊙ ステンレス SUS 304
網目　⊙ 16メッシュ　・18メッシュ

3 鋼製建具　簡易気密ドア性能等級　気密性　＊ A－3　（16．3．2）
水密性　＊ W－1
・扉のみ取り替え　下番は再使用

4 鋼製軽量建具　簡易気密ドア性能等級　気密性　＊ A－3　（16．4．2）

5 ステンレス製建具　表面仕上げ　＊ HL仕上げ　（16．5．4）
曲げ加工　＊ 普通曲げ　・角出し曲げ　（16．5．5）

6 自動ドア開閉装置　センサ種類　＊ マットスイッチ　（16．6．2）（16．6．3）
・光線スイッチ

⑦ 建具用金物　マスターキー　⊙ 製作する　・製作しない　（16．8．6）
操作オペレータ　・取設する　・取設しない
⊙ 鍵は同一シリンダーとする

⑧ ガラス　（16．9．2）

建具の種類	材質	
アルミニウム製	⊙ シーリング材	＊ ガスケット
鋼製	＊ シーリング材	
ステンレス製	＊ シーリング材	

熱線反射ガラスの映像調整　（16．9．4）
・行う　・行わない

⑨ ガラスブロック積み　＊ 190×190×95　クリヤー　（16．13．5）

10 重量シャッター　開閉機能による種類　（表16．10．1）
＊ 上部電動式（手動併用）
・上部手動式

① 軽量シャッター　開閉機能による種類　（表16．11．1）
＊ 手動式　・上部電動式（手動併用）　（16．11．2）
耐風圧強度　S－5
スラットの形状　（16．11．3）
＊ インターロッキング形
・オーバーラッピング形
三方枠　SUS 304　t ＝1.5　HL仕上げ
シャッターケース　カラー鋼板　t ＝0.8　3面

⑫ 建具周囲のシーリング用材料　シーリング材は、標準仕様書9章6節による

⑯塗装工事

① 材料　＊ 屋内の壁及び天井の塗装仕上げは防火材料とする。　（18．1．3）
・次の箇所を除き防火材料とする。

2 マスチック塗材塗り　（18．17．2）（表18．17．1）

種別	面処理	
・A種	・行う ・行わない	
・B種		
・C種	・行う ・行わない	・アクリル樹脂エナメル2回塗り ・つや有合成樹脂エマルションペイント2回塗り

③ 合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）　＊ A種　・B種　（表18．13．1）

4 床用塗料塗り　＊平滑仕上げ　・防滑仕上げ

⑤ 塗装業者　＊日本塗装工業会の会員　・塗装員の系譜する塗装業者

⑥ 合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）　（表18．2．2）（表18．3．1）（表18．4．2）

⑦ 結露防止材吹付け　＊厚1.2mm（カラー）

⑰内装工事

① ビニル床シート張り　（19．2．2）

種類	色柄	厚さ（mm）	継目
＊ NC　・NF ・	＊ 無地 ・柄物	＊ 2.5 ⊙ 2.0	＊ 溶接 ・突付け

平ら端部はステンレス製への宇金物押さえ

2 ビニル床タイル張り　（19．2．2）

寸法	種類		継目
⊙ 300×300	・コンポジションビニル床タイル	半硬質	＊ 2.0
・450×450	・コンポジションビニル床タイル	軟質	・
・	・ホモジニアスビニルタイル		・

③ ビニル巾木　材質　＊ 軟質　・硬質
厚さ（mm）　＊ 2.0　（19．2．2）
高さ（mm）　・60　＊ 75　⊙ 100　（19．2．2）

4 エポキシ樹脂塗り床　仕上げの種類　（表19．4．2）－（表19．4．7）
・薄膜流し展べ仕上げ　⊙ 厚膜流し展べ仕上げ
・樹脂モルタル仕上げ　⊙ 防滑仕上げ　t ＝2.0

⑤ せっこうボード及びその他のボード張り　（表18．3．4）（表18．3．7）

材種	種別		厚さ（mm）	備考
・せっこうボード		壁	・ 9.5（準不燃） ＊ 12.5（不燃）	
		天井	・ 9.5（準不燃） ＊ 12.5（不燃）	
⊙ 化粧せっこうボード	⊙ トラバーチン模様		＊ 9.5（不燃）	
	・木目模様		＊ 9.5（準不燃）	
	・普通		＊ 9　・12	
	・立体模様		・12　・15　・19	
・ケイ酸カルシウム板			・ 6　・ 8	

⑥ 吸音材張り　（18．4．2）

材種	種別	厚さ	工法
吸音用グラスウールボード	・ 2号32K ⊙ 2号48K	・ 25 ⊙ 50	ガラスクロス 19 メッシュ張り（小口共） 化粧ボタン止め（タテ・ヨコ共@300 程度）

特定フロンを含まない物

⑱雑工事

① 階段滑り止め　⊙ 内部階段　ステンレス SUS 304 製　W=35　ビニルワイヤ入り（面端フラットエンド付）
・外部階段　ステンレス SUS 304 製　W=50　ビス止め @150
幅　・約35mm
工法　＊ 接着工法　・埋込み工法

2 くつふきマット　材種　・塩化ビニル（受枠　ステンレス SUS 304 製）
・ステンレス SUS 304 製（受枠　ステンレス SUS 304 製）
・樹質アルミニウム合金製（受枠　樹質アルミニウム合金）

③ 天井見切縁　材種　・アルミニウム合金製　○ 塩化ビニル製

④ 点検口

取付箇所	材種	寸法	形状
天井	⊙ アルミニウム製	⊙ 450角 ・600角	⊙ 線縁タイプ ・目地タイプ ・
床	・アルミニウム製 ・	・450角 ・600角 ・	

5 フェンス　・ネットフェンス　高さ（mm）　・900　・1200
・格子フェンス　高さ（mm）　・600　・900　・1200
鋼材種　・ビニル被覆鉄線

6 車止めさく

型式	材質	柱径（mm）	高さ
＊ 上下式振内鍵式 ＊ 標準式 ・スプリング付	＊ ステンレス製（鎖共）	＊ φ76.3 ・	＊GL ＋850

7 昇降口ハッチ　＊ ステンレス板製 SUS 304　t ＝2.0　密閉型　600角

8 鍵箱　＊ 30本用　・60本用

9 ポンプ吊上げ用フック　・10kN吊り用　＊ 1t吊り用
＊ SUS 304製　・鋼鉄製亜鉛メッキ

10 ノーブレンステップ　＊ W＝400

⑪ ステンレス蓋台　＊ ステンレス板 SUS 304　t ＝1.5　折り曲げ加工製　HL仕上げ

⑫ 床見切り框　＊ ステンレス板 SUS 304　t ＝2.0　折り曲げ加工　HL仕上げ製　内側モルタル詰め

⑬ シャッター下床見切り　＊ ステンレスL－50×50×5.0 SUS 304　床アンカー@300

⑲排水工事

1 遠心力鉄筋コンクリート管　＊1種　・2種　（21．2．1）（表21．2．1）
継ぎ手　＊ソケット管（B形）のゴム接合
・

② 硬質塩化ビニル管　＊VP　・VU　（表21．2．1）

③ 排水桝　＊排水既製改良桝（300角）　蓋 コンクリート製　T－14（21．2．2）

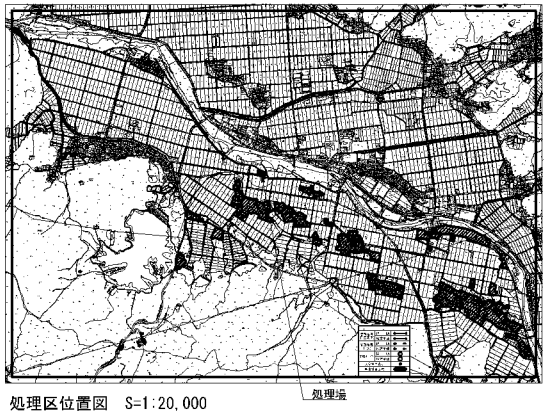
3．機械設備工事仕様

編・章	項目	
①一般事項 ①一般事項	① 技能士	＊ 適用する　・適用しない 職種別に可能なものについては積極的に活用のこと。　（1．5．2） 適用する技能士 ⊙ 配管工
②共通工事 ②配管工事	① 配管材料	管及び継手　（2．1．2）
	② 配管付属品	一般用弁及び栓　（2．2．1） スリーブ　＊紙製仮枠　・亜鉛鉄板製　（2．2．23）
	③ 配管施工の一般事項	給水配管　（2．4．7） 排水及び通気配管　（2．4．8）
	④ 管の接合	＊ビニル管　（2．5．10）
	⑤配、吊り及び支持	＊勾配　（2．6．2） ＊吊り及び支持　（2．6．3）
	⑥ 埋設深さ	（2．7．2）
	⑦ 貫通部の処置	（2．8．1）
	⑧ 試験	＊給水及び給湯配管　（2．9．3） ＊排水及び通気配管　（2．9．4）
⑤給排水衛生設備工事 ①機材	1 衛生器具及び付属品	（1．1．2）
	② 水栓	（1．1．9）
	3 鏡	（1．1．12）
	4 化粧棚	（1．1．14）
	5 水石けん入れ	（1．1．2）
	6 床排水トラップ	（1．7．3）
	7 床上掃除口	（1．7．4）
	⑧ 排水金物	（1．7．6）
①施工	① 衛生器具	（2．1．2）

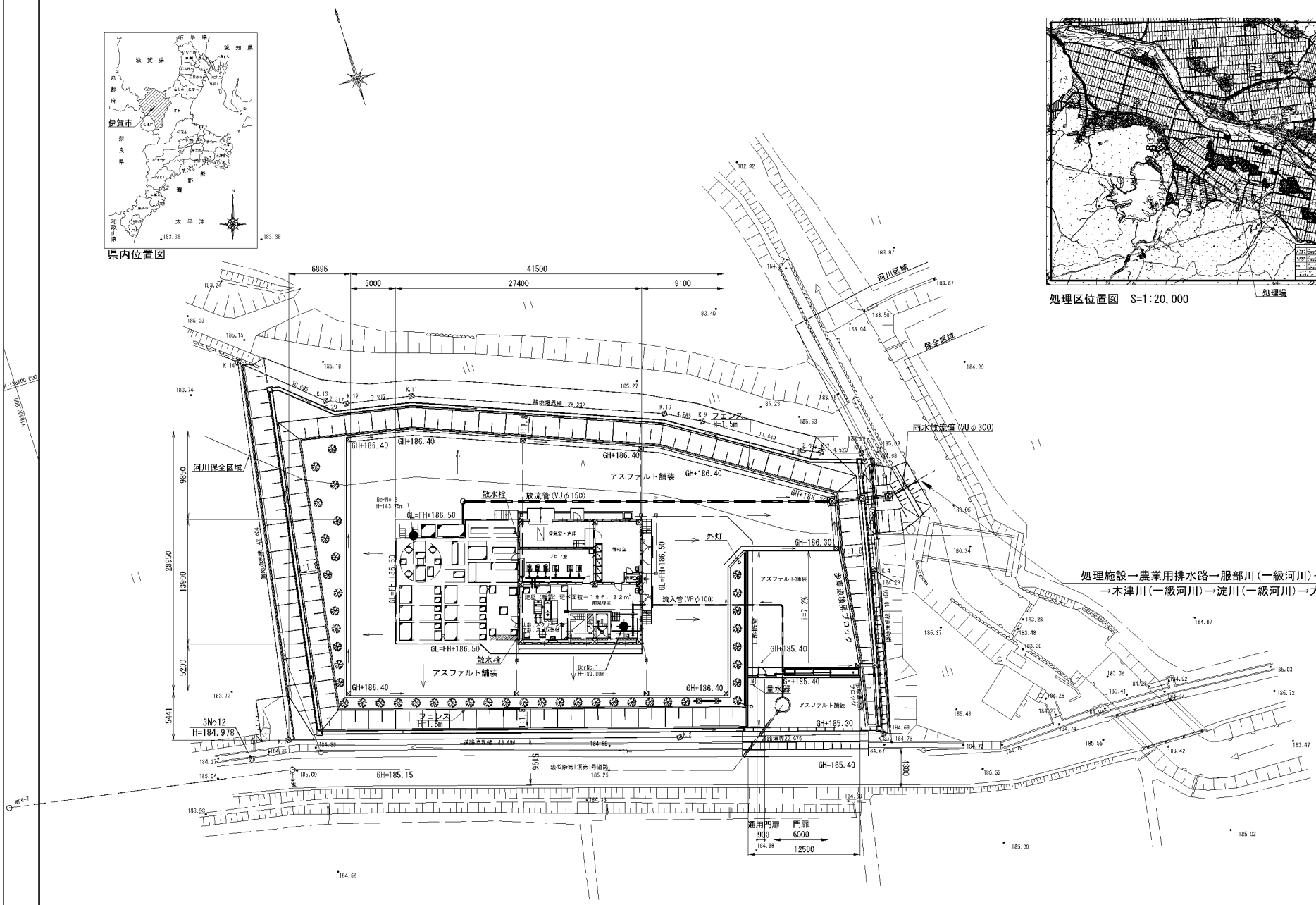
農業集落排水施設整備事業　山田南地区

図面の名称	図面番号
特記仕様書（2）	A－2
測量	平成　年　月　日終了
設計	
製図	原図
図	複写

伊賀市



処理区位置図　S=1:20,000



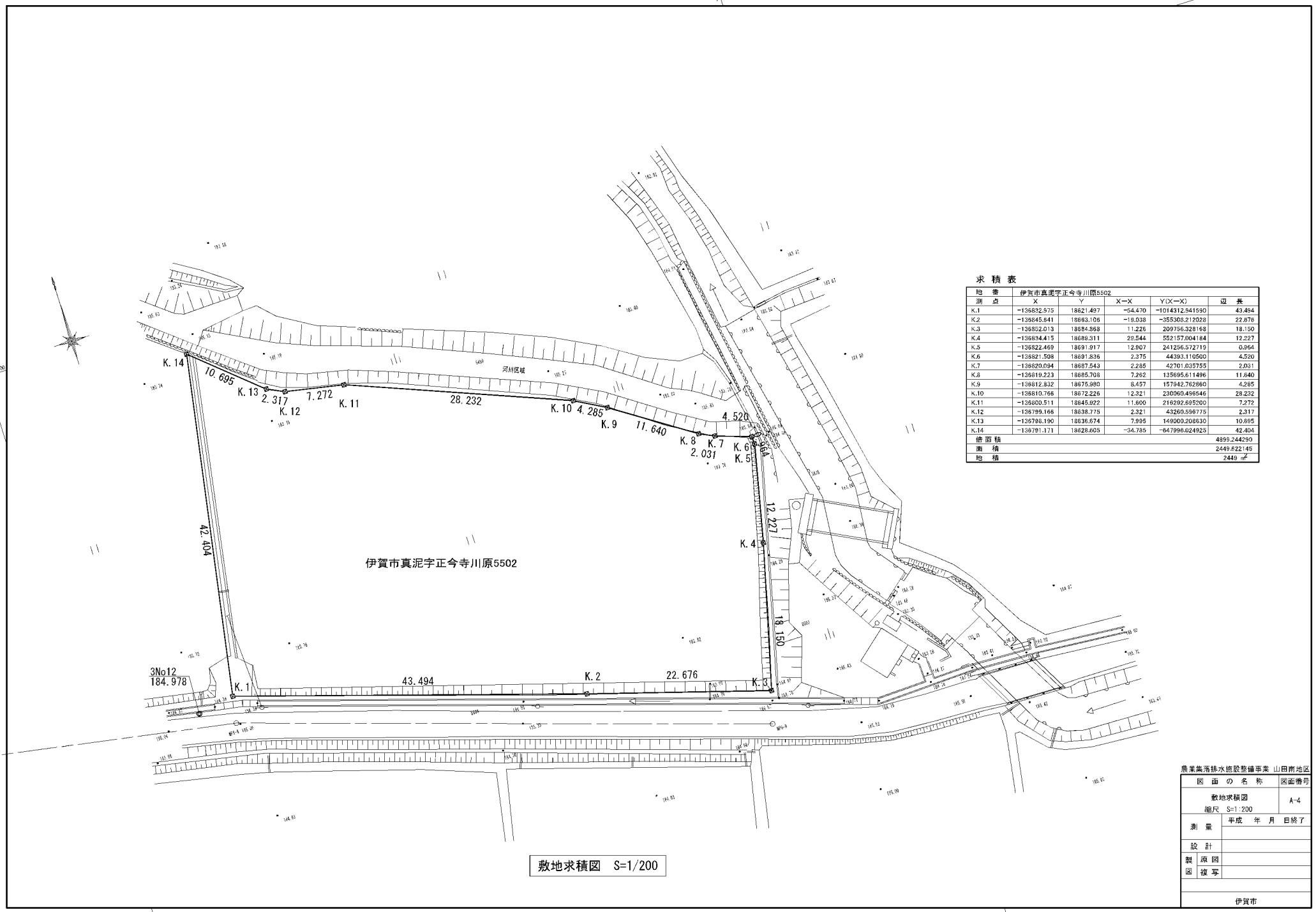
処理施設→農業用排水路→服部川(一級河川)→柘植川(一級河川)
→木津川(一級河川)→淀川(一級河川)→大阪湾

配置計画平面図

S=1:200

農業集落排水施設整備事業　山田南地区

図面の名称		図面番号
配置計画平面図 縮尺　S=1:200		A-3
測量	平成　年　月　日終了	
設計		
製図 原図		
製図 複写		
伊賀市		



敷地求積図　S=1/200

求積表

地番	伊賀市真泥字正今寺川原5502				
測点	X	Y	X−X	Y(X−X)	辺長
K.1	−136832.975	18621.497	−54.470	−1014312.941590	43.494
K.2	−136845.641	18663.106	−19.038	−355308.212028	22.676
K.3	−136852.013	18684.868	11.226	209756.328168	18.150
K.4	−136834.415	18689.311	29.544	552157.004184	12.227
K.5	−136822.469	18691.917	12.907	241256.572719	0.964
K.6	−136821.508	18691.836	2.375	44393.110500	4.520
K.7	−136820.094	18687.543	2.285	42701.035755	2.031
K.8	−136819.223	18685.708	7.262	135695.611496	11.640
K.9	−136812.832	18675.980	8.457	157942.762860	4.285
K.10	−136810.766	18672.226	12.321	230060.496546	28.232
K.11	−136800.511	18645.922	11.600	216292.695200	7.272
K.12	−136799.166	18638.775	2.321	43260.596775	2.317
K.13	−136798.190	18636.674	7.995	149000.208630	10.695
K.14	−136791.171	18628.605	−34.785	−647996.024925	42.404
倍面積					4899.244290
面積					2449.622145
地積					2449 ㎡

農業集落排水施設整備事業　山田南地区

図面の名称		図面番号
敷地求積図 縮尺　S=1:200		A-4
測量	平成　年　月　日終了	
設計		
製図 原図		
製図 複写		
伊賀市		

建築概要

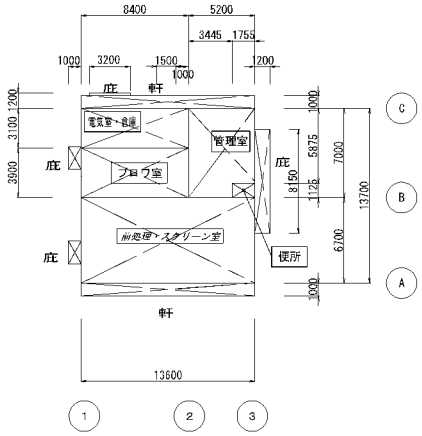
工事名称	農業集落排水施設整備事業 山田南地区
工事場所	三重県伊賀市真泥字正今寺川原5502
構造概要	鉄筋コンクリート構造　　地上１階
敷地面積	2,449.62 ㎡
建築面積	188.63 ㎡
延べ面積	186.32 ㎡

外部仕上表

屋　根	コンクリートコテ押え　パーライトモルタルt=40　アスファルトルーフィング940下地	雨　樋	軒樋：高耐候性特殊樹脂　W=124　亜鉛処理スチール芯入り
	日本瓦葺き（陶器質防災瓦,耐震,耐風,寒冷地仕様）　雪止め付（三州陶器瓦同等）　勾配4/10		竪樋：高耐候性特殊樹脂φ100　受金物（ステンレス製）@1,200以内
軒　天	コンクリート打放し補修の上　複層塗装　ＲＥ（ゆず肌模様）　増打（t=20）	開口部	アルミ製建具　二次電解着色クリア仕上げ（カラー）
			スチール製シャッター　カラー鋼板製
外　壁	コンクリート打放し補修の上　複層塗装　ＲＥ（凸部処理）　増打（t=20）	庇	日本瓦葺き（陶器質防災瓦,耐震,耐風,寒冷地仕様）　雪止め付（三州陶器瓦同等）　勾配4/10
			アスファルトルーフィング 940 敷き　スカイモルタル塗り下地 t40
腰　壁	コンクリート打放し補修の上　高級自然石目調新型装飾仕上塗装剤単色吹　増打（t=20）	庇　天	コンクリート打放し（化粧目地切）補修の上　複層塗装　ＲＥ（凸部処理）増打（t=20）
	コンクリート打放し補修の上　複層塗装　ＲＥ（凸部処理）　増打（t=20）		
巾　木	モルタル金コテ押さえ（t=20、H=80～180）	外部廊下スロープ水槽上端	ステンレス製支柱タイプ手摺り　H=1,100　φ34・階段部　H=850　φ34
			ステンレス製手摺り扉　W×H=2,000×1,100

内部仕上表

階	室名		床	厚さ	幅木（腰壁）	高さ	塗装	壁	厚さ	塗装	天井	厚さ	不燃・準不燃	廻縁	天井高さ	備考
1階	管理室	仕上	ビニル床シート貼り	2.5	軟質ビニル幅木貼り	100		ＡＥＰ塗装		ＡＥＰ	化粧石膏ボード張り	9.5	不　燃	塩ビ製	2,500	動力制御盤基礎 天井点検口 450角（3箇所） 洗面器・洗面パック、消火器置き場
		下地	無筋コンクリート金コテ	117				コンクリート打放しのうえ 跡補修			軽量鉄骨天井下地　野縁19型 @225					
	便　所	仕上	磁器質タイル貼り 50角					陶器質タイル張り 100角			化粧石膏ボード張り	9.5		塩ビ製	2,400	手洗いタンク付洋風便座
		下地	モルタル塗り　洗床：シンダーコンクリート H=290	60				モルタル塗り	20		軽量鉄骨天井下地　野縁19型 @225					
	前処理室 スクリーン室	仕上	塗床防滑仕上げ		モルタル金コテ押さえ(出幅木)	100					軽量骨材仕上げ塗材吹付け（梁は含まず）	5.0				点検用階段 排水溝・排水パイプ・排水目皿 掃除用流し・洗面パック（２箇所）・手洗い器
		下地	無筋コンクリート金コテ	120				コンクリート打放しのうえ 跡補修ままま			コンクリート打放しのうえ 跡補修（梁のみ）					
	電気室・倉庫	仕上	下地のまま		モルタル金コテ押さえ(出幅木)	100					軽量骨材仕上げ塗材吹付け（梁は含まず）					シャッター下床見切り、ノンスリップ ガイドレール　１ton吊り用 ステンレス製支柱タイプ手摺り H=1100 φ34、消火器置き場
		下地	無筋コンクリート金コテ	200				コンクリート打放しのうえ 跡補修ままま			コンクリート打放しのうえ 跡補修（梁のみ）					
	電気室・倉庫 （階段下）	仕上	下地のまま		モルタル出幅木	100		ＣＢ積み、化粧目地								
		下地	無筋コンクリート金コテ	200												
	ブロワ室	仕上	塗床防滑仕上げ		モルタル金コテ押さえ(出幅木)	300		グラスウール吸音板貼り　ガラスクロス額縁押さえ	50		グラスウール吸音板張り　ガラスクロス額縁押さえ	50				ブロワ基礎（4箇所）
		下地	無筋コンクリート金コテ	120												



求 積 図　S=1/200

建築面積求積表

部　位	計　算　式	面　積
1　階	13.600 × 13.700 =	186.32 ㎡
庇	0.200 × 8.150 =	1.63 ㎡
庇	0.200 × 3.200 =	0.64 ㎡
建築面積合計		188.630 ㎡

述べ面積求積表

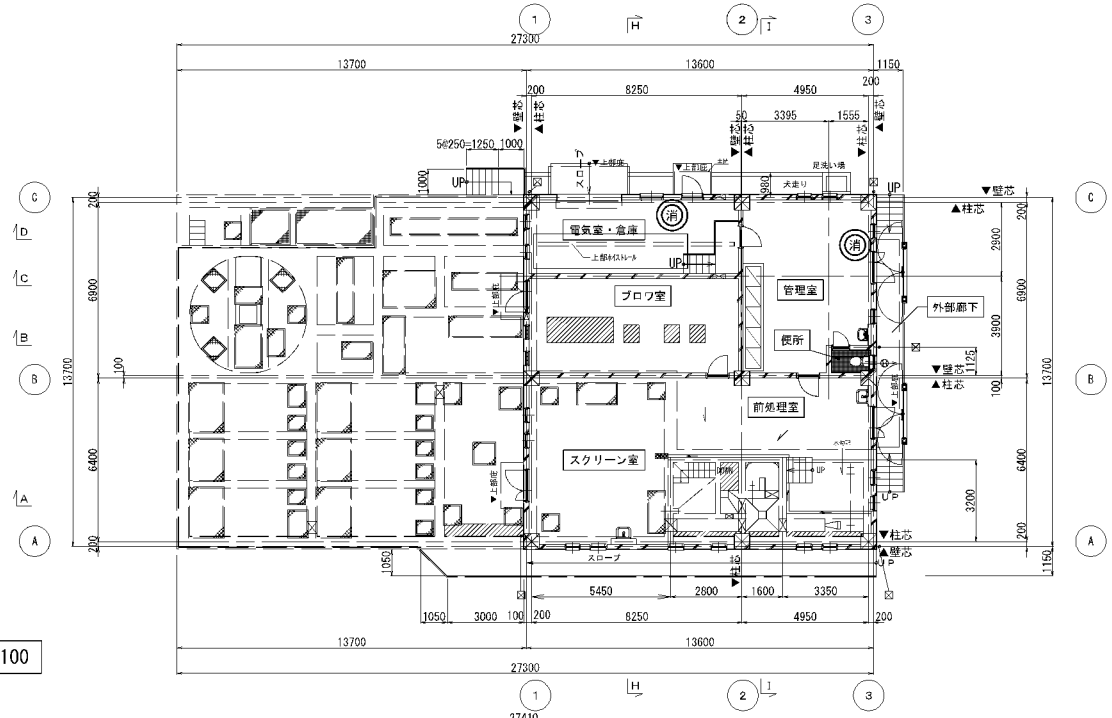
室　名	計　算　式	面　積
管 理 室	(5.200 × 7.000) - (1.755 × 1.125) =	34.426 ㎡
前処理・スクリーン室	13.600 × 6.700 =	91.120 ㎡
電気室・倉　庫	8.400 × 3.100 =	26.040 ㎡
ブ ロ ワ 室	8.400 × 3.900 =	32.760 ㎡
便　所	1.755 × 1.125 =	1.974 ㎡
1 階 合 計		186.320 ㎡
述べ面積合計		186.320 ㎡

居室法的チェック

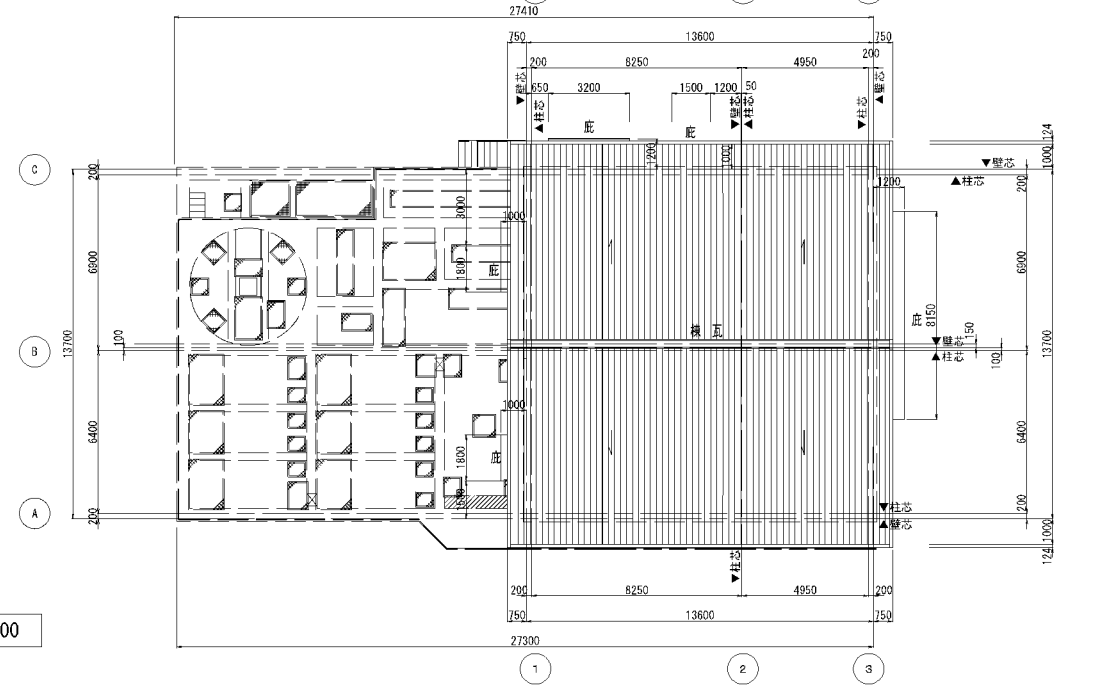
	計　算　式		判　定
管　理　室	(5.200 × 7.000) - (1.755 × 1.125) =	34.426 ㎡	
必要採光面積	34.43/20=1.73	1.73 ㎡	
採光補正係数	境界まで距離があるため	3.0	
有効採光面積	AW-1:0.495 x 1.10x3x3=4.90	4.90 ㎡	OK
必要換気面積	34.43/20=1.73	1.73 ㎡	
有効換気面積	AD-1:1.20x2.00＝2.40	2.40 ㎡	OK
排煙：告示1436-4-ニ-(4)による対応			OK

農業集落排水施設整備事業　山田南地区

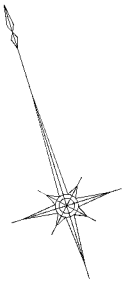
図面の名称	図面番号
建築概要・内外部仕上表 求積図・求積表 縮尺　S=1:200	A- 5
測量	平成　年　月　日終了
設計	
製図 原図	
製図 複写	
伊賀市	



上部平面図　S=1/100



屋根伏図　S=1/100



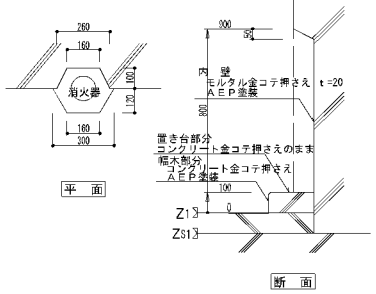
凡　例

消　：消火器置き場　２本

（ＡＢＣ粉末消化器　10型　加圧式　薬剤 3kg）

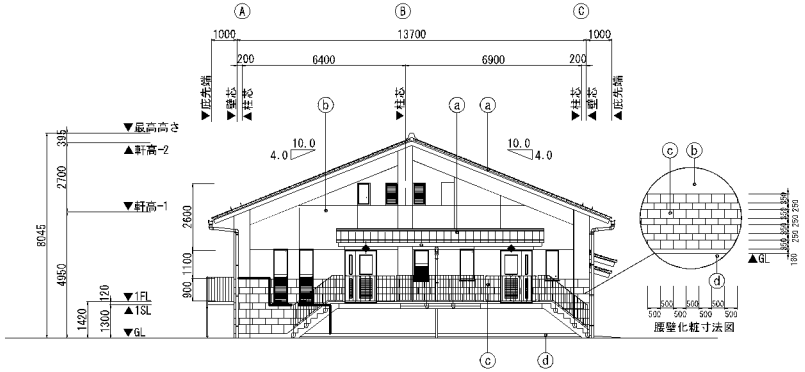
消火器置き場　壁欠き込み　２カ所　S=1/10

注：管理室の壁以外は、コンクリート打放し跡補修のままとする。
幅木は、コンクリート打放し跡補修のままとする。

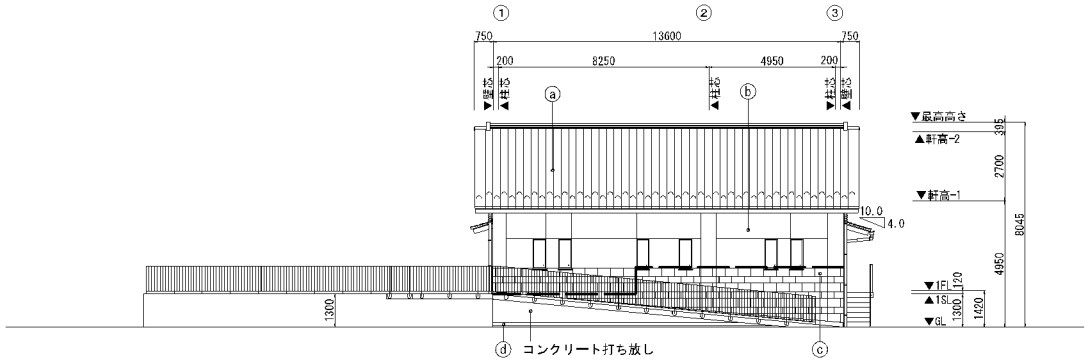


農業集落排水施設整備事業　山田南地区

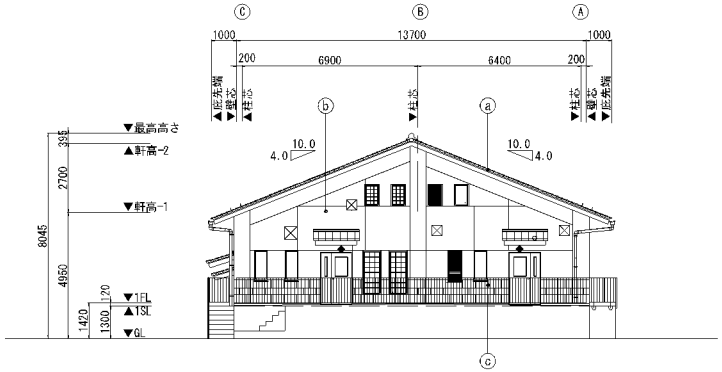
図面の名称		図面番号
上部平面図・屋根伏図 縮尺　S=1:100		A- 6
測量	平成　年　月　日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	
伊賀市		



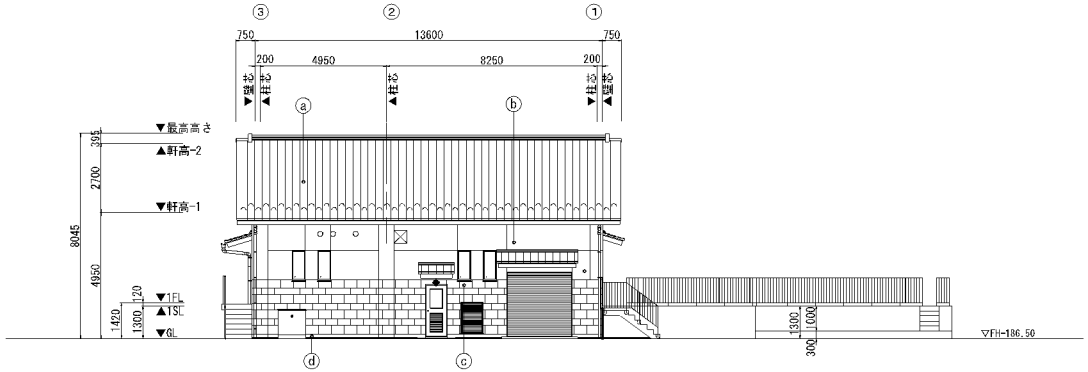
東立面図　S=1/100



南立面図　S=1/100



西立面図　S=1/100



北立面図　S=1/100

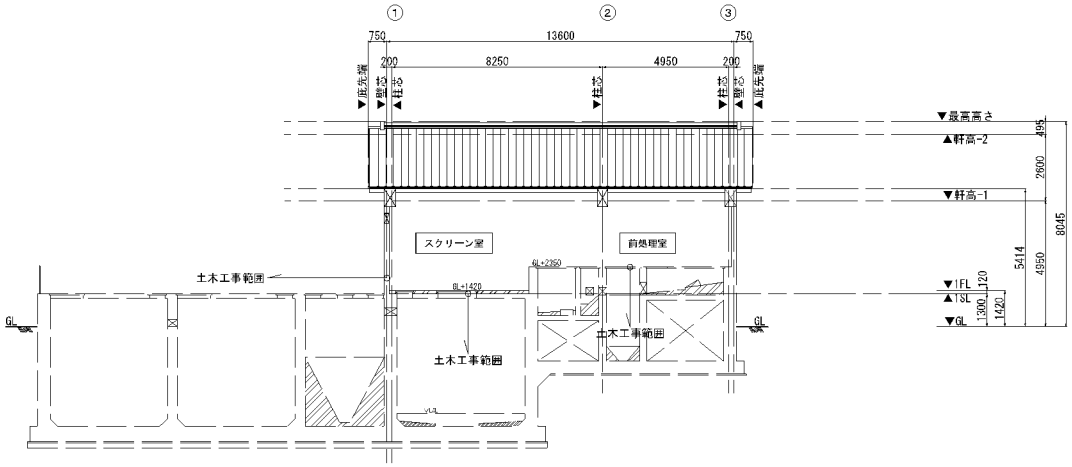
外部仕上表凡例

符号	場所	仕上	符号	場所	仕上
ⓐ	屋根	コンクリートコテ押え　パーライトモルタルt=40　アスファルトルーフィング940下地		建具	アルミドア（額入網入ガラス）　カラーアルミガラリ　アルミサッシ
		日本瓦葺き　雪止め付　寒冷地仕様（三州陶器瓦同等）　勾配4/10			軽量アルミシャッター
	軒天	コンクリート打放し補修の上　複層塗装　ＲＥ（ゆず肌模様）　増打（t=20）		雨樋	軒樋：高耐候性特殊樹脂　W=124　亜鉛処理スチール芯入り
					竪樋：高耐候性特殊樹脂φ100　受金物（ステンレス製）@1,200以内
ⓑ	外壁	コンクリート打放し補修の上　複層塗装　ＲＥ（凸部処理）　増打（t=20）		水槽屋上	コンクリート金ゴテ押え（土木工事）
					※外壁に室名札（既製品）　アクリル製250×50 t=5.0 切り文字シート貼　5箇所 ◆
ⓒ	腰壁	コンクリート打放し補修の上　高級自然石目調新型装飾仕上塗装剤単色吹　増打（t=20）			
					※打継目地は土木工事と建築工事の取り合い部分とする　——— ———
ⓓ	巾木	モルタル金コテ押え　（t=20）　H=80～180		⊠	設備ダクトスリーブ位置
				○	換気配管スリーブ位置

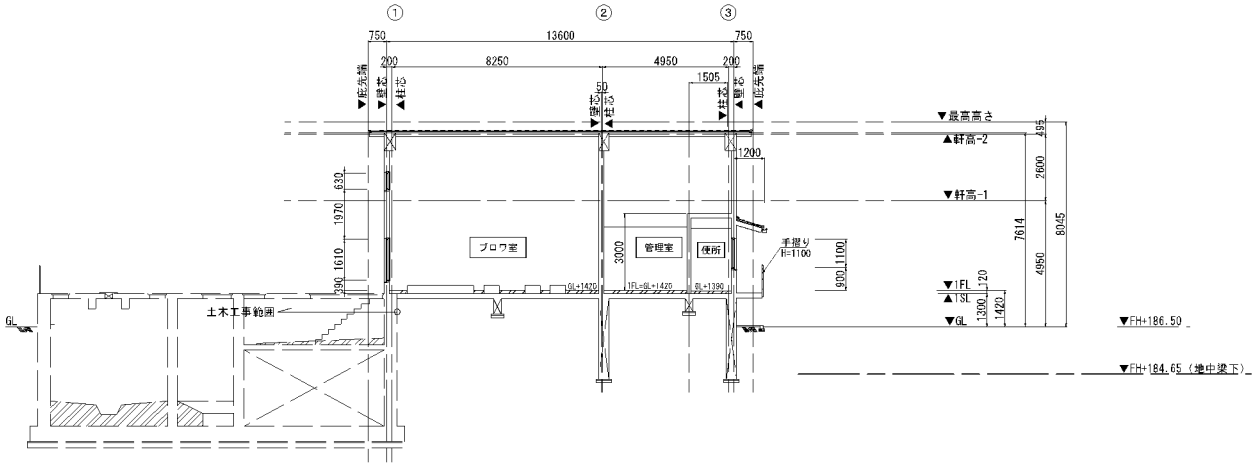
※建物設置地盤は設計GL=FH+186.50で一定の位置とする。

農業集落排水施設整備事業　山田南地区

図面の名称		図面番号
立面図 縮尺　S=1:100		A-7
測量	平成　年　月　日終了	
設計		
製図 原図		
製図 複写		
伊賀市		



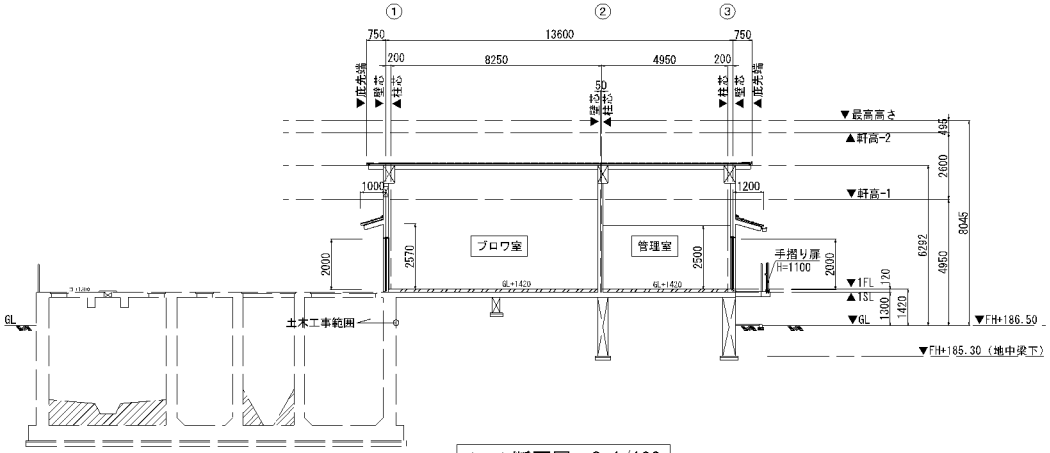
A－A断面図　S=1/100



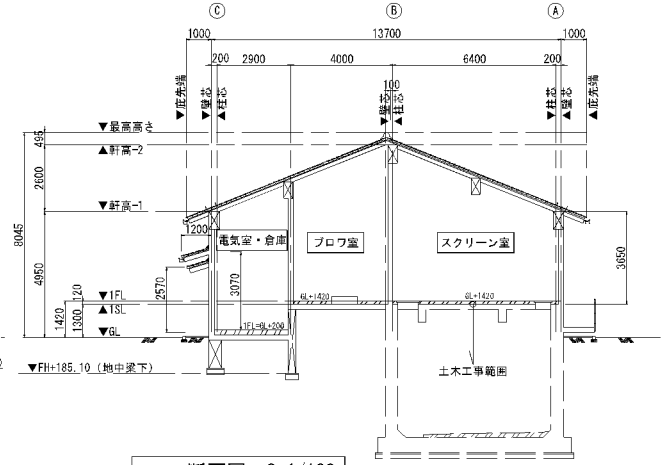
B－B断面図　S=1/100

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

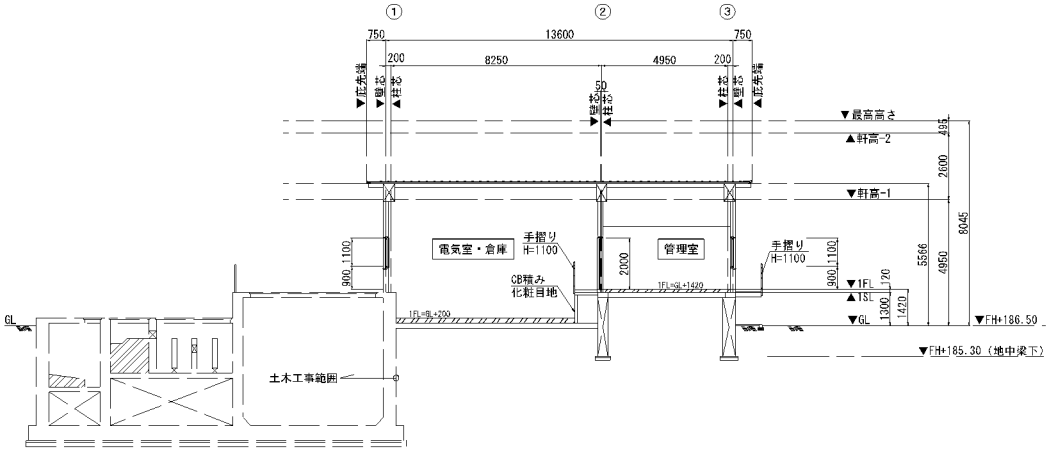
図面の名称		図面番号
断面図-1 縮尺 S=1:100		A- 8
測量	平成　年　月　日終了	
設計		
製図 原図		
製図 複写		
伊賀市		



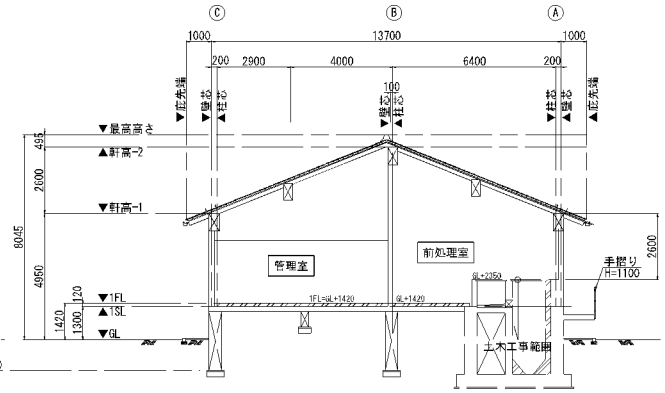
C－C断面図　S=1/100



H－H断面図　S=1/100



D－D断面図　S=1/100



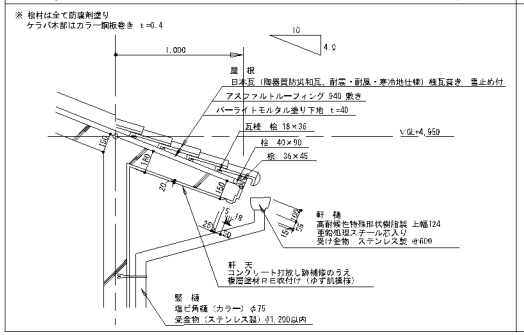
I－I断面図　S=1/100

※　梁コーナー部は、三角面木（面ツラ30）とする。

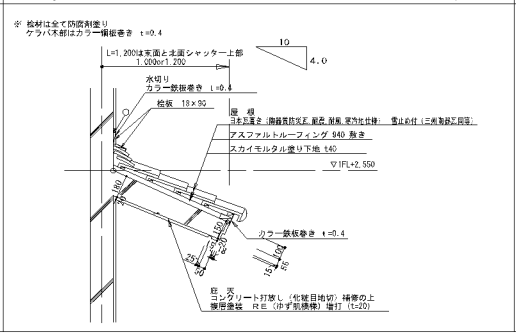
農業集落排水施設整備事業　山田南地区

図面の名称		図面番号
断面図-2 縮尺　S=1:100		A- 9
測量	平成　年　月　日終了	
設計		
製図 原図		
製図 複写		
	伊賀市	

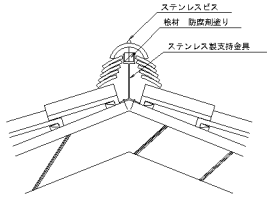
軒部分 1/20

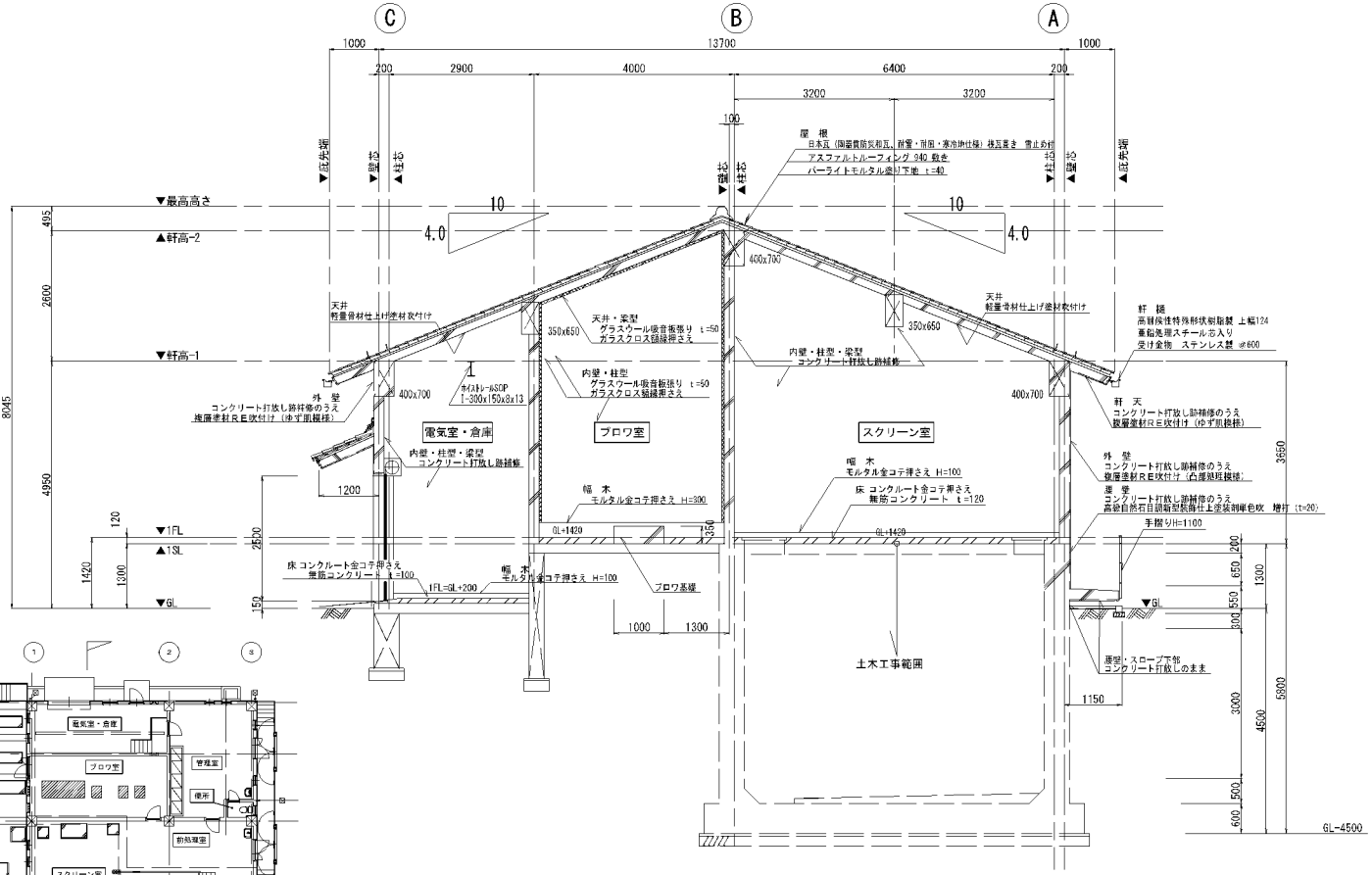


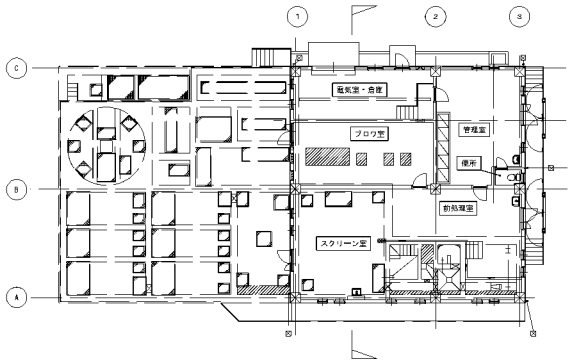
庇部分 1/20



棟部分 1/10







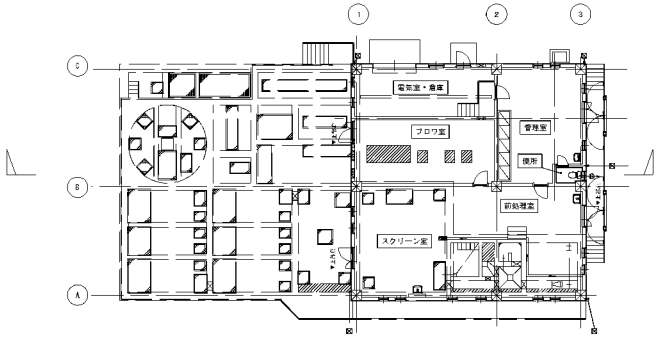
KEYPLAN

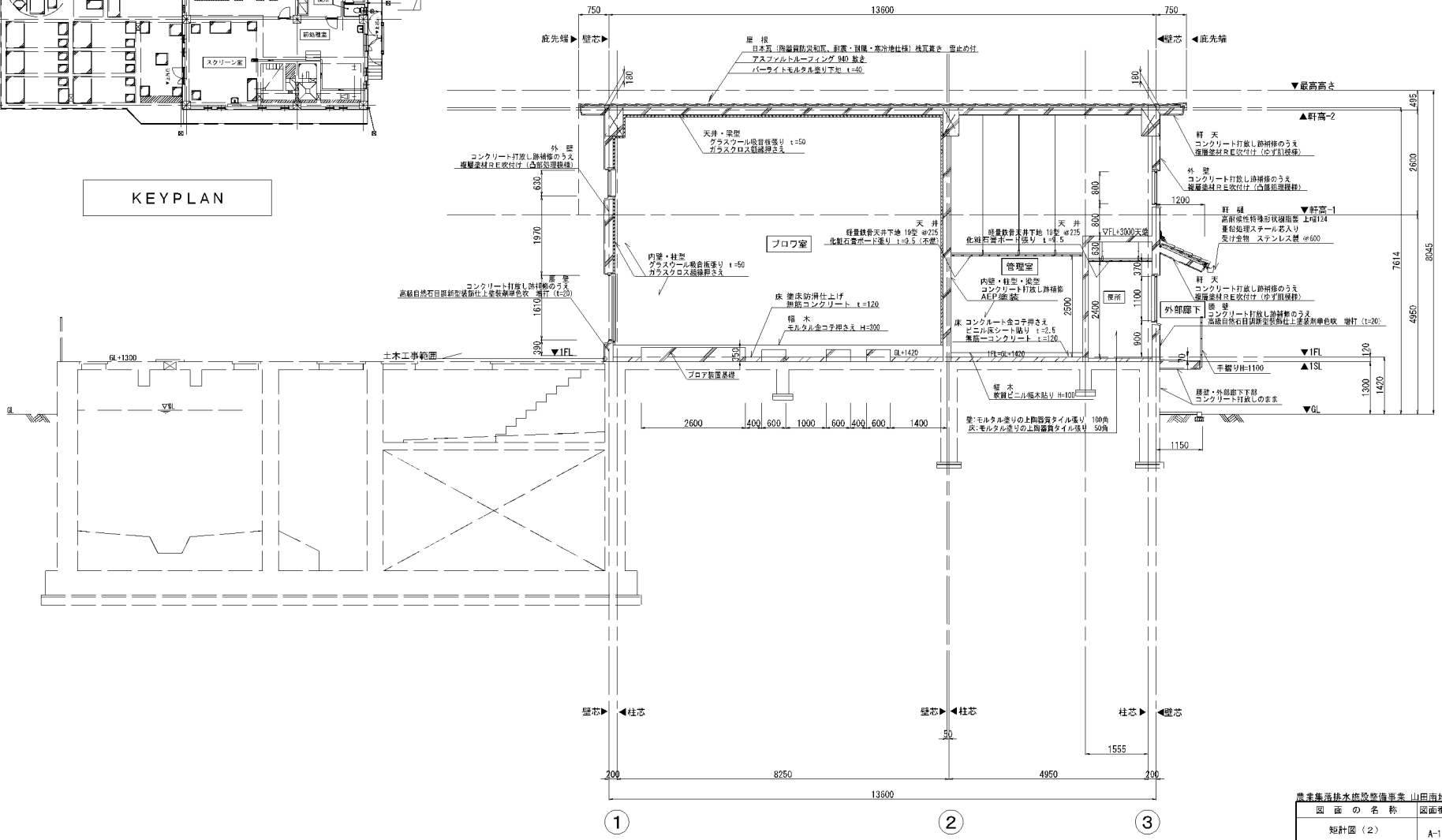
短計図（1） S=1/50

※ 梁コーナー部は、三角面木（面ツラ30）とする。

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称	図面番号
短計図（1） 縮尺 S=1:50	A-10
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図 原図	
複写	
伊賀市	

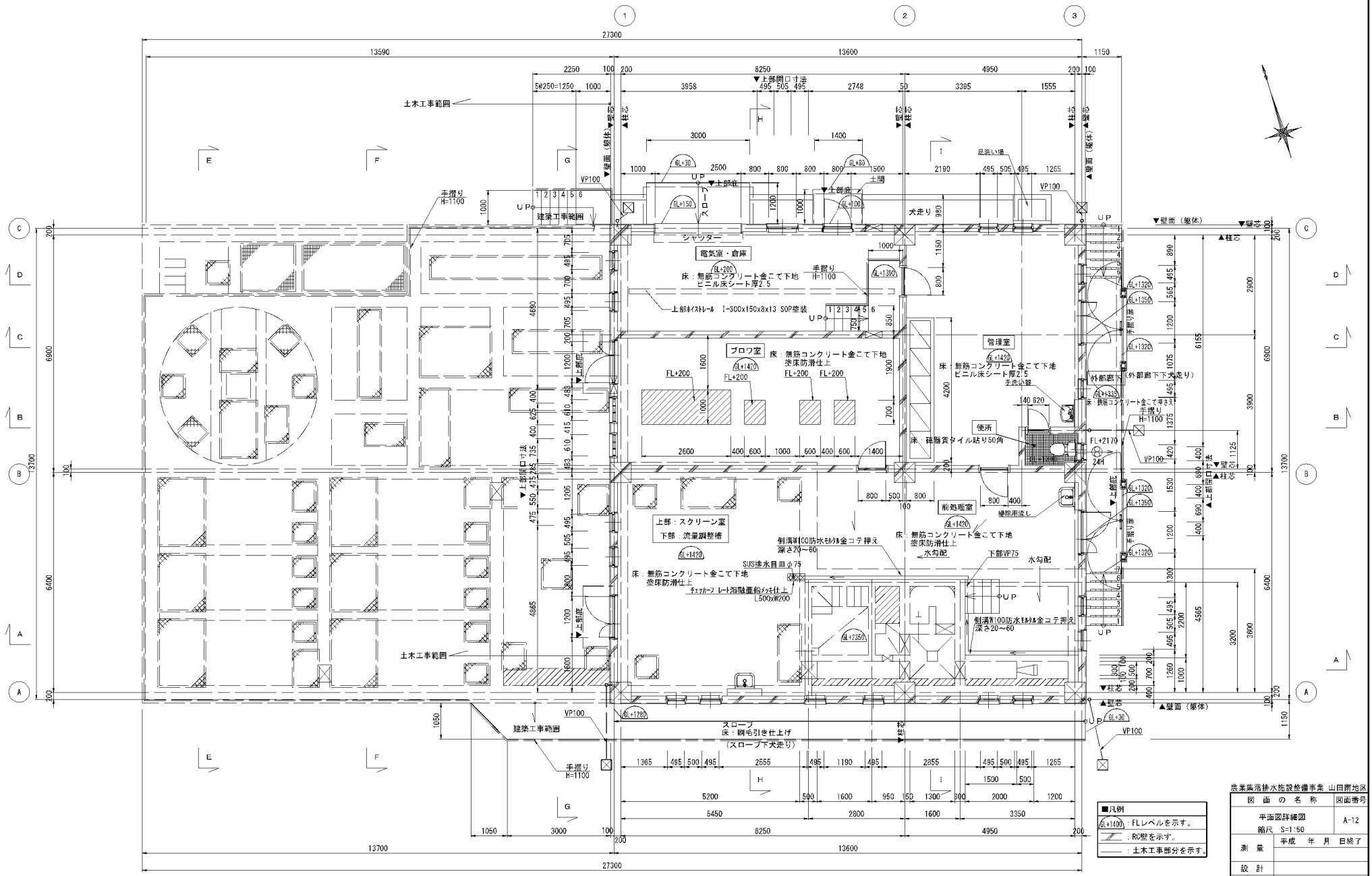




短計図（2） S=1/50 ※梁コーナー部は三角面木（面ツラ30）とする

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称		図面番号
短計図（2） 縮尺 S=1:50		A-11
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
既図	原図	
	複写	
伊賀市		



平面図詳細

S=1:50

■凡例

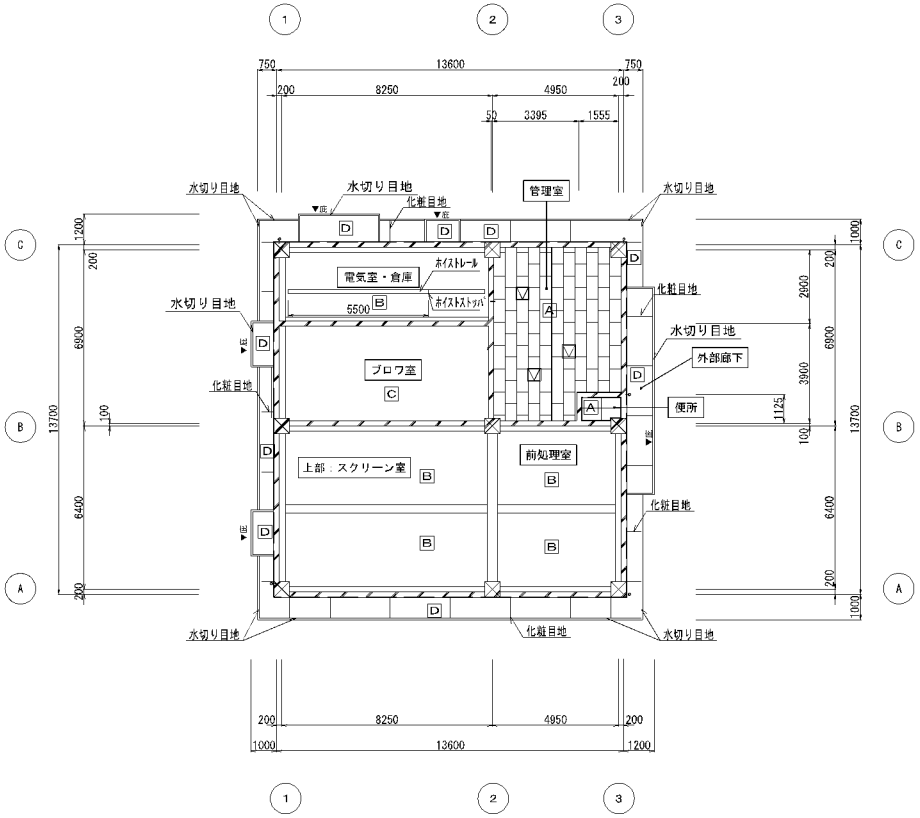
GL+1400	：FLレベルを示す。
	：RC壁を示す。
	：土木工事部分を示す。

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称	図面番号
平面図詳細図 縮尺 S=1:50	A-12

測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	

伊賀市



天井伏図　S=1/100

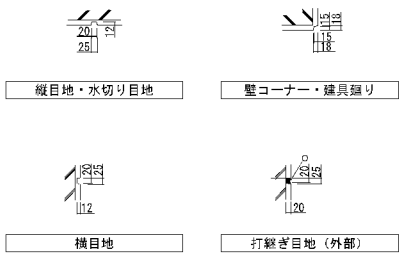
仕上表

A	化粧石膏ボード張り t=9.5　軽量鉄骨天井下地 （天井裏天井面．結露防止材吹付け　t=1.2）
B	コンクリート打放し跡補修のうえ　軽量骨材仕上げ塗材吹付け （梁型はコンクリート打放し跡補修のみ）
C	グラスウール吸音板張り t=50　ガラスクロス補縁押さえ
D	コンクリート打放し跡補修のうえ　複層塗装ＲＥ吹付け（ゆず肌模様）
	梁コーナー部は、三角面木（面ツラ30）とする。
———	軒天水切り目地
———	軒天化粧目地@3,000以内
	※ 梁型は天井仕上げと同じとする。壁付き梁型は壁仕上げに含わす。
▽	天井点検口 アルミ製 450角

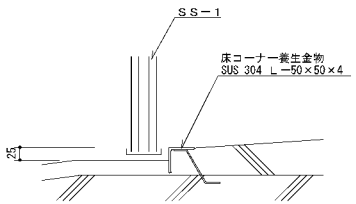
農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称		図面番号
天井伏図 縮尺　S=1:100		A-13
測量	平成　年　月　日終了	
設計		
製図 原図		
製図 複写		
伊賀市		

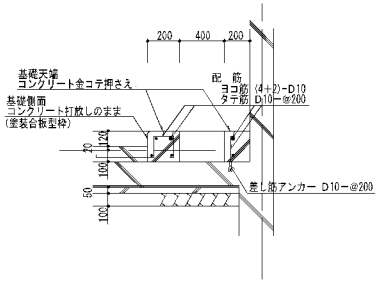
壁目地・天井目地　1/10



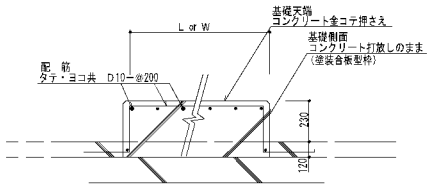
床コーナー養生金物　1/5



設備基礎（管理室）　1/20

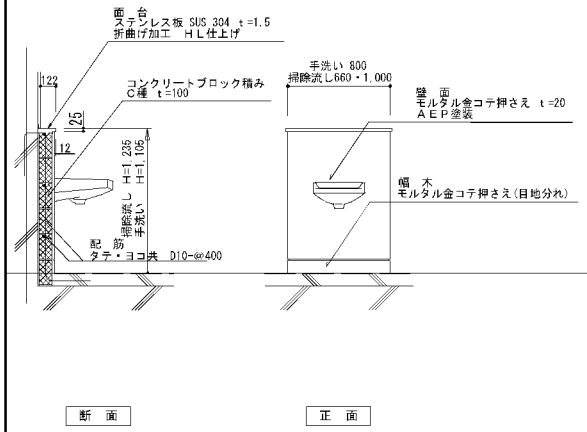


設備基礎（ブロワ室）　1/20

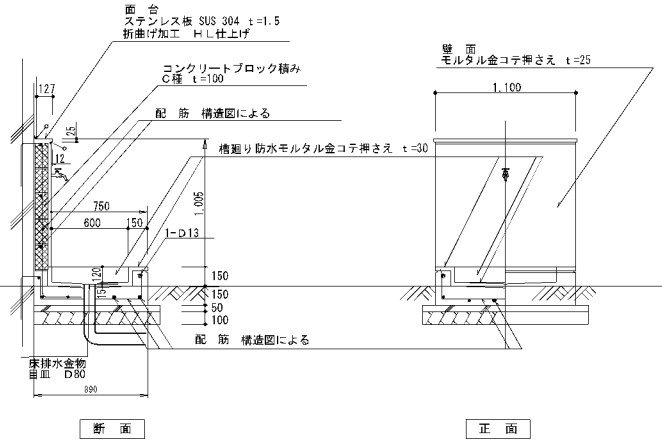


※　梁コーナー部は、三角面木（面ツラ30）とする。

手洗い・掃除流し用　洗面バック（内部）　1/20



足洗場　1/20



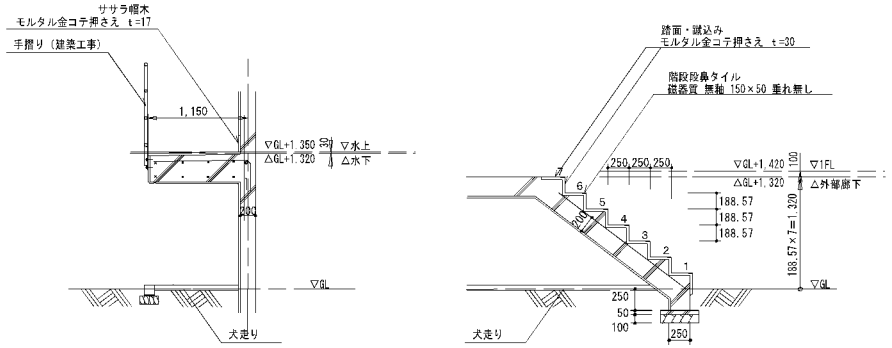
設備基礎リスト

基礎番号	室　名	箇所数	W × L	H	配　筋	仕上げ	備　考
①	管理室	1	800 ×4,200 (内抜き 400×3,800)	240	構造図による	側面仕上げ コンクリート打放し のまま（塗装合板型枠）	コンクリート強度 Fc＝21 N/mm² （温度補正無し）
②	ブロワ室	1	2,600 × 1,000	350			
③	ブロワ室	1	600 × 700				
④	ブロワ室	1	600 × 700				
⑤	ブロワ室	1	600 × 700				
⑥	前処理室　階段	1	1,000×1,000	186×5 =930	無　筋	全ての基礎の上面仕上げ コンクリート 金コテ押さえ	コンクリート強度 Fc＝18 N/mm² （温度補正無し）

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

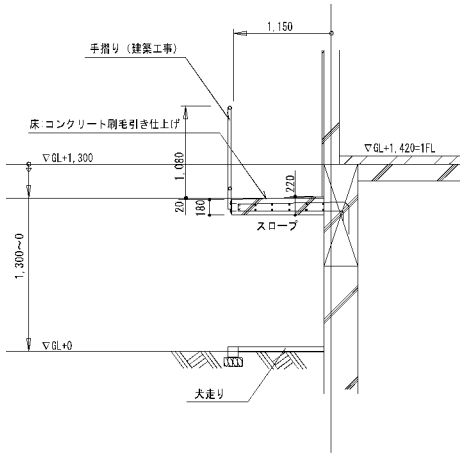
図　面　の　名　称		図面番号
部分詳細図-1 縮尺 S=1:5,1:10,1:20		A-14
測　量	平成　年　月　日終了	
設　計		
製図 原図		
図 複写		
伊賀市		

東側屋外階段（2ヶ所） 1/30



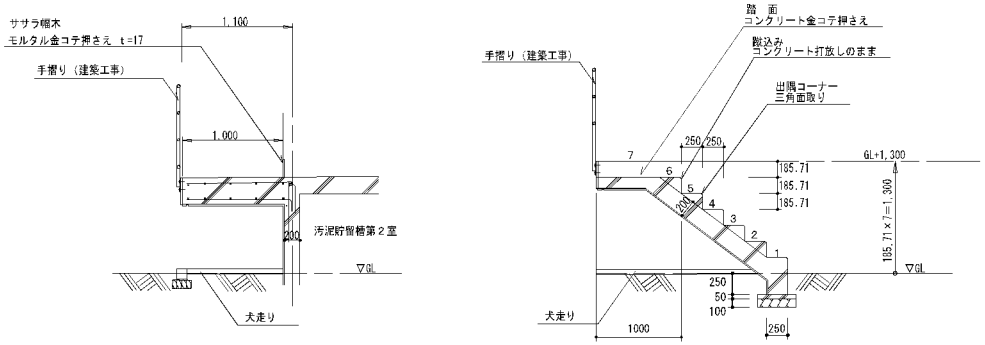
※配筋は構造図による

スロープ部 1/30



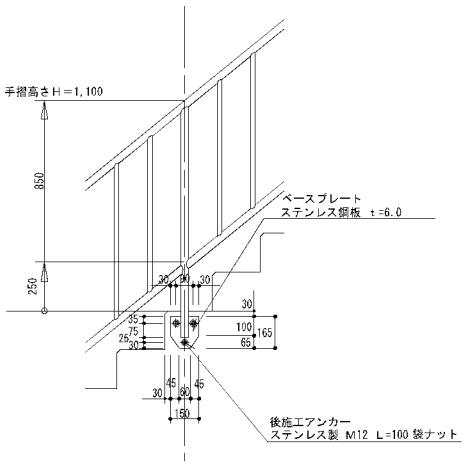
※配筋は構造図による

北西屋外階段 1/30

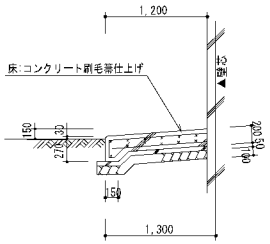


※配筋は構造図による

屋内外階段手摺り部 1/20



電気室・倉庫外部スロープ 1/30

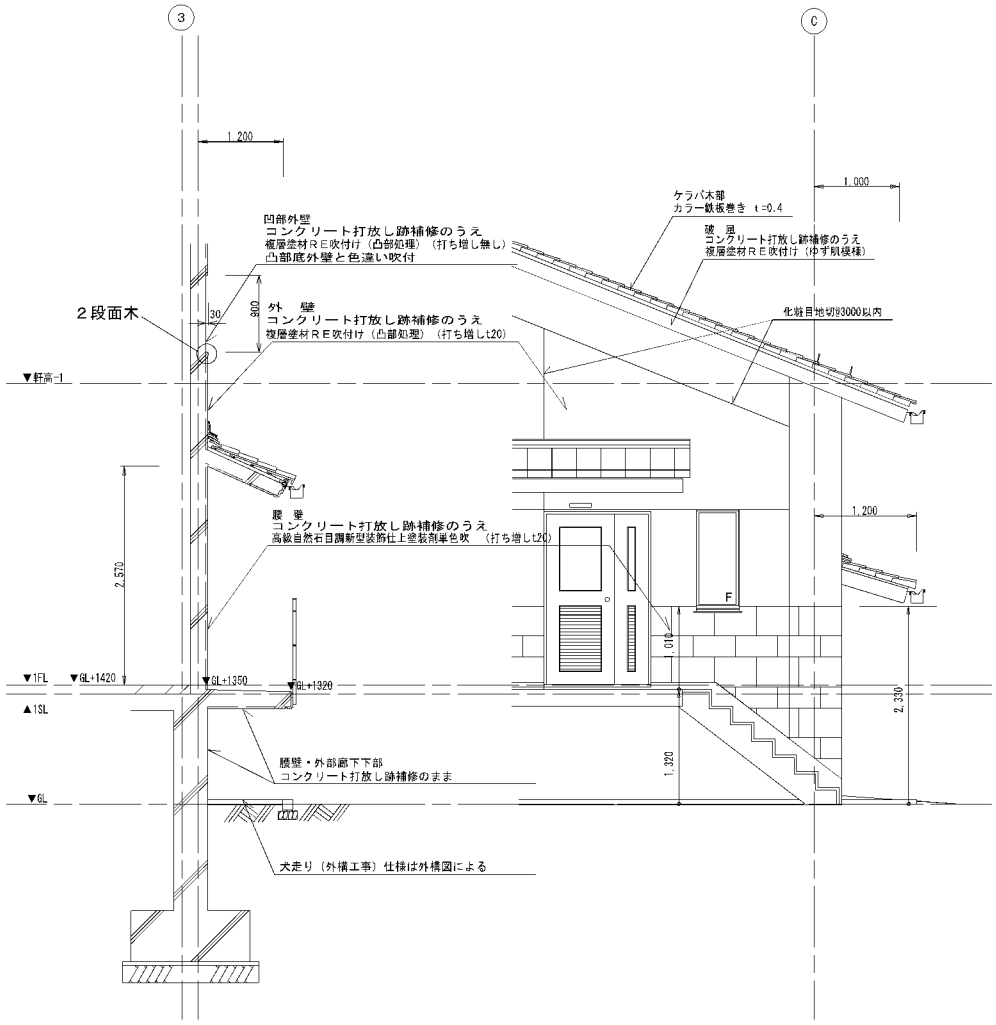


※配筋は構造図による

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

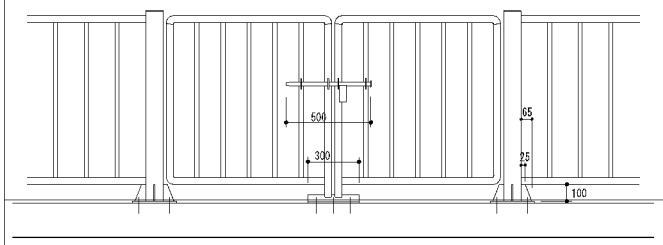
図面の名称		図面番号
部分詳細図-2 縮尺 S=1:30,1:20		A-15
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	
伊賀市		

外壁・腰壁部分　1/30

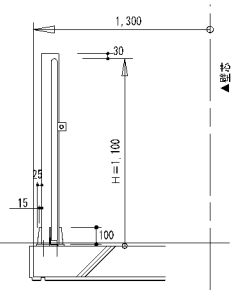


断 面　　正 面

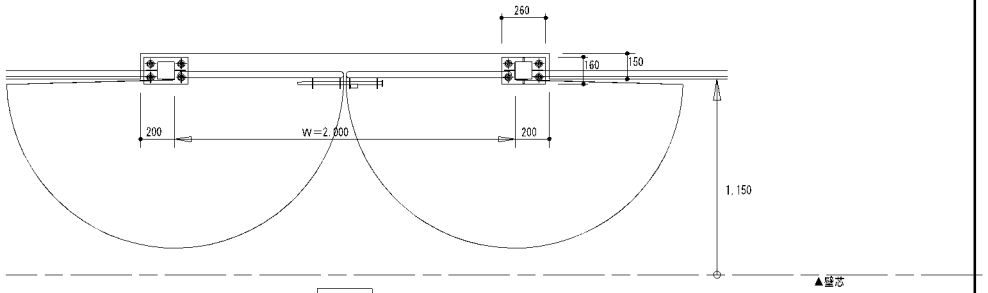
手摺り扉部　1/30



正 面

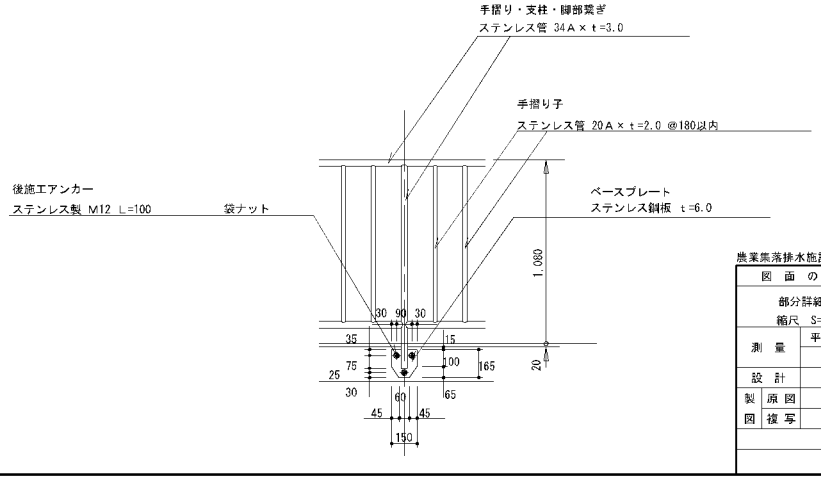


断 面



平 面

手摺り扉部材表	
扉枠	ステンレス管　32Ａ×ｔ=3.0
格子	ステンレス管　20Ａ×ｔ=2.0　@150
かんぬき	ステンレス管　20Ａ×ｔ=2.0　Ｌ＝500
中央戸当り	ステンレス等辺山形鋼　Ｌ－50×50×5.0　Ｌ＝300
附属金物	ステンレス製丁番　６枚、ステンレス製上げ落し　２個
門柱	ステンレス角パイプ　□－100×100×4.0
ベースプレート	ステンレス鋼板　ＰＬ－9.0
ガセットプレート	ステンレス鋼板　ＰＬ－6.0
後施工アンカー	ステンレス製　M12　L=100　袋ナット
	※ 全て SUS 304 鋼材を使用しＨＬ仕上げとする。
	シリンダー南京錠



農業集落排水施設整備事業 山田南地区

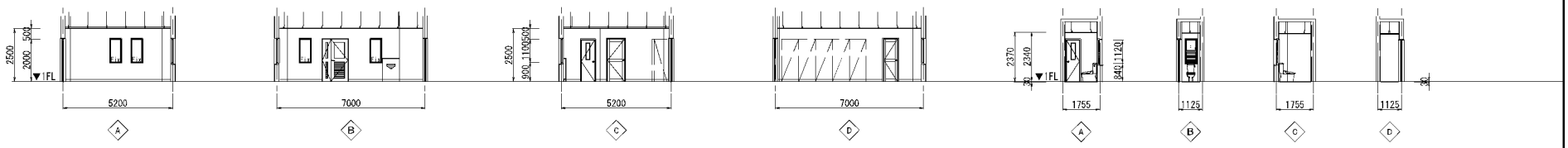
図 面 の 名 称		図面番号
部分詳細図-3 縮尺 S=1:30		A-16
測 量	平成　年　月　日終了	
設 計		
製 図	原 図	
	複 写	
伊賀市		

管理室

床：ビニル床シート貼り　t=2.5
下地無筋コンクリート金コテ　t=117
幅木：軟質ビニル幅木貼り　H=100
コンクリート打放しのうえ跡補修
壁：ＡＥＰ塗装
コンクリート打放しのうえ跡補修
天井：化粧石膏ボード貼り
軽量鉄骨天井下地　野縁19型　@225
柱型：ＡＥＰ塗装
コンクリート打放しのうえ跡補修

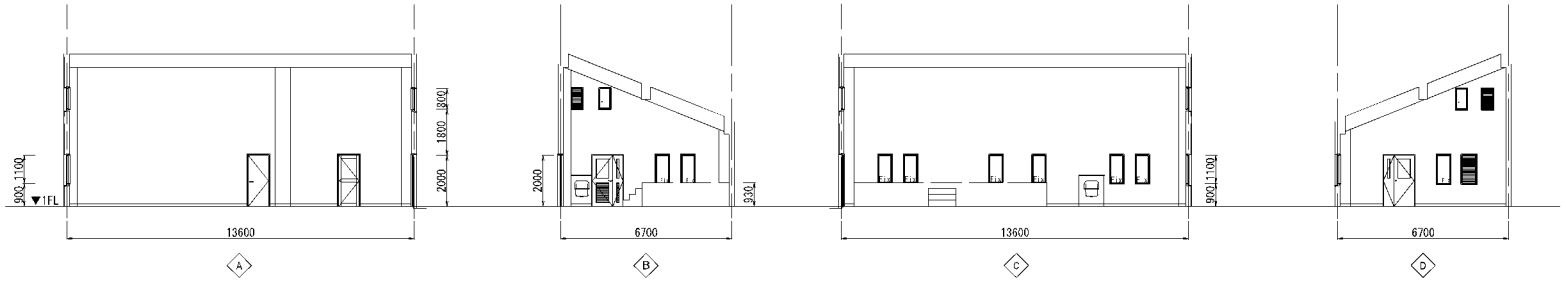
便　所

床：磁器質タイル貼り　50角
下地モルタル塗り　t=25
壁：陶器質タイル張り　100角
下地モルタル塗り　t=20
天井：化粧石膏ボード貼り
軽量鉄骨天井下地　野縁19型　@225



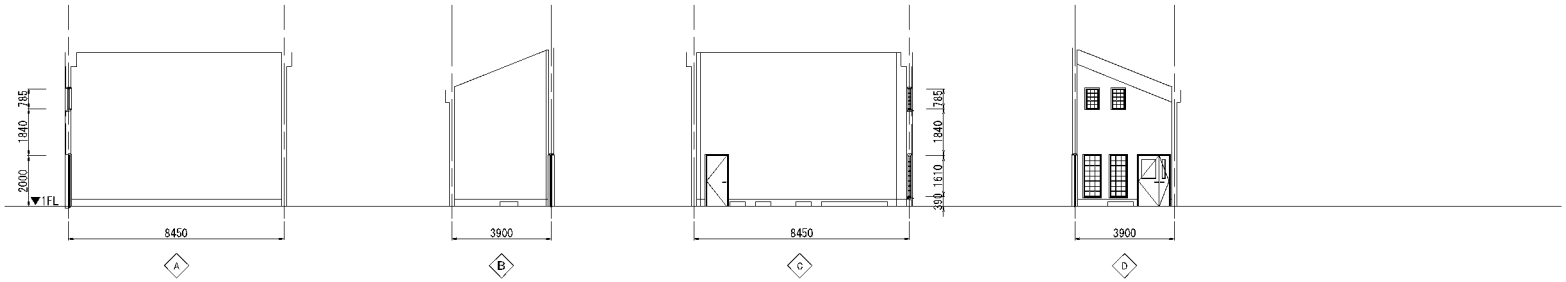
前処理室・スクリーン室

床：塗床防滑仕上げ
下地無筋コンクリート金コテ　t=120
幅木：モルタル金コテ押さえ　H=100（出幅木）
壁：コンクリート打放しのうえ跡補修のまま
天井：軽量骨材仕上げ塗材吹付け（梁は含まず）
コンクリート打放しのうえ　跡補修（梁のみ）



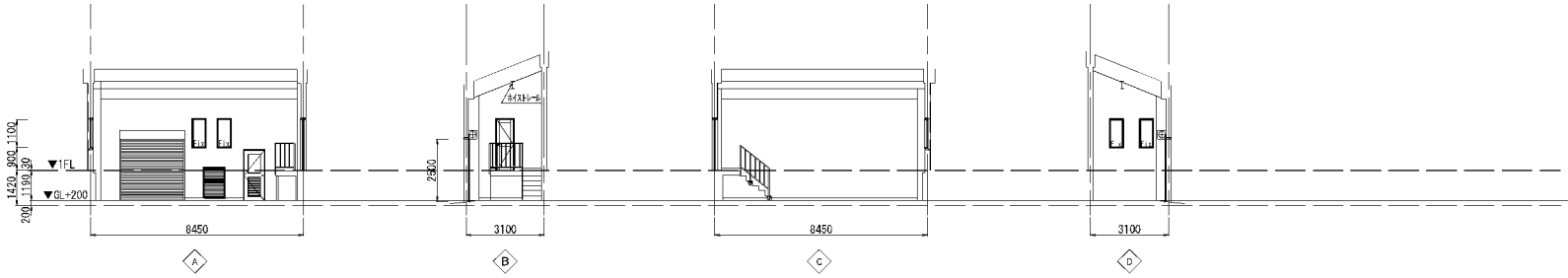
ブロワ室

床：塗床防滑仕上げ
下地無筋コンクリート金コテ　t=120
幅木：モルタル金コテ押さえ　H=300（出幅木）
壁：グラスウール吸音板貼り　ガラスクロス額縁押さえ　t=50
天井：グラスウール吸音板張り　ガラスクロス額縁押さえ　t=50



電気室・倉庫

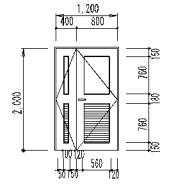
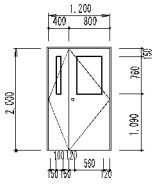
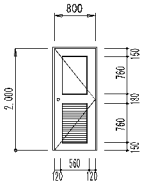
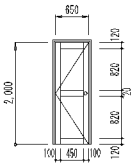
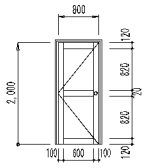
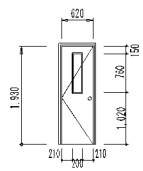
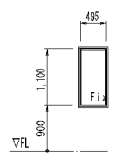
床：無筋コンクリート金コテ　t=100
幅木：モルタル金コテ押さえ　H=100（出幅木）
幅木(階段下)：　モルタル出幅木H=100
壁：コンクリート打放しのうえ　跡補修ままま
壁(階段下)：ＣＢ積み、化粧目地
天井：軽量骨材仕上げ塗材吹付け（梁は含まず）
コンクリート打放しのうえ　跡補修（梁のみ）

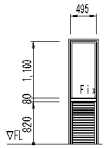
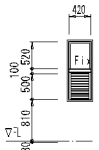
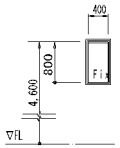
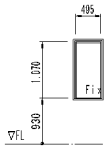
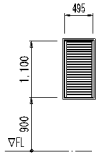
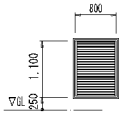
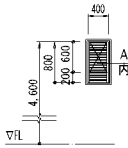


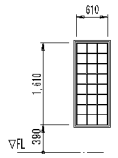
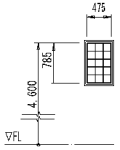
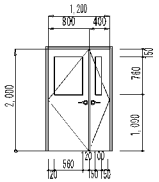
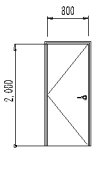
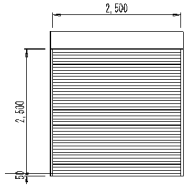
農業集落排水施設整備事業　山田南地区

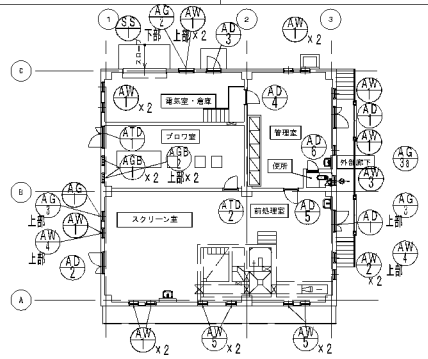
図面の名称	図面番号
展開図 縮尺　S=1:100	A-17
測量	平成　年　月　日終了
設計	
製図 原図	
製図 複写	
伊賀市	

建具表

記号・数量	AD-1 × 2	AD-2 × 1	AD-3 × 1	AD-4 × 1	AD-5 × 1	AD-6 × 1	AW-1 × 11
姿図 1/50							
室名・見込厚	前処理室・管理室・ 70mm	前処理室・スクリーン室 ・ 70mm	電気室・倉庫 ・ 70mm	電気室・倉庫 ・ 70mm	前処理室 ・ 70mm	便 所 ・ 70mm	管理室・電気室・倉庫等・ 70mm
形 状	親子開きフラッシュ扉 (両扉上部ガラス窓・腰ガラリ付き)	親子開きフラッシュ扉 (両扉上部ガラス窓)	片開きフラッシュ扉 (上部ガラス窓・腰ガラリ付き)	片開き框腰パネル扉	片開き框腰パネル扉	片開きフラッシュ扉 (縦スリット窓付き)	Ｆｉｘ硝子窓
仕様・仕上げ	アルミ製 ・ ステンカラー	アルミ製 ・ ステンカラー	アルミ製 ・ ステンカラー	アルミ製 ・ ステンカラー	アルミ製 ・ ステンカラー	アルミ製 ・ ステンカラー	アルミ製 ・ ステンカラー
硝 子	網入り型硝子 厚 6.8mm	網入り型硝子 厚 6.8mm	網入り型硝子 厚 6.8mm	網入り型硝子 厚 6.8mm	網入り型硝子 厚 6.8mm	型硝子 厚 4.0mm	網入り型硝子 厚 6.8mm
金物類	レバーハンドル付シリンダー錠・丁番・ドアクローザ	握り玉付シリンダー錠・丁番・ドアクローザ	握り玉付シリンダー錠・丁番・ドアクローザ	握り玉付シリンダー錠・丁番・ドアクローザ	握り玉付シリンダー錠・丁番・ドアクローザ	握り玉付表示錠・丁番・ドアクローザ・ステンレス沓摺り	アルミ水切り・アルミ額縁
	上げ落し・ドアストッパー・ステンレス沓摺り・アルミ額縁	上げ落し・ドアストッパー・ステンレス沓摺り・アルミ額縁	ステンレス沓摺り・アルミ額縁	ステンレス沓摺り・アルミ額縁	ステンレス沓摺り・アルミ額縁	アルミ額縁	
備 考	ガラリ部防虫網付(取り外し可)・附属金物一式含む	附属金物一式含む	ガラリ部防虫網付(取り外し可)・附属金物一式含む	腰アルミ板 厚 2.0mm・附属金物一式含む	腰アルミ板 厚 2.0mm・附属金物一式含む	附属金物一式含む	附属金物一式含む

記号・数量	AW-2 × 2	AW-3 × 1	AW-4 × 2	AW-5 × 4	AG-1 × 1	AG-2 × 1	AG-3、3a × 2 、1
姿図 1/50							 ＡＧ－３ａのみ 内側にアルミ板厚2.0mm
室名・見込厚	前処理室 ・ 70mm	便 所 ・ 70mm	前処理室・スクリーン室（上部）・ 70mm	前処理室 ・ 70mm	スクリーン室 ・ 70mm	電気室・倉庫 ・ 70mm	前処理室・スクリーン室（上部）・ 70mm
形 状	ガラリ付きFix硝子窓	ガラリ付きFix硝子窓	Ｆｉｘ硝子窓	Ｆｉｘ硝子窓	固定ガラリ	固定ガラリ	固定ガラリ
仕様・仕上げ	アルミ製 ・ ステンカラー	アルミ製 ・ ステンカラー	アルミ製 ・ ステンカラー	アルミ製 ・ ステンカラー	アルミ製 ・ ステンカラー	アルミ製 ・ ステンカラー	アルミ製 ・ ステンカラー
硝 子	網入り型硝子 厚 6.8mm	網入り型硝子 厚 6.8mm	網入り型硝子 厚 6.8mm	網入り型硝子 厚 6.8mm			
金物類	アルミ水切り・アルミ額縁	アルミ水切り・アルミ額縁	アルミ水切り・アルミ額縁	アルミ水切り・アルミ額縁	アルミ水切り・アルミ額縁	アルミ水切り・アルミ額縁	アルミ水切り・アルミ額縁
備 考	ガラリ部防虫網付(取り外し可)・附属金物一式含む	ガラリ部防虫網付(取り外し可)・附属金物一式含む	附属金物一式含む	附属金物一式含む	防虫網付(取り外し可)・附属金物一式含む	防虫網付(取り外し可)・附属金物一式含む	防虫網付(取り外し可)・附属金物一式含む

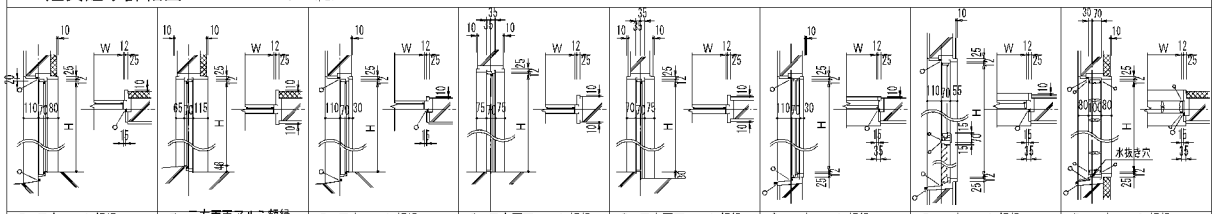
記号・数量	AGB-1 × 2	AGB-2 × 2	ATD-1 × 1	ATD-2 × 1	SS-1 × 1
姿図 1/50					
室名・見込厚	ブロワ室 ・ 100mm	ブロワ室 ・ 100mm	ブロワ室 ・ 70mm	ブロワ室 ・ 70mm	電 気 室
形 状	硝子ブロック枠	硝子ブロック枠	親子開きフラッシュ扉	片開きフラッシュ扉	軽量バランス式シャッター
仕様・仕上げ	アルミ製 ・ ステンカラー	アルミ製 ・ ステンカラー	アルミ製防音仕様 ・ ステンカラー	アルミ製防音仕様 ・ ステンカラー	カラー鋼板製 t=0.8 ・焼付け塗装
硝 子	硝子ブロック 190×190×95 クリヤー	硝子ブロック 145×145×95 クリヤー	網入り型硝子 厚 6.8mm		
金物類	アルミ水切り・アルミ額縁	アルミ水切り・アルミ額縁	シリンダー錠・グレモンハンドル・丁番・ドアクローザ	グレモンハンドル・丁番・ドアクローザ	ステンレスガイドレール SUS 304 t=1.5、座板 ステンレス製
			上げ落し・ドアストッパー・ステンレス沓摺り・アルミ額縁	ステンレス沓摺り・アルミ額縁	カラー鋼板製シャッターケース t=0.8 3面
					ステンレス三方枠 SUS 304 t=1.5 HL仕上げ 奥行き265 見付け25
備 考			附属金物一式含む	附属金物一式含む	上げ下ろし操作棒・附属金物一式含む



建具配置図

建具廻り詳細図

S= 1/20



㋐ 三方アルミ額縁 25 × 80	㋑ 三方両面アルミ額縁 25×65、25×115	㋒ 三方アルミ額縁 25 × 30	㋓ 三方両面アルミ額縁 25×75、25×75	㋔ 三方両面アルミ額縁 25×70、25×75	㋕ 四方アルミ額縁 25 × 30	㋖ 四方アルミ額縁 25 × 55	㋗ 四方アルミ額縁 25 × 80
ステンレス沓摺り、ATｺﾞﾑ付き	ステンレス沓摺り、ATｺﾞﾑ付き	ステンレス沓摺り	ステンレス沓摺り	ステンレス沓摺り	アルミ水切り	アルミ水切り	アルミ水切り
ＡＴＤ－１	ＡＴＤ－２	ＡＤ－１、２、３	ＡＤ－４、５	ＡＤ－６	AW-1、4 AG-1、2、3	AW-2、3	ＡＧＢ－１

特記事項

1. 建具表 W・H は建具内寸法である。
2. 外部に面する一般建具の各等級は、耐風圧 S-5 、気密性 A-3 、水密性 W-4 とする。
3. ＡＴＤの遮音性能等級は、T-2 とし扉内にはグラスウール充填とする。
4. 鍵は同一シリンダーとする。
5. 建具見込厚は、各メーカーのビル用サッシに準ずる。(標準 70mm)
6. ＡＴＤ・ＡＤについては、３点支持丁番とする。
7. 沓摺りは、ステンレス製 SUS 304 厚 2.0mm ＨＬ仕上げとする。
8. 網戸及び防虫網は、ステンレス製 16mm メッシュとする。
9. 特記なき金物類は、ステンレス製とする。
10. 建具枠周囲及び硝子ブロック周囲の弾性シーリングは、変性シリコン系とする。
11. 硝子シーリングは、シリコン系とする。

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称	図面番号
建具表・建具案内図 縮尺 S=1:50	A-18
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図 原図	
複写	
伊賀市	

構造設計標準仕様

適用は、■印を記入する。

1．建築物の構造内容

（1） 工事名称　汚水処理施設整備交付金（農集集落排水施設）山田南地区 汚水処理施設建設工事
建築場所　三重県伊賀市真泥字正今寺川原5.502
（2） 工事種別　■新築　□増築　□増改築　□改築
（3） 構造種別
□木造（W）　□補強コンクリートブロック造（ＣＢ）　□鉄骨造（S）
■鉄筋コンクリート造（ＲＣ）　□壁式鉄筋コンクリート造（WRC）
□鉄骨鉄筋コンクリート造（ＳＲＣ）　□壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）
□プレキャスト鉄筋コンクリート造（ＰＲＣ）　□
（4） 階　数
地下 1階　地上　階　塔屋　階
（5） 主要用途　汚水処理場の上屋
（6） 屋上付属物　無し
□広告塔　□高架水槽　ton　□
□煙　突　□キュービクル　ton　□
（7） 増築計画　□有（　　）　■無
（8） 付帯工事
□門塀　□擁壁　□　□　□
（9） 特別な荷重
□エレベータ　人乗（ロープ式、油圧式）　□リフト　ton　■ホイスト　1ton
□倉庫積載床用　kg/m2　□受水槽　ton
（10） その他

2．使用構造材料

（1） コンクリート
コンクリートの材料は、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成27年版の6.3.1コンクリートの材料仕様を適用する。

適用箇所	種類	設計基準強度Fc= N/mm2	スランプ cm	備考
均しコンクリート	普通	18	15	
土間コンクリート	普通	18	15	
基礎、基礎梁	普通	21	15	
柱、梁、床版、壁	普通	21	18	比重
機械設備基礎	普通	21	15	比重
無筋コンクリート	普通	18	15	比重

（2） コンクリートブロック（ＣＢ）
□A種　□B種　■C種　厚　■１００　□１２０　□１５０　□１９０

（3） 鉄　筋

	種　類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	■SD295A	D10、D13、D16		■重ね継手
	□SD295B			■ガス圧接継手
	■SD345	D19、D22、D25、D29		
	□			
丸　鋼	□SR235			□特殊継手
溶接金網	□			（　　）

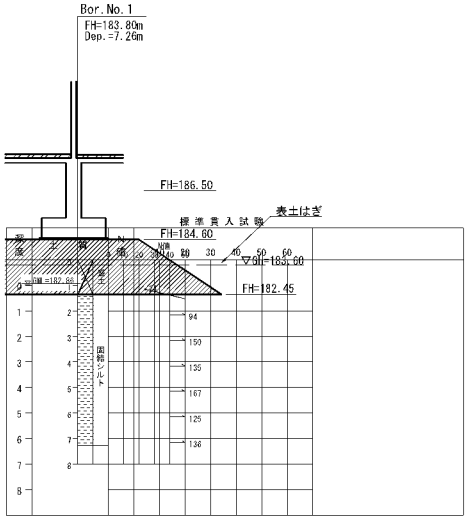
（4） 鉄　骨

	種　類	使用箇所	現場溶接	備考
鋼材	■SS400　□SM400A, B	ガイドレール	□有　■無	
	□STKR400　□STKR490		□有　□無	
	□SM490A, B		□有　□無	
	□SSC400		□有　□無	

（5） ボルト　（ガイドレールに適用）
■高力ボルト、F10T　□普通　□特殊、S10T認定品（□M12, ■M16, □M20, □M22）
□中ボルト　φ＝　φ＝　高力ボルトすべり係数試験　□要　□否
■アンカーボルトSS400　~~φ＝M16　L＝ 260 mm　ナット　（シングル、ダブル）~~
φ＝M16　L＝ 400 mm　ナット　（シングル、~~ダブル）~~
□スタッドボルト　φ＝　L＝　mm
（6） 屋根、床、壁
□ＡＬＣ板　厚
□折　版　型式　Ｈ＝　厚
□デッキプレート　型式　厚
□キーストンプレート　型式　厚
□特殊デッキプレート
（7） 耐震スリット
耐震スリットは、２時間耐火性能を有すること。
(財)建材試験センターの「評価書及び品質性能試験報告書（２時間耐火性能）」付きの物とする。

3．地　盤

（1） 地盤調査資料
■有（■敷地内　□近隣）　■ボーリング調査　□平板載荷試験　□水平地盤反力係数の測定
□無　（調査予定　□有　□無）
（2） 地盤調査計画
□ボーリング調査　□静的貫入試験　□標準貫入試験　□水平地盤反力係数の測定
□土質調査　□物理探査　□平板載荷試験　□
（3） 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。
（4） ボーリング標準貫入値、土質構成　下図参照



4．地業工事

（1） 直接基礎　■ベタ基礎（水槽底盤）　□布基礎　■独立基礎（建屋）　試験堀　□有　□無
深さ　ＧＬ-1,400mm　支持層 -2,390mm（建屋基礎部）
深さ　ＧＬ-3,900mm　支持層 -3,900mm（水槽底盤部）
（3） 地盤改良　設計基準支持力度＝ 370 KN/㎡
支持層 GL-2,390 mm　長期許容支持力度 400 kN/㎡　載荷試験 ■有 □無
改良土は掘削残土を利用するが、残土をサンプリングした試料を材料試験所の室内試験にて土質等の確認を行い、セメント系固化材の混入量を決める。
地盤改良強度 370.00 kN/㎡　固化材混入量の推定量 110 kg/㎥
地盤改良は、固化材の攪拌をバックホウにて厚さ300mm毎にを行い、ロードローラ等で十分な転圧を行う。
改良された地盤からサンプリングした試料を用い、実際に施工された改良土からの六価クロム溶出量を測定する。

5．鉄筋コンクリート工事

（1） コンクリート
■ コンクリートは、ＪＩＳ認定工場の製品とし施工に関してはＪＡＳＳ５による。
■ セメントは、ＪＩＳＲ５２１０の普通ポルトランドセメントを標準とする。
■ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
■ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法などの必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
■ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行ない、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、１日１回以上とし、一回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて３回行ない、その平均値を試験値とする。
■ 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体（ＪＩＳＳＴ６０３）は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。また、打ち込み量が１５０m3を越える場合は、１５０m3ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた３台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、一回あたり６本以上とし、そのうち４週用に３本を用いる。
■ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置に出来るだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが、分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が２５℃未満の場合は１５０分、２５℃以上の場合は１２０分以内とする。

（2） 鉄　筋
■ 鉄筋はＪＩＳ　Ｇ３１１２の規格品を標準とする。
■ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）」による。
■ Ｄ１９未満は、すべて重ね継手とする。継手（Ｄ１９以上）をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
■ ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所がごと（２００箇所を越えるときは、２００箇所ごと）に１回行ない、１回の試験は、５本以上とする。
外観検査　□有　□無　、　引張試験　□有　□無　、　超音波探傷試験　□有　□無
■ 柱の帯筋（ＨＯＯＰ）の加工方法は、　■Ｈ型（タガ型）　□W型（溶接型）
□Ｓ型（スパイラル型）とする。

（3） 型　枠
■ 材　料　合板厚１２mmを標準とする。　□
■ 型枠存置期間

項目 ＼ 部位	せき板				支柱		
	基礎、はり側、柱、壁		スラブ、はり下		スラブ下		はつり下
セメントの種類	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント
		高炉セメントA種		高炉セメントA種		高炉セメントA種	普通ポルトランドセメント
		シリカセメントA種		シリカセメントA種		シリカセメントA種	高炉セメントA種
							シリカセメントA種
存置期間の平均気温							
コンクリート打設日の気温 15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
5～15℃	3	5	6	10	12	25	28
5℃未満	5	8	10	16	16	29	28
コンクリートの圧縮強度	5N/mm2		設計基準強度の50%		設計基準強度の 85%		100%

注）１　片持ちばり、庇、スパン９．０m以上のはり下は、工事監理者の支持による。
注）２　大ばりの支柱の盛かえは行なわない。また、その他のはりの場合も原則として行なわない。
注）３　支柱の盛かえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）４　盛かえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注）５　支柱の盛かえは、小ばりが終わってから、スラブを行なう。一時に全部の支柱を取り払って、盛かえをしてはならない。
注）６　上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6．鉄骨工事

（1） 鉄骨工事は指示のない限り下記による。
□ 日本建築学会「ＪＡＳＳ６」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
□ 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」

（2） 工事監理者の承認を必要とするもの
□ 製作工場　□ 製作要領書　□ 工作図　□ 施工計画書
□ 建設省告示第１１０３号による認定工場（大臣　グレード登録　ランク）
□ 材料規格証明書または試験成績
□ 鋼材　□ 高力ボルト　□ 特殊ボルト　□ スタッドボルト
□ 社内検査表　□　□

（3） 工事監理者が行なう検査項目
（□印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
□ 原寸検査　□ 組立・開先検査　□ 製品検査
□ 建方検査　□

（4） 接合部の溶接は下記による
□ 日本建築学会「溶接工作規準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」

（5） 接合部の検査
□ 溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数 社内	第三者	二事監理者	備考
□ 突合せ溶接部	超音波探傷試験	%個	%個	%個	
□	外観（目視）検査	%	%	%	
□	マクロ試験・その他	個	個	個	
第三者検査機関名					
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者が受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

注）　現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行なうこと。

□ 高力ボルトは「ＪＩＳ　Ｂ１１８６の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径２倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した。赤錆状態であること。
ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが５０Ｓ以上である場合は、赤錆は発生しないままでよい。
□ 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行なう。また、締付けは原則として２度締めとする。
締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行なわれているか検査する。

（6） 防塵塗装
□ 防塵塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
錆止めペイントは、ＪＩＳ　Ｋ５６２１、２回塗りを標準とする。
□ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し２回塗りとする。

（7） 耐火被覆の材料
□

7．設備関係

■ 特記以外の衛生通れは原則として設けない、設ける場合は設計者の承諾を得ること。
■ 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
■ 床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合はスラブ厚さの１／３以下とし、管の間隔を５cm以上とする。

8．その他

□ 諸官庁への届け出書類は遅滞なく提出すること。
□ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
□
□

農業集落排水施設整備事業　山田南地区

図面の名称	図面番号
構造設計標準仕様	A- 19
測量	平成　年　月　日終了
設計	
製図 原図	
製図 複写	
伊賀市	

鉄筋コンクリート構造配筋標準図　（1）

1．一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

(2) 記号

d･･･異形棒鋼の呼び名に用いた数値　丸鋼では径　　D･･･部材の成　　R･･･直径

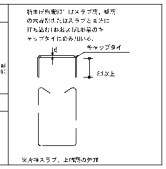
@･･･間隔　　r･･･半径　　℄･･･中心線　　l₀･･･部材の内寸法距離　　hₙ･･･部材間の内法高さ

ST･･･あばら筋　HOOP･･･帯筋　S.HOOP･･･補強帯筋　　φ･･･直径又は丸鋼

2．鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の余長	4d以上	6d以上（SR24は8d以上）	8d以上（SR24は10d以上）



折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B
SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状　鉄筋折り曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用部位による区分	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内の寸法(d)
	柱　壁 あばら筋 スパイラル筋	SR235, SR295A SR295B, SD345	D16 以下	3d以上
			D19 以上	4d以上
	上記以外の鉄筋	SR235, SR295A SR295B, SD345	D16 以下	
			D16～25φ D19～D25	4d以上
			25.4～32φ D29～D32	5d以上

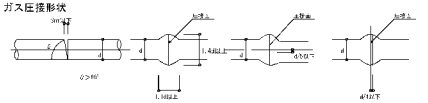
(3) 鉄筋の定着及び重ね継手長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲 (N/mm²)	定着の長さ			特別の定着及び重ね継手の長さ (L₁)
		一般 (L₁)	下端筋 (L₂)		
			小梁	スラブ	
SR235	21～36	35d フックつき	25d フックつき	15cmフックつき	25d フックつき
	15以下	45d フックつき			45d フックつき
SD295A SD295B SD345	21～36	35d または 25d フックつき	25d または 15d フックつき	15d かつ 15cm以上	30d または 20d フックつき
	15以下	40d または 30d フックつき			45d または 35d フックつき

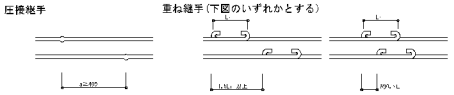
継　　手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状

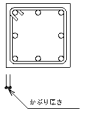


圧接継手　　重ね継手（下図のいずれかとする）



(4) かぶり厚さ（単位：mm）

D16のあばら筋は帯筋などの鉄筋のかぶりを、D29以上の主筋については鉄筋のかぶりを測ります。



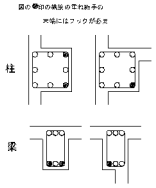
部位			設計かぶり厚さ (mm)	最小かぶり厚さ (mm)
土に接しないもの	屋根スラブ 床スラブ ルーフ バルコニー	室内	30	20
		室外	40	30(25)
	壁 梁 柱 耐力壁	室内	40	30
		室外	50	40（30）
	基礎		60	40
土に接するもの	底・法ト・スラブ・杭かぶり		60	40
	基礎・擁壁		60	40

(注) (1) 屋内上部を仮設上げのある場所、工事期間中の雨水を受けて湿潤とすることができる。
(2) 屋内上部を仮設上げのある場所、工事期間中の雨水を受けて湿潤とすることができる。
(3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事期間中の雨水を受けて湿潤とすることができる。
(4) 乾燥コンクリートの場合は、同四隅しの値とする。
(5) （ ）内は上記の場合を表す。
(6) 土に接する部分のかぶり厚に加算する厚さを行を参照とする。

(5) 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上

粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mm以上



(6) 鉄筋のフック　（a₁～f₁に示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。）

a. 丸鋼　　b. あばら筋、帯筋　　c. 柱梁の鉄筋

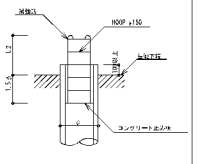
d. 柱、梁（屋根梁は除く）の出すみ部分の鉄筋（右図参照）

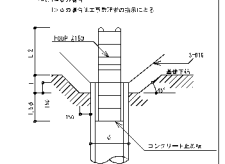
e. 単独梁の下端筋

f. その他、本配筋標準に記載する箇所

3．杭（地震力等の水平力を考慮する必要のある場合は、別途検討すること。）

(1) PC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

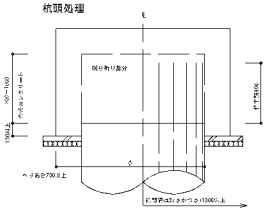


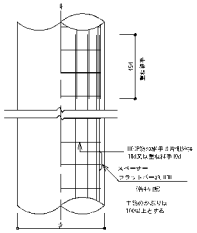


杭　径	300φ、350φ	400φ	450φ	500φ	600φ
補強筋	6-D13	8-D13	10-D13	8-D16	10-D16
HOOP	D10-@150				

(2) 現場打ちコンクリート杭

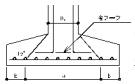
杭頭処理

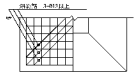




4．基　　礎

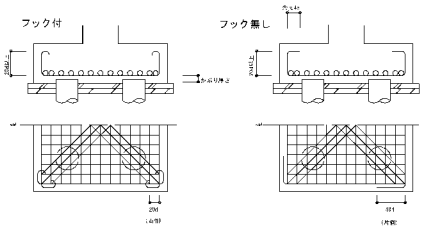
(1) 直接基礎





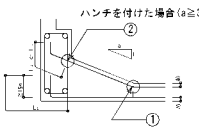
(2) 杭基礎

フック付　　フック無し



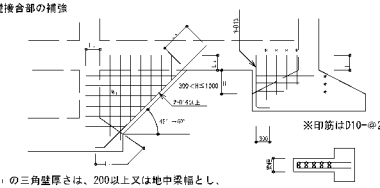
(3) べた基礎

ハンチを付けた場合（a≧3）



1. 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう
   但し上筋と下筋を読みかえる
2. ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
3. ②の鉄筋はD13以上
4. 埋戻し土のある場合は40を70とする

(4) 基礎接合部の補強


L₁
L₂
L₃
L₄
200＜H≦1000
45°～60°
D10
D10
D10

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）

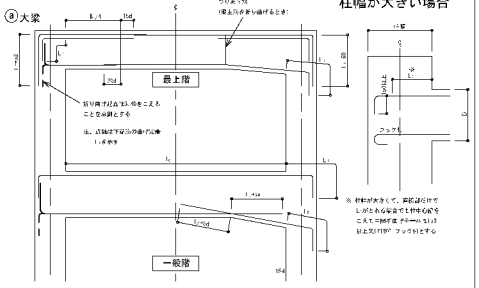
L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

7. 大梁、小梁、片持梁

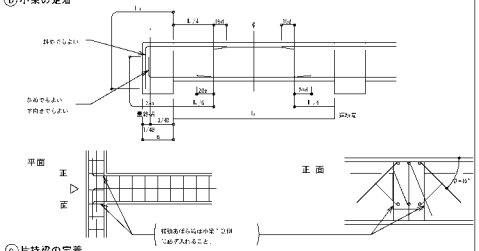
(1) 定着

柱幅が大きい場合

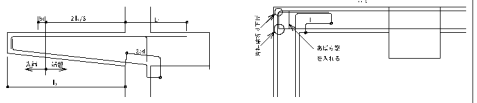
ⓐ大梁



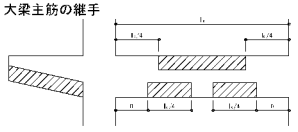
ⓑ小梁の定着



ⓒ片持梁の定着

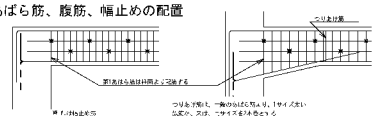


(2) 大梁主筋の継手

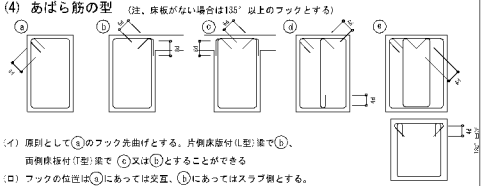


▨は継手の好ましい位置

(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置



(4) あばら筋の型 （注、床板がない場合は135°以上のフックとする）

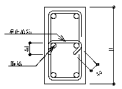


(イ) 原則としてⓐのフック先曲げとする。片側床版付(L型)梁でⓑ、両側床版付(T型)梁でⓒ又はⓓとすることができる

(ロ) フックの位置はⓐにあっては交互、ⓑにあってはスラブ側とする。

(5) 幅止め筋の本数、加工

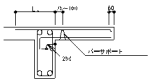
	D<600 不要
腹筋	600≦D< 900 2-D10(9φ) 1段 900≦D<1200 4-D10(9φ) 2段 1200≦D D10(9φ) @300以内
幅止め筋	D10(9φ)@1000位内で割り付ける



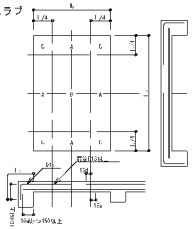
8. 床板

(1) 定着および継手

ⓐ片持ち床スラブ

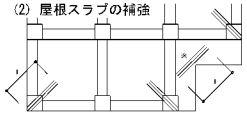


ⓑ一般床スラブ



		標準継手位置
上端筋	短辺方向	B
	長辺方向	B
下端筋	短辺・長辺方向	A C

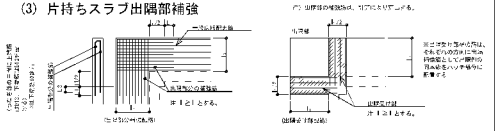
(2) 屋根スラブの補強



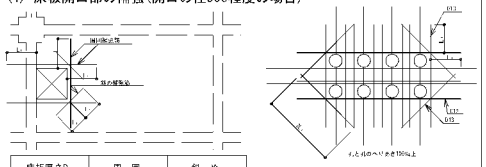
ⓐ補強筋は各2-D13又はスラブ主筋の同一径で l=L/500とし、上端筋の下に配筋する

ⓑ※の箇所(入隅)は各階補強する

(3) 片持ちスラブ出隅部補強



(4) 床板開口部の補強(開口の径500程度の場合)

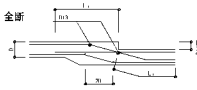


床板厚さD	周囲	斜め
D≦150	各2−D13	各1−D13
150<D≦200	各2−D13	各2−D13
200<D≦300	各2−D19	各2−D16

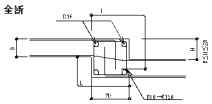
注）設備の小開口が連続してあく場合は縦、横、斜補強筋とは別に開口によって切られる鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。

(5) 床板段差

全断

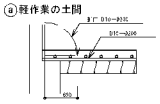


全断

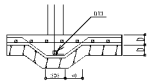


(6) 土間コンクリート

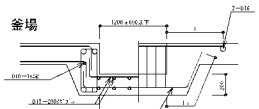
ⓐ軽作業の土間



ⓑ間仕切壁との交差部



(7) 釜場



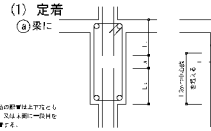
(8) 打継ぎ補強(ダメ穴打継面について)

- 設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2L1以上
- 無筋部分D10−@200 長さ800以上

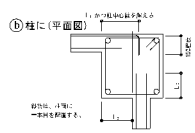
9. 壁

(1) 定着

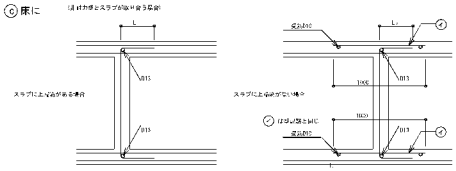
ⓐ梁に



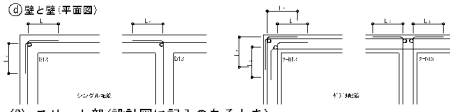
ⓑ柱に（平面図）



ⓒ床に

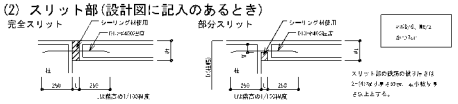


ⓓ壁と壁（平面図）



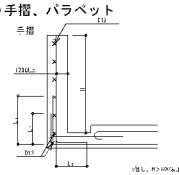
(2) スリット部（設計図に記入のあるとき）

完全スリット　部分スリット

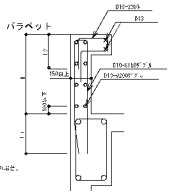


(3) 手摺、パラペット

手摺

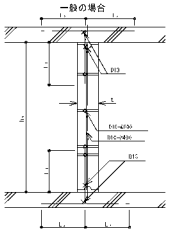


パラペット

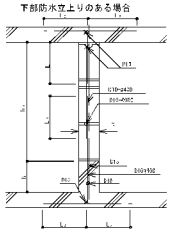


(4) コンクリートブロック帳壁

一般の場合



下部防水立上りのある場合

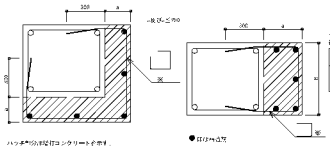


注）h0 ≦25tかつ3500以下とする。但し直交方向25t以内に壁、又は柱がある場合は除く

注）hはコンクリートブロック段数調節寸法とする。但し、200≦h≦400

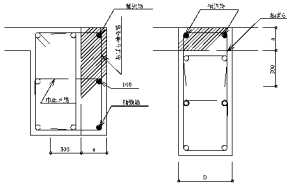
注）端手部は必ずモルタルを充填すること

10. 柱、梁増打コンクリート補強 （増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打ち合わせのこと）



A<250	250≦A<500	500≦A<1000
2-D16	4-D16	6-D16

(2) 梁

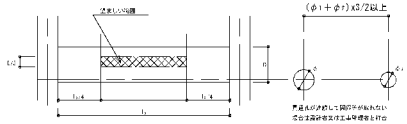


- 増筋は、支点の反対側に設置
- あばら筋間隔は、支点間隔、間にピッチとする。
- 既存のピッチは、元のままとする。
- 増筋は、既存コンクリートの補強と同じ強度コンクリート以上とする。
- ハッチ部分は既存コンクリートを示す。

11. 梁貫通孔補強

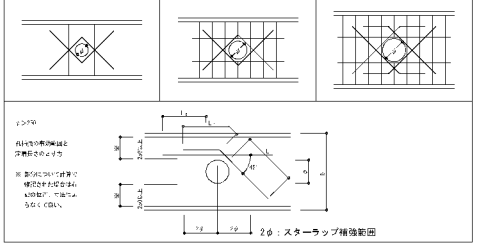
(1) 設置可能範囲

梁端部(スパン l 0/10以内かつ2D以内)は原則としてさける



(2) 鉄筋標準配筋　但し、φ≦D/3とする

80≦φ≦100	100<φ≦150	150<φ≦250
折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST2-D13	折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST2-D13-50φ 横筋 2-(2-D13) 1/2 縦筋 ST2-D13-50φ	斜筋 4-(2-D13) 縦筋 ST2-D13-50φ 横筋 2-(2-D13) 1/2 縦筋 ST2-D13-50φ



2φ：スターラップ補強範囲

(3) 既製品（使用するときは、設計者又は工事監理者と打合せのこと）

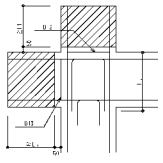
ウェブレン、ダイヤレン　等　日本建築センター評価取得品とする。

施工前に計算書を提出し、承認を得ること。

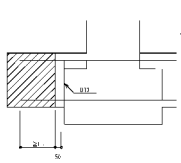
□ リング型　□ パイプ型　□ 金網型　□ プレート型

12. 増築予定 （将来増築予定のコンクリート増打ち部分は、増築時の鉄筋継手工法を考慮して指置する）

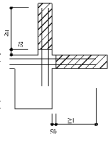
(1) 柱、梁



(2) 地中梁



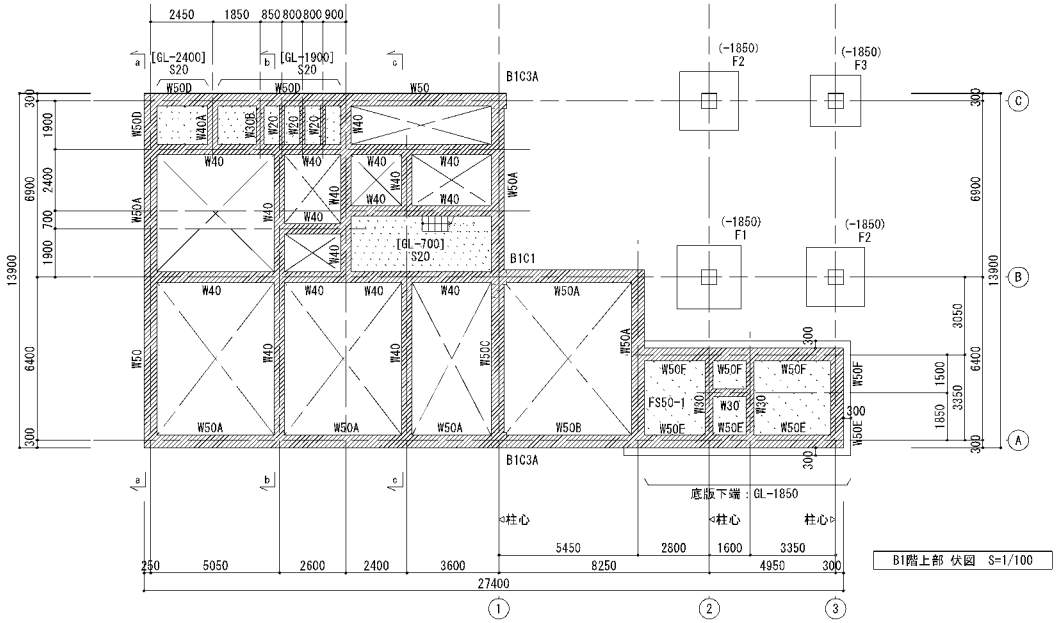
(3) 床版、壁



農業集落排水施設整備事業　山田南地区

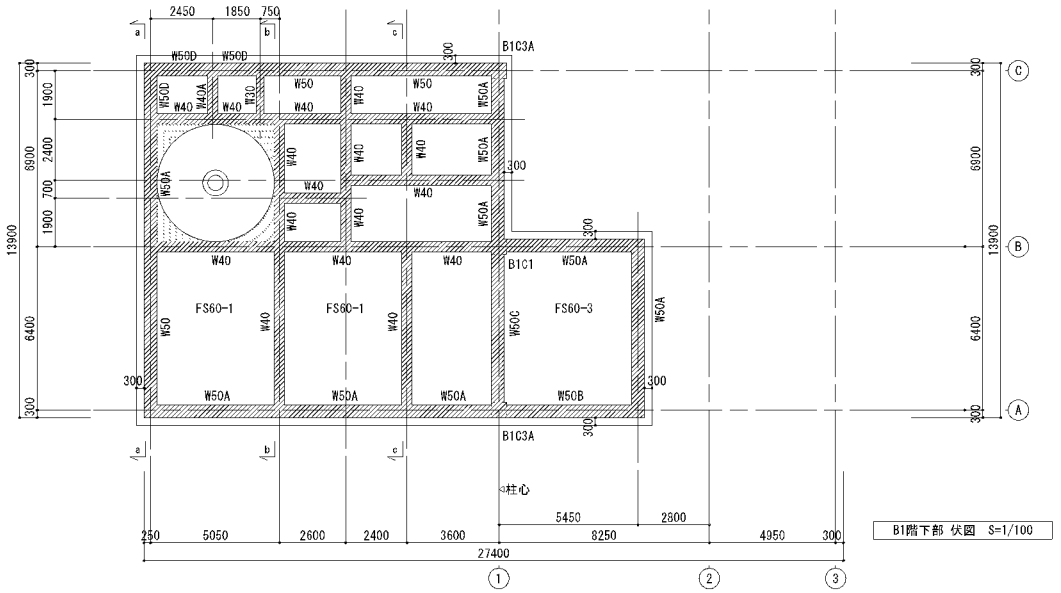
図面の名称	図面番号
建築鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）	A- 21
測量	平成　年　月　日終了
設計	
製図 原図	
複写	
伊賀市	

平成20年3月発行　社団法人　東京都建築士事務所協会　監修　東京都建築構造行政連絡会



B1階上部 伏図 S=1/100

特記事項
外壁は特記なき限り W50 とする。
スラブレベル
はGL-1350とする。
はGL- 700とする。
はGL-1900とする。
はGL-2400とする。
( )内はGLからの基礎下端を示す。
底版は特記なき限りFS50-2とする。

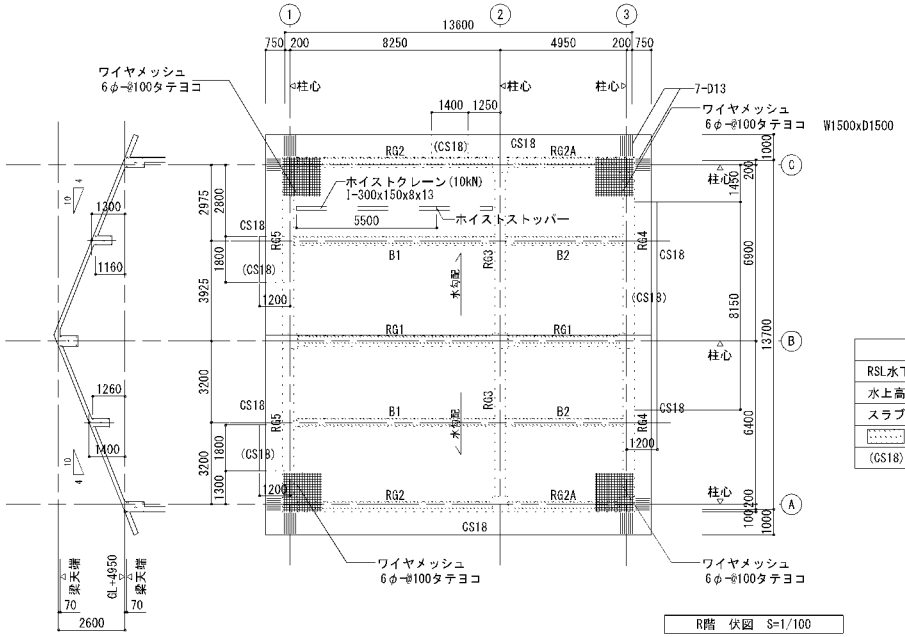


B1階下部 伏図 S=1/100

特記事項
B1SL(底版天端) = GL-3900
底版は特記なき限りFS60-2とする。
は増打ちを示す。

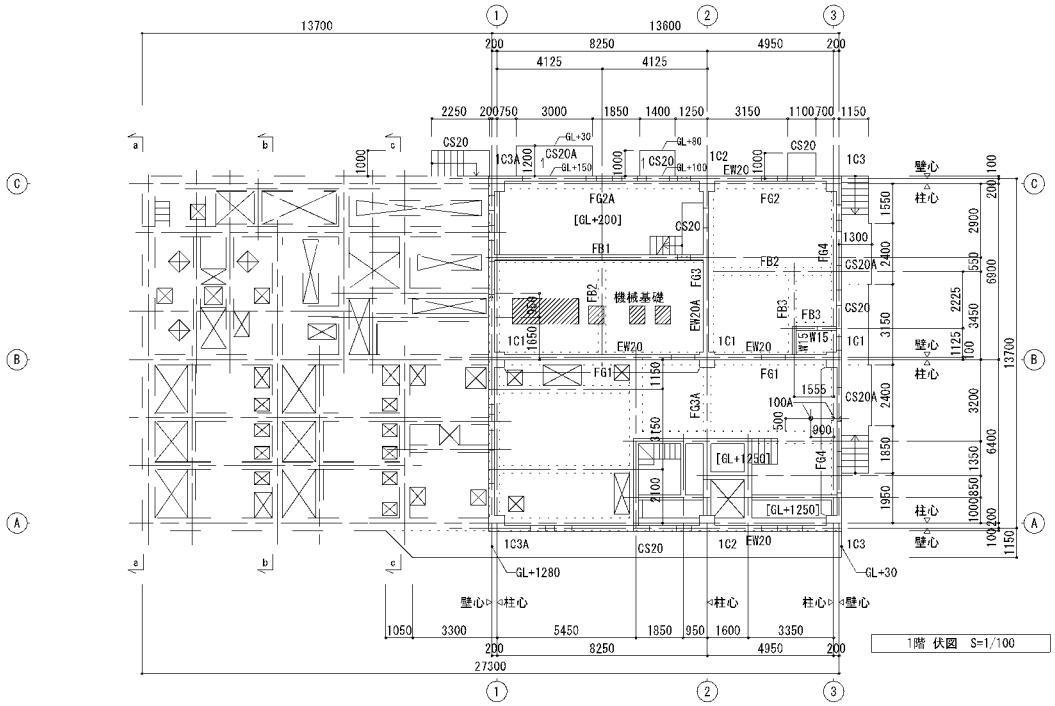
農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称	図面番号
伏図(1) 縮尺 S=1:100	A-22
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図 原図	
製図 複写	
伊賀市	

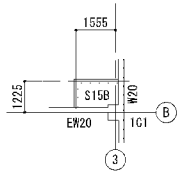


特記事項
RSL水下(梁面高さ) = GL+4950
水上高さ(梁面高さ)= GL+7550とする
スラブは特記なき限り S15 とする。
⋯⋯は増打ちを示す。
(CS18) は下部筋を示す。

R階 伏図 S=1/100



1階 伏図 S=1/100

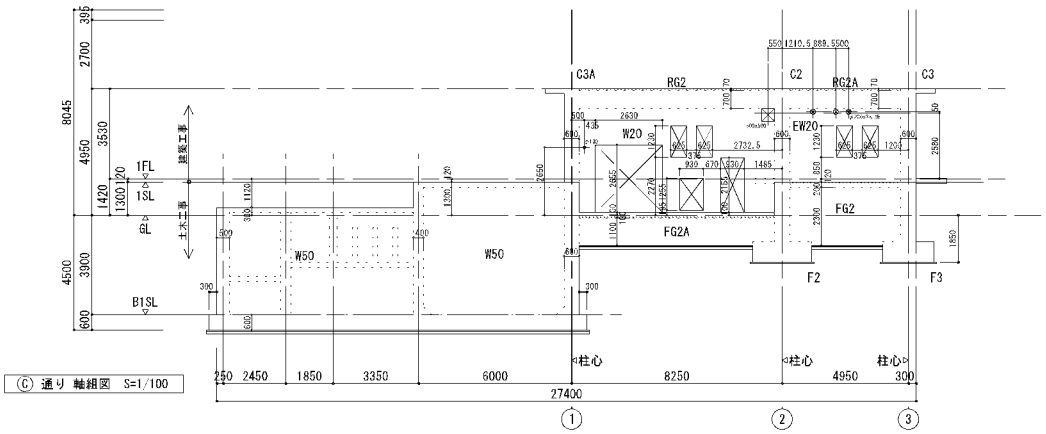


1FL+3000 伏図 S=1/100

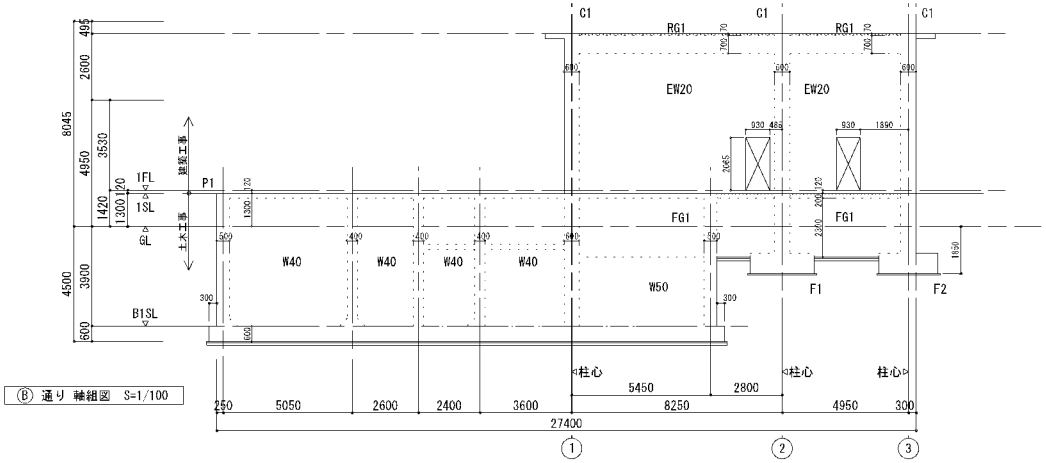
特記事項
1FL = GL+1420
基礎梁天端レベル SL-200
スラブは特記なき限り S20 とする。
スラブレベル
特記なき限り 1FL-120 とする。
⋯⋯はGL+ 100とする。
⋯⋯はGL+ 300とする。
⋯⋯はGL+ 450とする。
⋯⋯はGL+1250とする。
壁は特記なき限り W20 とする。

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

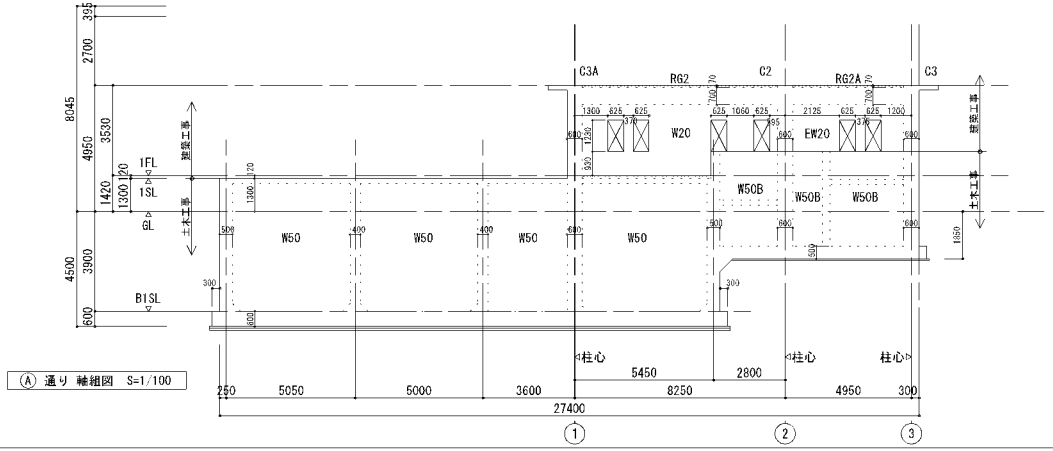
図面の名称		図面番号
伏図(2) 縮尺 S=1:100		A-23
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図 原図		
製図 複写		
伊賀市		



Ⓒ 通り 軸組図 S=1/100



Ⓑ 通り 軸組図 S=1/100

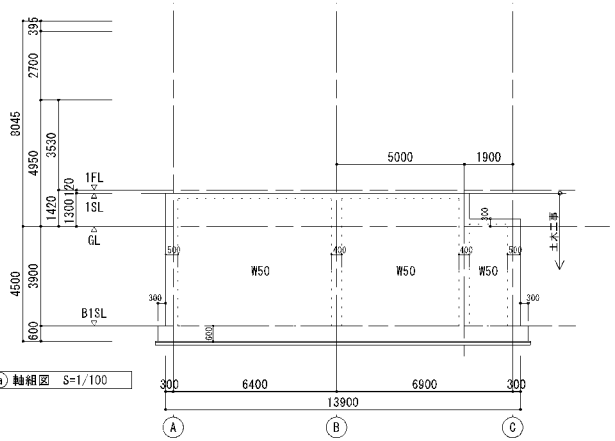


Ⓐ 通り 軸組図 S=1/100

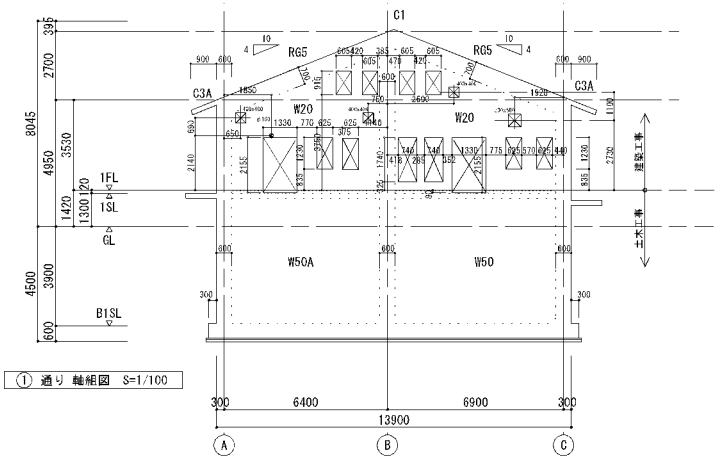
特記事項
⬚は増打ちを示す。
土木部：捨てコン t=50, 砕石 t=100とする。
建築部：捨てコン t=50, 砕石 t=100とする。

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

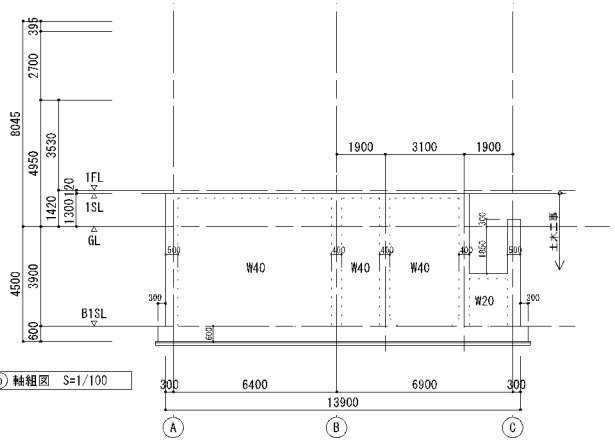
図面の名称		図面番号
軸組図(1) 縮尺 S=1:100		A-24
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図 原図		
製図 複写		
伊賀市		



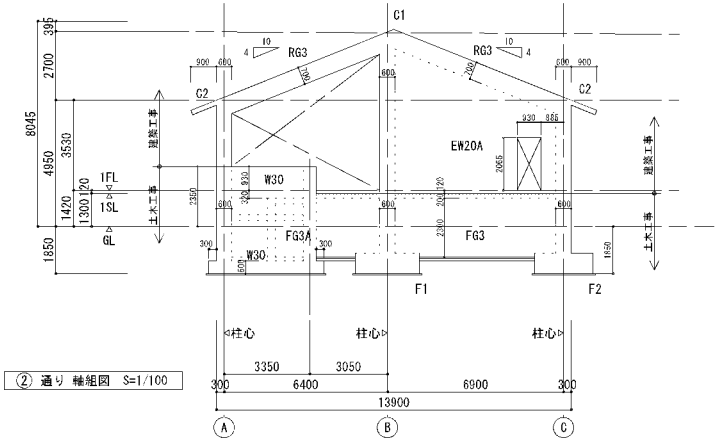
ⓐ-ⓐ 軸組図 S=1/100



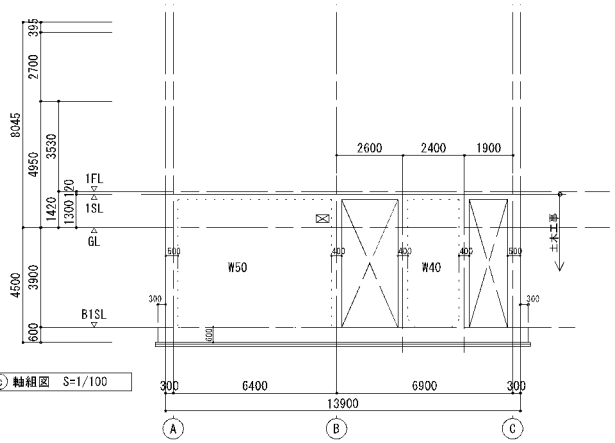
① 通り 軸組図 S=1/100



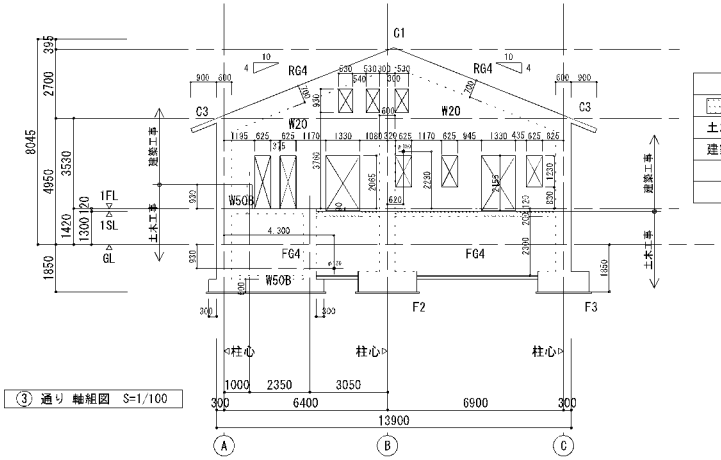
ⓑ-ⓑ 軸組図 S=1/100



② 通り 軸組図 S=1/100



ⓒ-ⓒ 軸組図 S=1/100



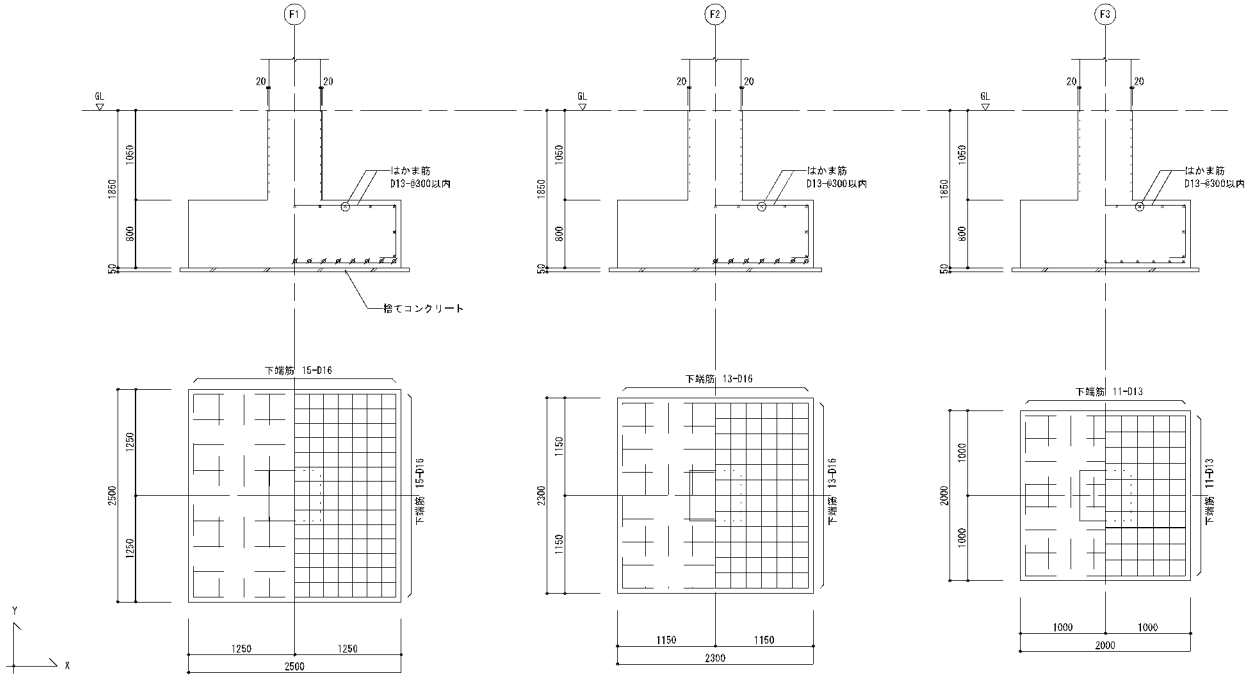
③ 通り 軸組図 S=1/100

特記事項
▒は増打ちを示す。
土木部：捨てコン t=50, 砕石 t=100とする。
建築部：捨てコン t=50, 砕石 t=100とする。

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

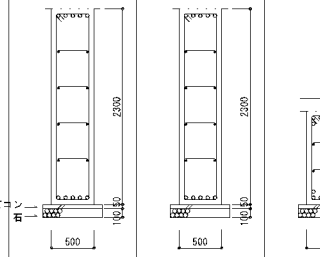
図面の名称		図面番号
軸組図(2) 縮尺 S=1:100		A-25
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
建図	原図	
	複写	
伊賀市		

基礎リスト　1/30



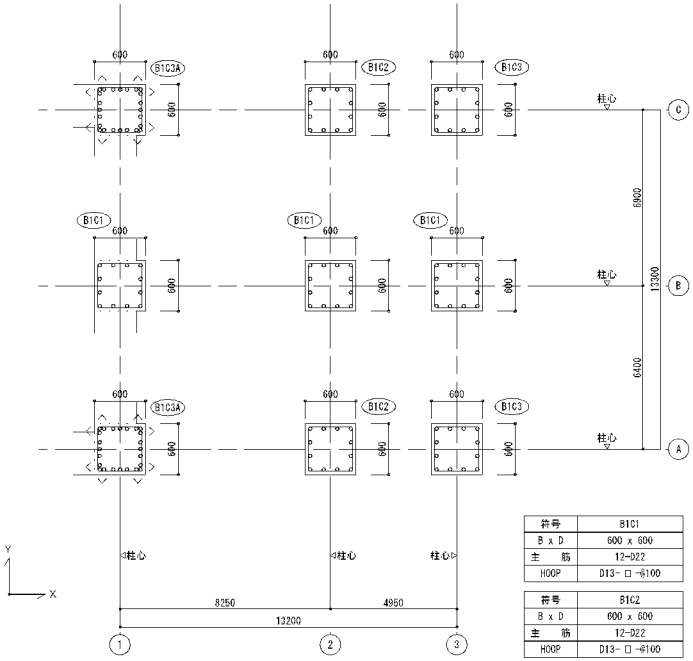
基礎梁リスト　1/30

※特記なき限り幅止め筋・受け筋は、 D10- ㅡ -@1000 とする。

符号	FG1	FG2	FG2A	FG3	FG3A	FG4	FB1		FB2		FB3
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	端部	中央	端部	中央	全断面
断面											
捨てコン 砕石	一 一	一 一	一 一	一 一	一 一	一 一					
B x D	500x2300	500x2300	500x1100	400x2300	300x2300	500x2300	300x2500		300x600		300x500
上端筋	5-D22	5-D22	7-D22	5-D22	5-D22	7-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D19
下端筋	5-D22	5-D22	7-D22	5-D22	5-D22	7-D22	3-D22	5-D22	3-D22	5-D22	3-D19
STP	□ -D13 @200	□ -D13 @200	□ -D13 @200	□ -D13 @200	□ -D13 @200	□ -D13 @200	□ -D13 @200		□ -D13 @200		□ -D13 @200
腹筋	8-D10	8-D10	4-D10	8-D10	8-D10	8-D10	8-D10		2-D10		-

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

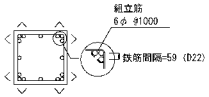
図面の名称	図面番号
基礎・基礎梁リスト 縮尺 S=1:30	A-26
測量	平成　年　月　日終了
設計	
製図 原図	
製図 複写	
伊賀市	



B1階 柱リスト S=1/30

※特記なき限り ＜は、寄せ筋を示す。

柱の隅寄せ組立筋



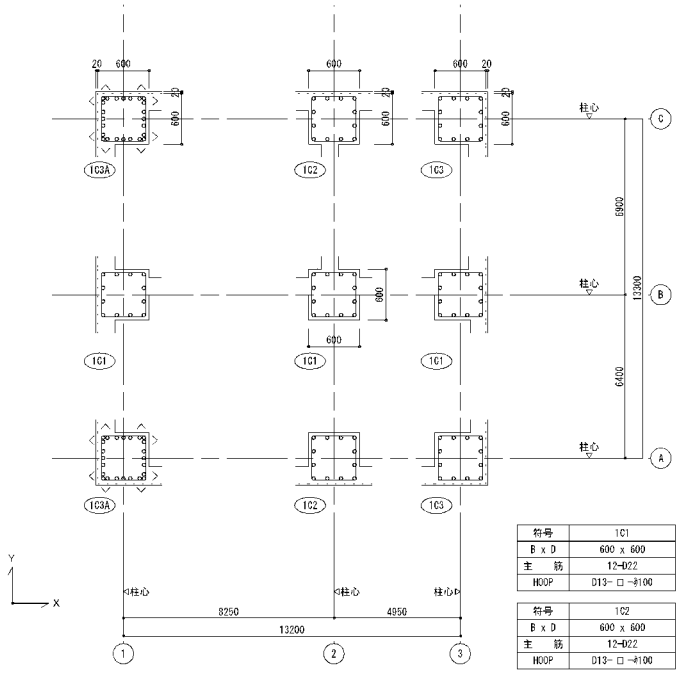
主筋の隅寄せは柱断面に
表示（ ）のある場合のみとする。

符号	B1C1
B x D	600 x 600
主　筋	12-D22
HOOP	D13- □ -@100

符号	B1C2
B x D	600 x 600
主　筋	12-D22
HOOP	D13- □ -@100

符号	B1C3
B x D	600 x 600
主　筋	12-D22
HOOP	D13- □ -@100

符号	B1C3A
B x D	600 x 600
主　筋	24-D22
HOOP	D13- □ -@100



1階 柱リスト S=1/30

符号	1C1
B x D	600 x 600
主　筋	12-D22
HOOP	D13- □ -@100

符号	1C2
B x D	600 x 600
主　筋	12-D22
HOOP	D13- □ -@100

符号	1C3
B x D	600 x 600
主　筋	12-D22
HOOP	D13- □ -@100

符号	1C3A
B x D	600 x 600
主　筋	24-D22
HOOP	D13- □ -@100

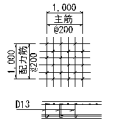
農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称		図面番号
柱リスト 縮尺 S=1:30		A-27
測量	平成　年　月　日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	
伊賀市		

スラブリスト

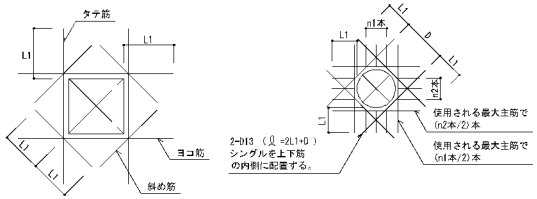
符号	厚さ	位置	短辺方向	長辺方向	備考
S15	150	上端筋 下端筋	D10・D13-@200 D10・D13-@200	D10・D13-@200 D10・D13-@200	
S15B	150	上端筋 下端筋	D10-@200 D10-@200	D10-@200 D10-@200	
S20	200	上端筋 下端筋	D13-@200 D13-@200	D13-@200 D13-@200	
CS18	180～150	上端筋 下端筋	D10・D13-@200 D10-@200	D10-@200 D10-@200	片持ち
CS20	200	上端筋 下端筋	D13-@200 D10-@200	D10-@200 D10-@200	片持ち
CS20A	200	上端筋 下端筋	D16-@100 D10-@100	D10-@200 D10-@200	片持ち

せん断補強筋要領図



2.5J-D13@200
12.6本/m²
3.16cm²@20cm
※上記の鉄筋断面積は、幅b=100cmの面積である

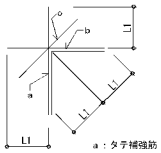
開口補強要領図



壁リスト S=1/30

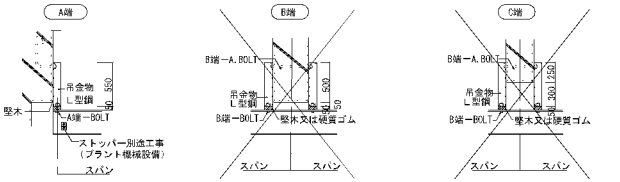
符号	W15	W20	EW20	EW20A
壁厚	150	200	200	200
断面				
タテ筋	D10 -@150(S)	D13 -@200(D)	D13 -@200(D)	D13 -@200(D)
ヨコ筋	D10 -@150(S)	D13 -@200(D)	D13 -@200(D)	D13 -@200(D)
せん断補強筋	———	———	———	———
巾止筋	———	D10 -@1000	D10 -@1000	D10 -@1000
開口部補強筋				
タテ筋	1 -D16	4 -D13	4 -D13	6 -D16
ヨコ筋	1 -D16	4 -D13	4 -D13	4 -D16
斜筋	1 -D13	2 -D13	2 -D13	2 -D13

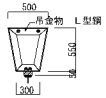
開口補強要領



a：タテ補強筋
b：ヨコ補強筋
c：斜メ補強筋

ホイストレール取付け詳細図 1/30





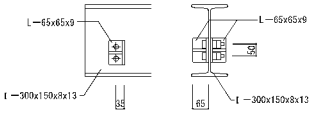
附属金物

端部	吊荷重(kN)	A.BOLT	BOLT	吊金物
A	～10	2-16φ L=400	2-M16	L-90x90x7
	11 ～ 30	2-22φ L=600	2-M20	L-90x90x10
	31 ～ 50	4-22φ L=600	2-M20	PL-16
B	～10	2-M16	2-M16	L-90x90x7
	11 ～ 30	2-M20	2-M20	L-90x90x10
	31 ～ 50	2-M20	2-M20	L-90x90x13

一般事項

1 ホイストレール鉄部は錆止め塗装後OP2回塗りとする。
2 ナットは2重ナットとし、座金付とする。
3 A端部のアンカー筋は外筋までのばす。
4 ホイストレール取付場所に吊荷重を表示する。
5 A.BOLTはアンカーボルト、BOLTはボルトを表す。

注）ボルトはスプリングワッシャー付き
磨きボルト(中ボルト)とする。

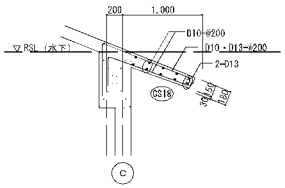


ストッパー詳細図 1/10

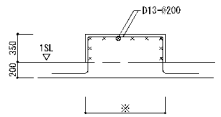
ホイストレール部材選定表

I ビーム(SS400)	10KN	20KN	30KN	50KN
Hxbxt1xt2	スパン (m)			
I -200x150x9x16	6.35	4.71		
I -250x125x7.5x12.5	6.91	5.09	4.20	
I -250x125x10x19	7.91	5.95	4.95	
I -300x150x8x13	9.01	6.77	5.63	4.41
I -300x150x11.5x22		8.14	6.86	5.43
I -350x150x9x15		8.41	7.04	5.55
I -350x150x12x24		9.82	8.36	6.67
I -450x175x11x20			10.81	8.71
I -450x175x13x26			11.76	9.58
最小座曲半径(mm)	1500	2000	1800	2300

底配筋詳細図 1/30

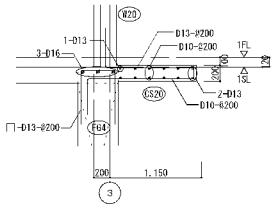


機械基礎配筋詳細図 1/30

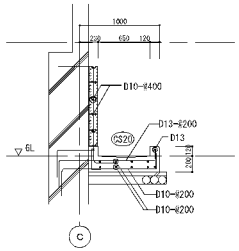


※寸法は設備基礎リスト(A-14)に準ずる。

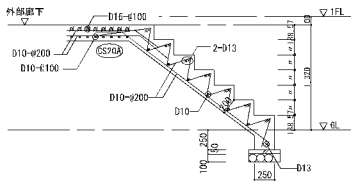
CS20配筋詳細図 1/30



くつ洗い流し配筋詳細図 1/30



東側屋外階段配筋詳細図 (2ヶ所) 1/30

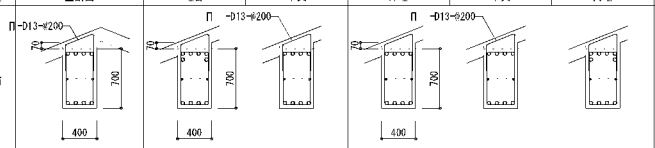
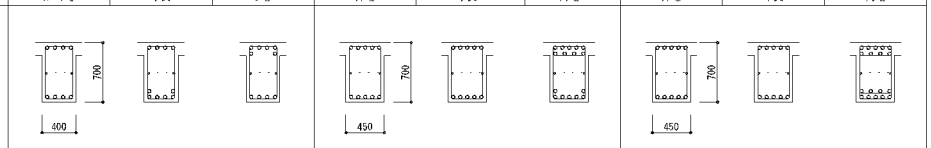


農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称	図面番号
スラブ・壁リスト 縮尺 S=1:30	A-28
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図 原図	
製図 複写	
伊賀市	

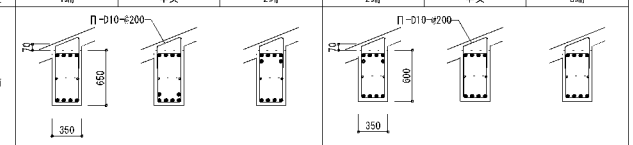
大梁リスト　1/30

※特記なき限り幅止め筋・受け筋は、　D10-　⌒　-@1000 とする。

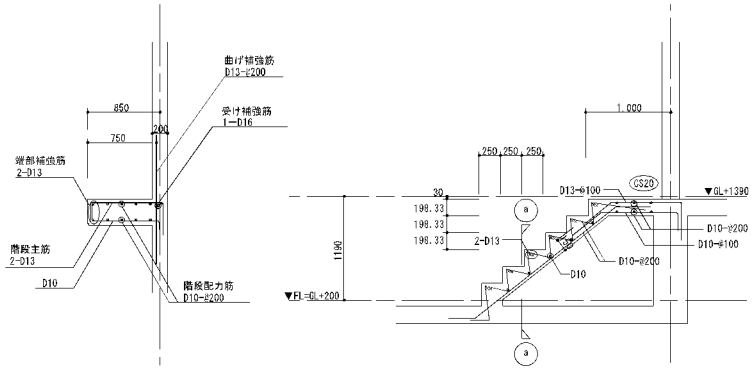
符号	RG1	RG2		RG2A			RG3			RG4			RG5		
位置	全断面	端部	中央	外端	中央	内端	A・C端	中央	B端	外端	中央	内端	外端	中央	内端
断面															
B x D	400x700	400x700		400x700			400x700			450x700			450x700		
上端筋	4-D22	6-D22	4-D22	4-D22	4-D22	6-D22	4-D22	4-D22	6-D22	5-D22	5-D22	9-D22	5-D22	5-D22	9-D22
下端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	6-D22	4-D22	5-D22	5-D22	7-D22	5-D22	5-D22	9-D22
STP	□ -D13 @200	□ -D13 @200		□ -D13 @200			□ -D13 @200			□ -D13 @200			□ -D13 @200		
腹筋	2-D10	2-D10		2-D10			2-D10			2-D10			2-D10		

小梁リスト　1/30

※特記なき限り幅止め筋・受け筋は、　D10-　⌒　-@1000 とする。

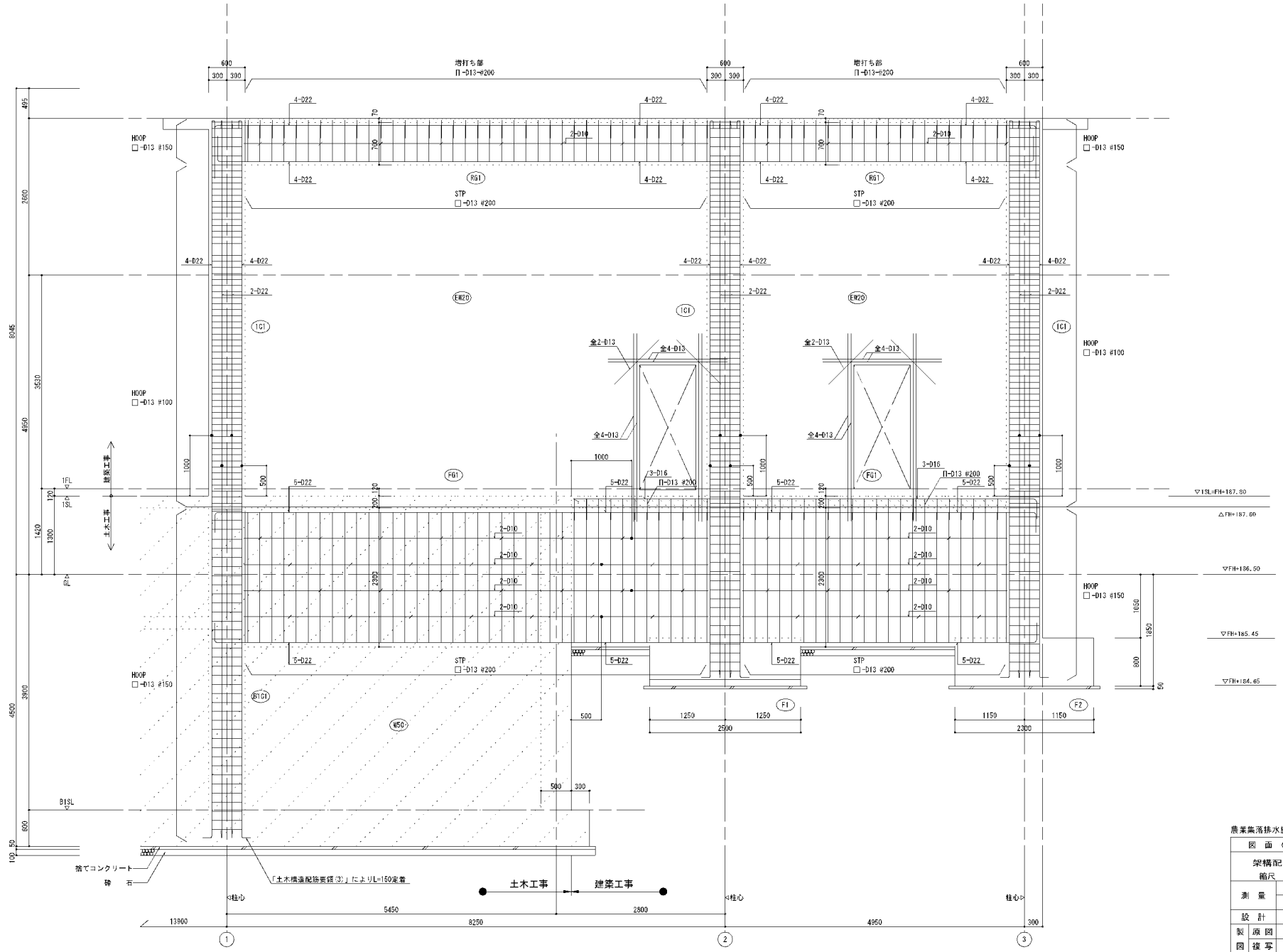
符号	B1			B2		
位置	1端	中央	2端	2端	中央	3端
断面						
B x D	350x650			350x600		
上端筋	4-D19	4-D19	6-D19	6-D19	4-D19	4-D19
下端筋	4-D19	6-D19	4-D19	4-D19	4-D19	4-D19
STP	□ -D10 @200			□ -D10 @200		
腹筋	2-D10			2-D10		

内部階段



a-a矢視図

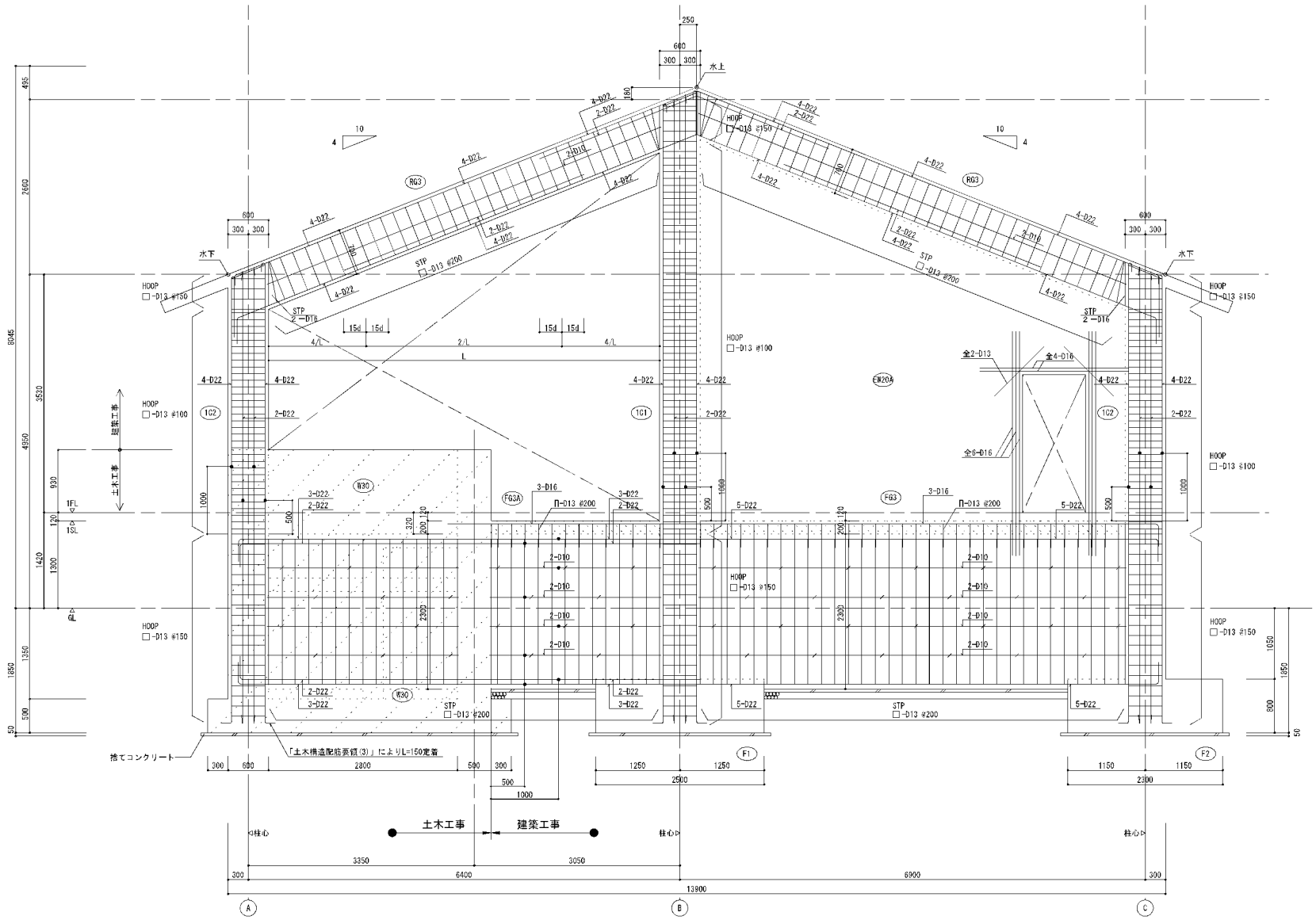
農業集落排水施設整備事業　山田南地区		
図面の名称		図面番号
大梁・小梁リスト 縮尺　S=1:30		A-29
測量	平成　年　月　日終了	
設計		
建図	原図	
	複写	
伊賀市		



Ⓑ 通り 架構配筋図 S=1/30

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

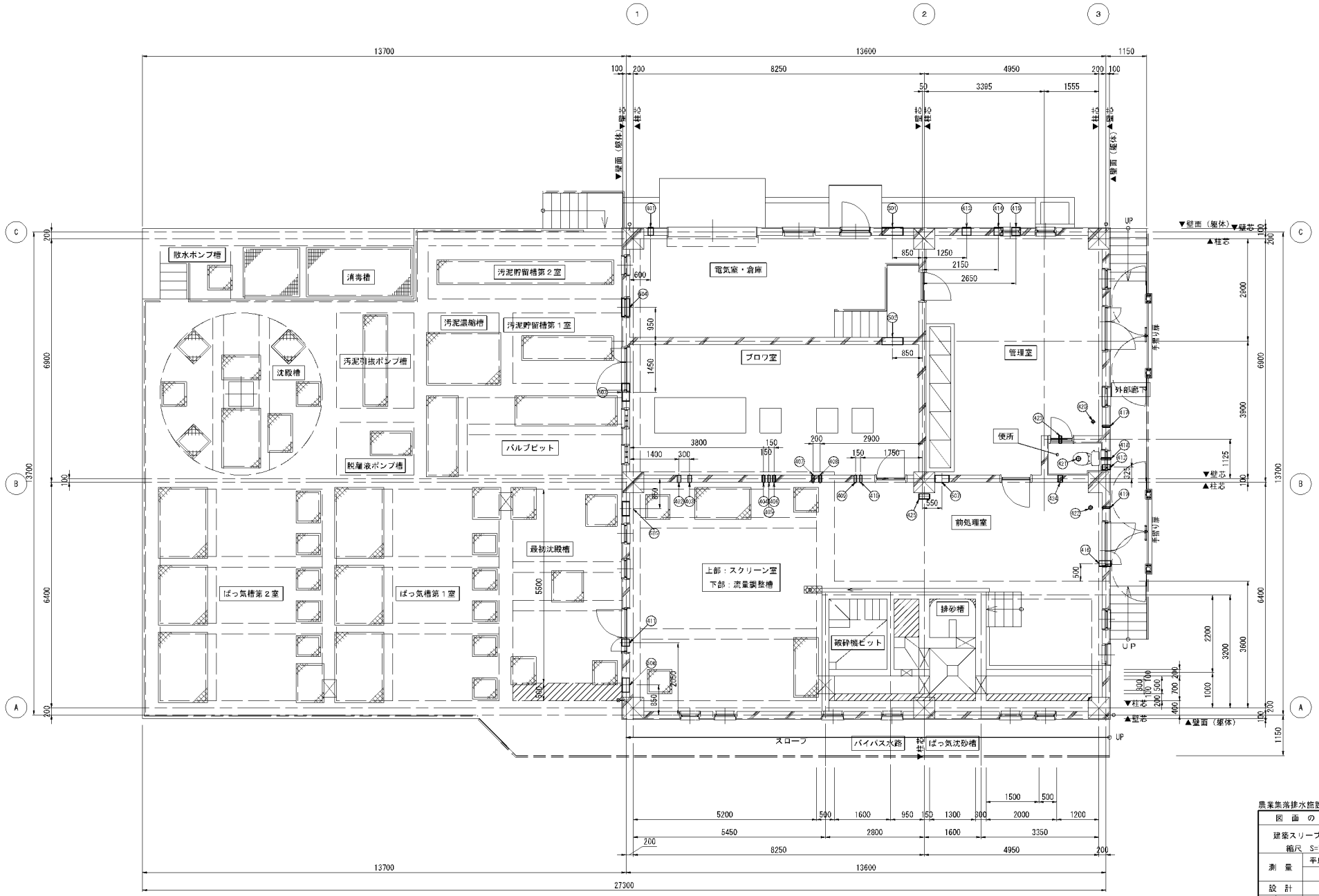
図面の名称	図面番号
架構配筋図(1) 縮尺 S=1:30	A-30
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図 原図	
図 複写	
伊賀市	



② 通り 架構配筋図 S=1/30

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称	図面番号
架構配筋図(2) 縮尺 S=1:30	A-31
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図 原図	
製図 複写	
伊賀市	



上部平面図

S=1:50

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

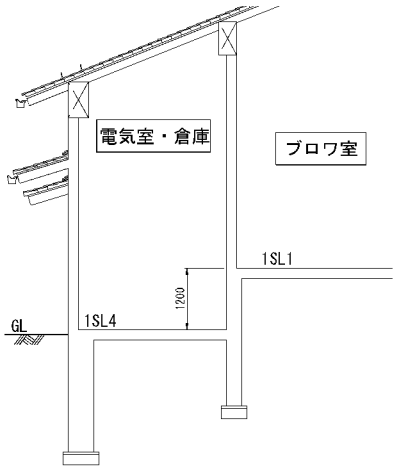
図面の名称	図面番号
建築スリーブ図(1/2) 縮尺 S=1:50	A-32
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図 原図	
製図 複写	
伊賀市	

スリーブリスト　(建築)

番号	管口径	スリーブ径 ボックスサイズ	スリーブ ボックス長さ	レベル	名称
401	100A	φ150	220	1SL4+2050	発電機　排気管
402	65A	φ100	200	1SL1+550	ばっ気槽第２室　空気管
403	65A	φ100	200	1SL1+550	ばっ気槽第１室　空気管
404	32A	φ75	200	1SL1+2120	汚泥貯留槽　空気管
405	20A	φ75	200	1SL1+2120	汚泥引抜ポンプ槽　空気管
406	20A	φ75	200	1SL1+2120	汚泥濃縮槽　空気管
407	20A	φ75	200	1SL1+2120	最初沈殿槽　空気管
408	20A	φ75	200	1SL1+2120	最初沈殿槽　空気管
409	20A	φ75	200	1SL1+2120	ばっ気洗砂槽　空気管
410	20A	φ75	200	1SL1+2120	ばっ気洗砂槽　空気管
411	φ150	φ200	220	1SL1+2620	脱臭装置　排気管
412	φ100	φ150	220	1SL1+2260	便所　排気管
413	φ150	φ200	220	1SL1+2780	管理室　排気管
414	φ150	φ200	220	1SL1+2780	管理室　排気管
415	φ150	φ200	220	1SL1+2780	管理室　排気管
416	φ100	φ150	500	1SL1−2100	流入圧送管
417	φ13	φ50	400	1SL1−1900	管理室　手洗器給水
418	φ13	φ50	400	1SL1−1900	便所　給水
419	φ20	φ50	400	1SL1−1900	前処理室　掃除用流し給水
420	φ50	φ75	200	1SL1+0	管理室　手洗器排水
421	φ75	φ125	200	1SL1+0	便所　排水
422	φ65	φ100	200	1SL1+0	前処理室　掃除用流し排水
423	φ50	φ75	300	1SL1−700	排水管
424	φ75	φ125	500	1SL1−700	排水管
425	φ100	φ150	300	1SL1−700	排水管

ボックスリスト(建築)

番号	管口径	スリーブ径 ボックスサイズ	スリーブ ボックス長さ	レベル	名称
501	開口	500□	220	1SL4+3870	ブロワ室　給気口
502	開口	500□	200	1SL4+3870	ブロワ室　給気口
503	開口	500W×400H	220	1SL1+3950	ブロワ室　排気口
504	開口	500□	220	1SL4+4150	電気室・倉庫　排気口
505	開口	400□	220	1SL1+2950	前処理・スクリーン室　排気口
506	開口	400□	220	1SL1+2950	前処理・スクリーン室　排気口
507	開口	400W×200H	200	1SL1+2620	ケーブルラック 300W×100H

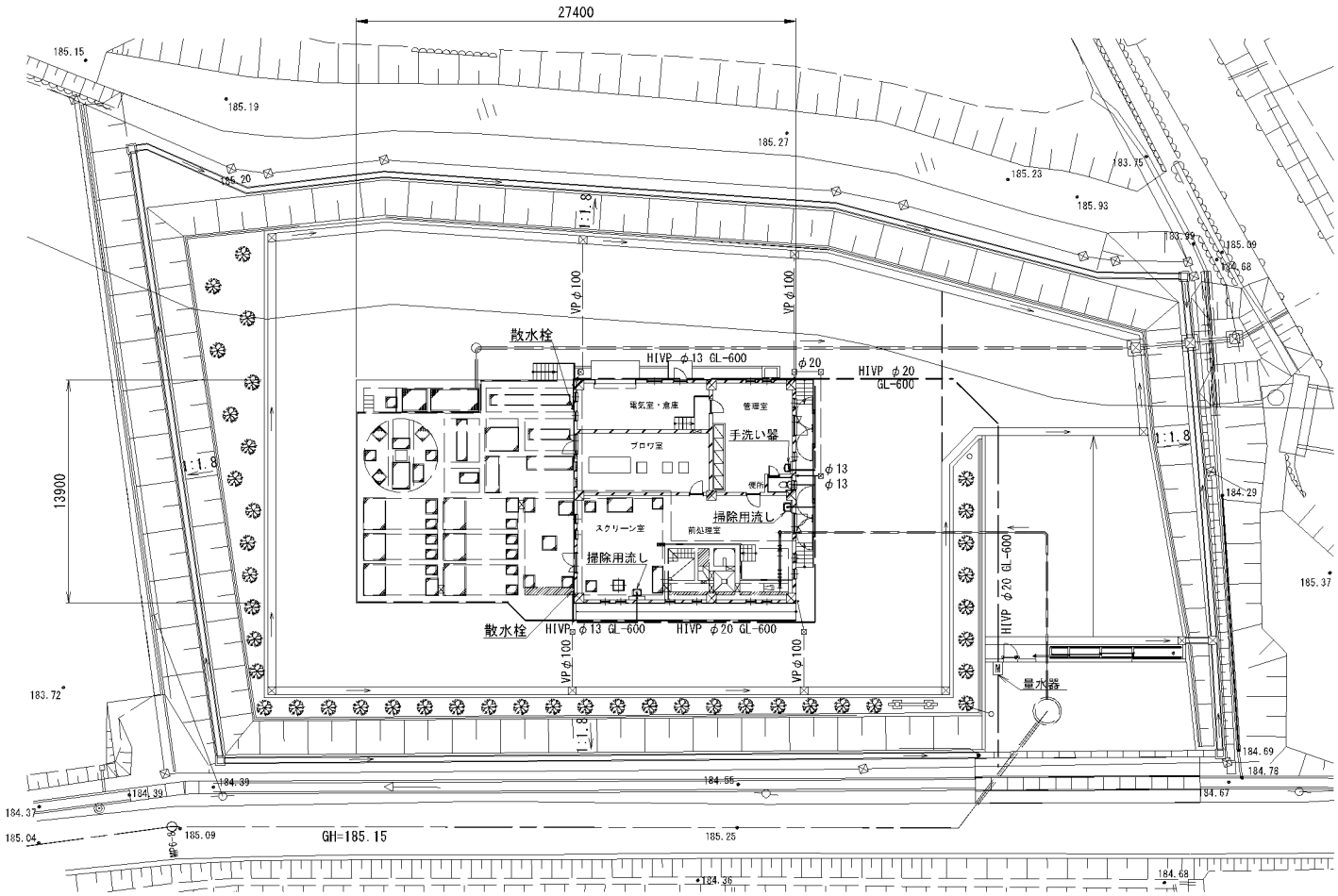


特　記

1）特記無き場合、Ａ表示配管はＳＵＳ３０４－ＴＰを示す。
2）特記無き場合、φ表示配管は硬質塩化ビニル管　ＶＰを示す。
3）リスト中において、レベルは以下に図示するものとし、１ＳＬまたは、ＭＳＬからの高さＨとする。

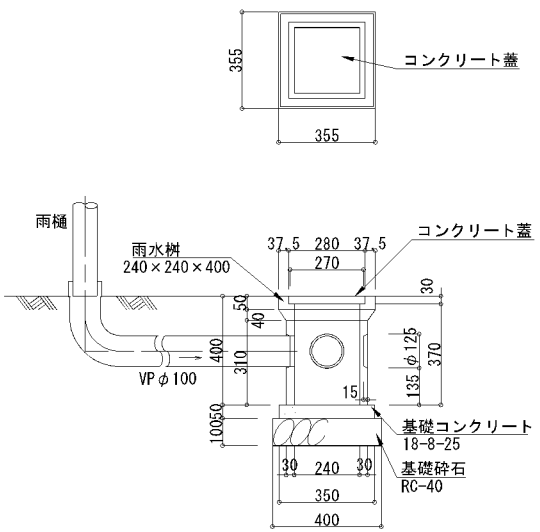
農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称		図面番号
建築スリーブ図(2/2) 縮尺　NOT		A-33
測量	平成　年　月　日終了	
設計		
製図 原図		
製図 複写		
伊賀市		



場内配管図　S=1:150

雨水桝詳細図（既成コンクリート製）

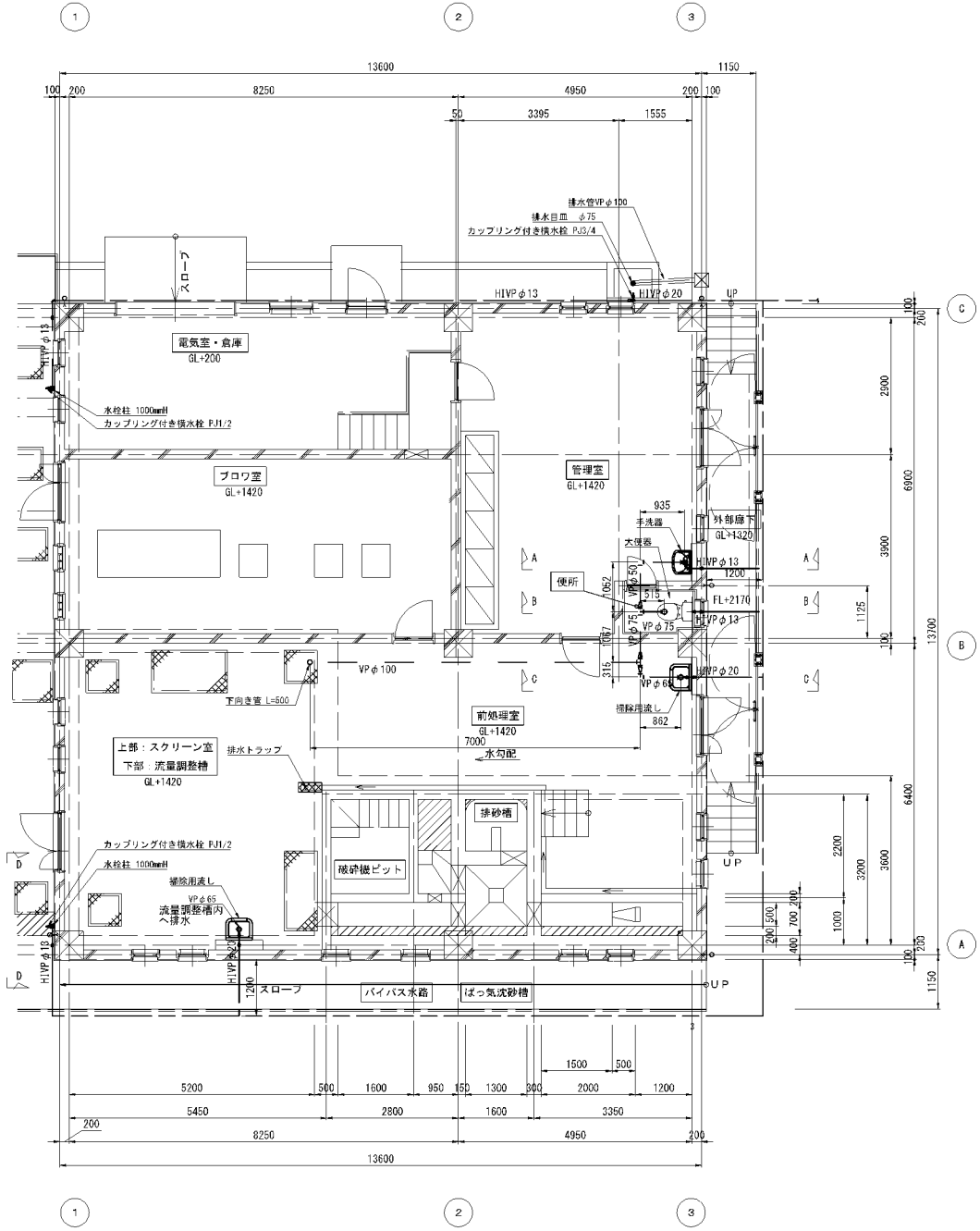


衛生器具リスト

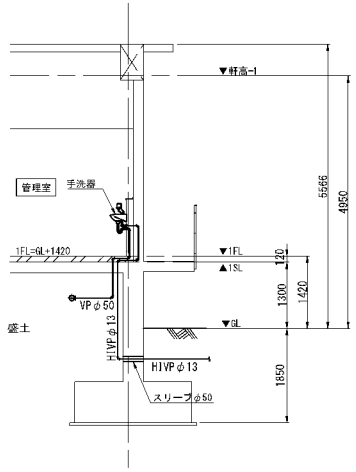
名称	品番	設置場所	設置階	数量	備考
洋風腰掛便器（手洗い付き）	C710R 防露式ロータンク方式	便所	1	1	CS140、S670BU、TS751ZSS38、TS670DZUS、TS171DJ、T82C38、TC290、T53WR75、他付属品 GP13S、DT-870XY38、CF-171D-3L、CF-103BC、CF-37AK、CF-4AN、他付属品
紙巻器	TS116R	便所	1	1	付属金具共
タオル掛け	YHT50HS4	便所・管理室	1	2	〃
手洗い器	L30DW	管理室	1	1	(L710)、立水栓：TL155AF、付属金具共　L=15G、立水栓、LF-10PA　LIXIL製
水石けん入れ	TS126AR	管理室	1	1	付属金具共
化粧鏡	TS119FR3	管理室	1	1	〃
掃除用流し	SK22A	前処理室・スクリーン室	1	2	(S210)、TK22、T37SEP、T23AE2D、TN114X、T9R、S-200、LF-7K-19、SF-20SAF-P、SF-10E　LIXIL製
水栓柱			槽上	2	ステンレス製 H=900 寒冷地仕様（金具部分黄銅製、内部配管、HIVP、ウレタン断熱材）頭部ステンレス製支持金物留め
横水栓	T28AUNH13	屋外・足洗場	1	1	ホース差込み式　逆止弁付
排水目皿	60DV	足洗い場、スクリーン室	1	2	JCW204(C)準拠

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

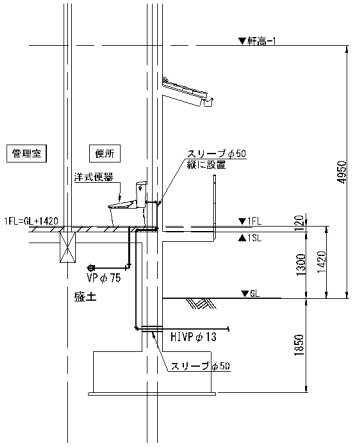
図面の名称	図面番号
給排水設備場内配管図 縮尺 S=1:150	A-34
測量	平成　年　月　日終了
設計	
製図 原図	
製図 複写	
伊賀市	



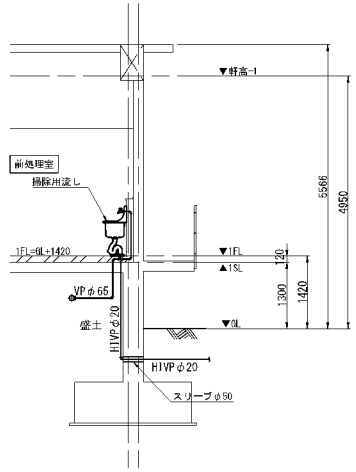
スラブ平面図 S-1:50



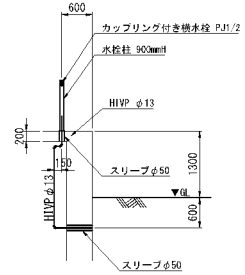
A-A断面図 S=1:50



B-B断面図 S=1:50



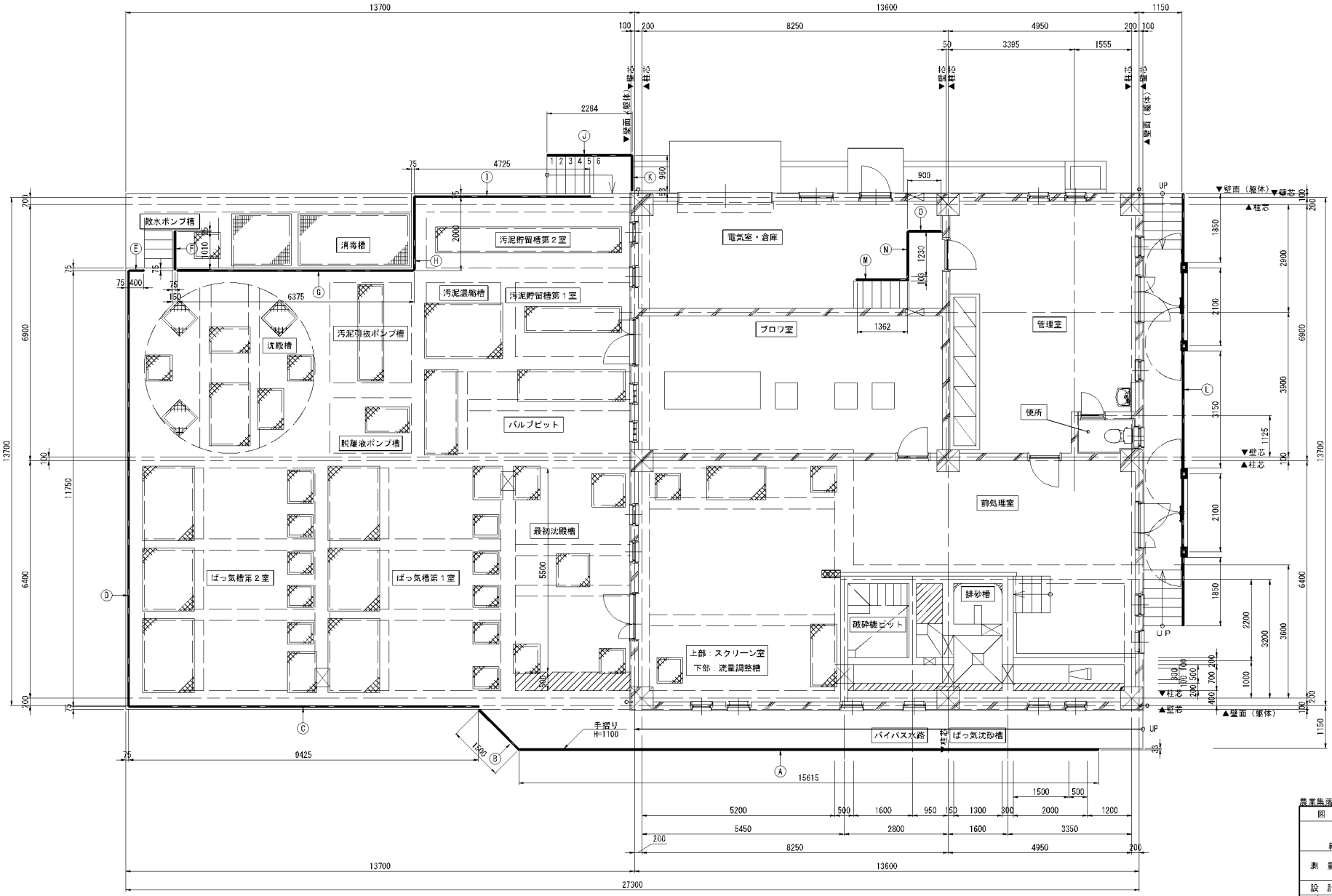
C-C断面図 S=1:50



D-D断面図 S=1:50

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称		図面番号
給排水設備図 縮尺 S=1:50		A-35
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図 原図		
製図 複写		
	伊賀市	

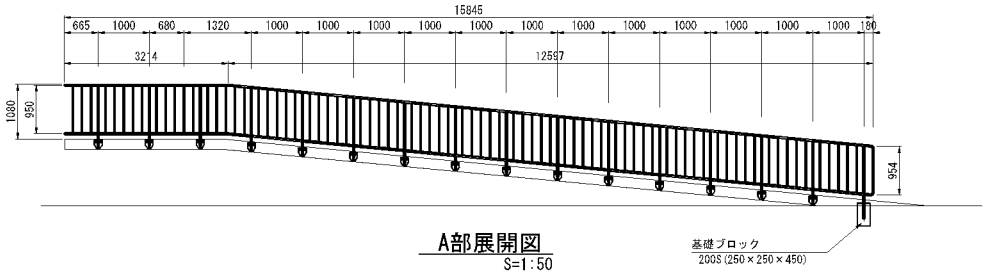


上部平面図

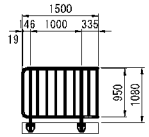
S=1:50

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

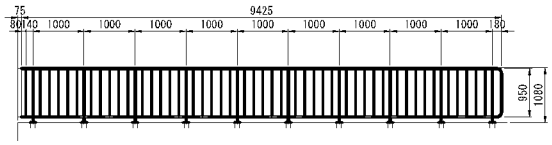
図面の名称	図面番号
手摺配置図 縮尺 S=1:50	A-36
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図 原図	
製図 複写	
伊賀市	



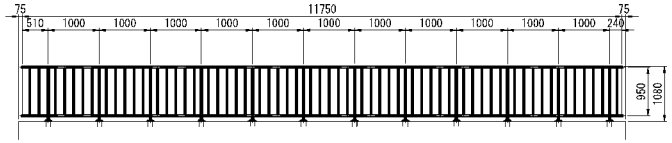
A部展開図
S=1:50



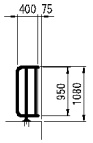
B部展開図
S=1:50



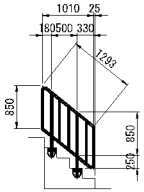
C部展開図
S=1:50



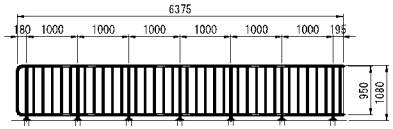
D部展開図
S=1:50



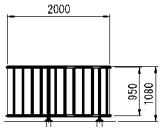
E部展開図
S=1:50



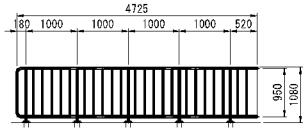
F部展開図
S=1:50



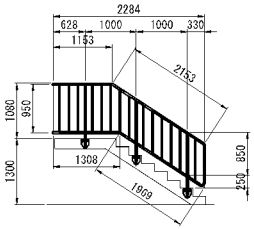
G部展開図
S=1:50



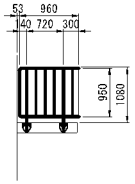
H部展開図
S=1:50



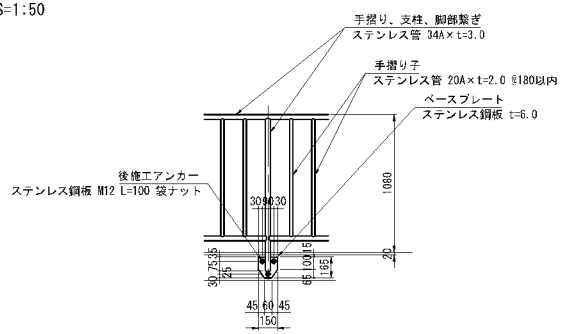
I部展開図
S=1:50



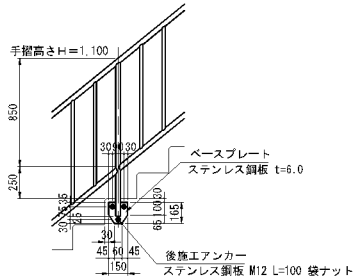
J部展開図
S=1:50



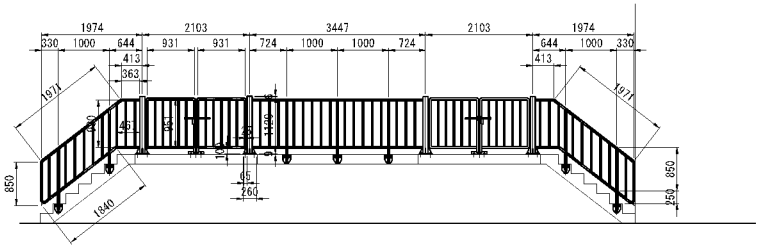
K部展開図
S=1:50



脚部詳細図
S=1:20

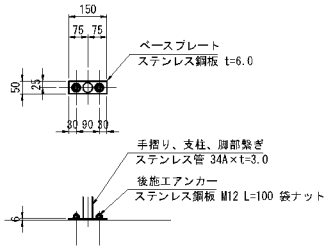


階段脚部詳細図
S=1:20



L部展開図
S=1:50

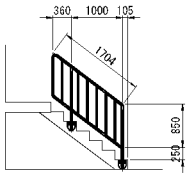
手摺り扉部材表	
扉枠	ステンレス管 32A×t=3.0
格子	ステンレス管 20A×t=2.0 @150
かんぬき	ステンレス管 20A×t=2.0 L=500
中央戸当り	ステンレス等辺山形鋼 L−50×50×3.0 L=300
附属金物	ステンレス製丸番 6枚、ステンレス製上げ落し 2個
門柱	ステンレス角パイプ □−100×100×4.0
ベースプレート	ステンレス鋼板 PL−9.0
ガセットプレート	ステンレス鋼板 PL−6.0
後施工アンカー	ステンレス製 M12 L=100 袋ナット
	※ 全て SUS 304 鋼材を使用しHL仕上げとする。
	シリンダー同意錠



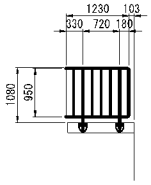
床面脚部詳細図
S=1:10

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

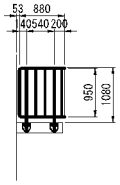
図面の名称		図面番号
手摺展開図 縮尺 S=1:50		A-37
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図 原図		
製図 複写		
伊賀市		



M部展開図
S=1:50



N部展開図
S=1:50



O部展開図
S=1:50

農業集落排水施設整備事業 山田南地区

図面の名称		図面番号
手摺展開図(2/2) 縮尺 S=1:50		A-38
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図 原図		
製図 複写		
伊賀市		